資料５－２

（案）

農薬評価書

フルキサピロキサド

（第２版）

２０１４年１２月

食品安全委員会農薬専門調査会

目　次

頁

○　審議の経緯 3
○　食品安全委員会委員名簿 3
○　食品安全委員会農薬専門調査会専門委員名簿 3
○　要　約 6

Ⅰ．評価対象農薬の概要 7
　１．用途 7
　２．有効成分の一般名 7
　３．化学名 7
　４．分子式 7
　５．分子量 7
　６．構造式 7
　７．開発の経緯 7

Ⅱ．安全性に係る試験の概要 9
　１．動物体内運命試験 9
　　（１）ラット 9
　　（２）畜産動物（ヤギ） 14
　　（３）畜産動物（ニワトリ） 16
　２．植物体内運命試験 17
　　（１）トマト 17
　　（２）だいず 17
　　（３）小麦① 18
　　（４）小麦② 20
　３．土壌中運命試験 21
　　（１）好気的土壌中運命試験① 21
　　（２）好気的土壌中運命試験② 21
　　（３）好気的土壌中運命試験③ 22
　　（４）好気的／嫌気的土壌中運命試験 22
　　（５）土壌吸脱着試験 23
　４．水中運命試験 23
　　（１）加水分解試験（緩衝液） 23
　　（２）水中光分解試験（緩衝液） 23
　　（３）水中光分解試験（自然水） 23
　５．土壌残留試験 24
　６．作物等残留試験 24

（１）作物残留試験 24
（２）畜産物残留試験 24
７．一般薬理試験..... 25
８．急性毒性試験..... 26
（１）急性毒性試験 26
（２）急性神経毒性試験 27
９．眼・皮膚に対する刺激性及び皮膚感作性試験..... 27
１０．亜急性毒性試験..... 27
（１）90 日間亜急性毒性試験（ラット） 27
（２）90 日間亜急性毒性試験（マウス） 29
（３）90 日間亜急性毒性試験（イヌ） 29
（４）90 日間亜急性神経毒性試験（ラット） 30
（５）代謝物 F001 の 90 日間亜急性毒性試験（ラット） 31
（６）代謝物 F002 の 90 日間亜急性毒性試験（ラット） 31
１１．慢性毒性試験及び発がん性試験..... 32
（１）1 年間慢性毒性試験（イヌ） 32
（２）2 年間慢性毒性/発がん性併合試験（ラット） 33
（３）18 か月間発がん性試験（マウス） 35
１２．生殖発生毒性試験..... 36
（１）2 世代繁殖試験（ラット） 36
（２）発生毒性試験（ラット） 38
（３）発生毒性試験（ウサギ） 38
（４）代謝物 F001 の発生毒性試験（ウサギ） 39
（５）代謝物 F002 の発生毒性試験（ウサギ） 39
（６）代謝物 F048 の発生毒性試験（ウサギ） 39
１３．遺伝毒性試験..... 39
１４．その他の試験..... 43
（１）肝酵素誘導試験（ラット） 43
（２）甲状腺機能試験（ラット） 44
（３）肝細胞増殖反応試験（ラット） 45

Ⅲ．食品健康影響評価..... 48

・別紙 1：代謝物/分解物略称 53
・別紙 2：検査値等略称 56
・別紙 3：作物残留試験成績（海外） 58
・別紙 4：畜産物残留試験（海外） 175
・参照..... 183

＜審議の経緯＞

－第 1 版関係－

2012 年　 7 月　 10 日　インポートトレランス設定の要請（だいず、小麦等）
2012 年　 8 月　 21 日　厚生労働大臣から残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請（厚生労働省発食安 0821 第 3 号）、関係書類の接受（参照 1～63）
2012 年　 8 月　 27 日　第 444 回食品安全委員会（要請事項説明）
2012 年　 11 月　 9 日　第 19 回農薬専門調査会評価第二部会
2012 年　 12 月　 5 日　第 20 回農薬専門調査会評価第二部会
2013 年　 1 月　 25 日　第 90 回農薬専門調査会幹事会
2013 年　 2 月　 18 日　第 463 回食品安全委員会（報告）
2013 年　 2 月　 19 日　から 3 月 20 日まで　国民からの意見・情報の募集
2013 年　 3 月　 25 日　農薬専門調査会座長から食品安全委員会委員長へ報告
2013 年　 4 月　 1 日　第 469 回食品安全委員会（報告）
（同日付け厚生労働大臣へ通知）（参照 64）

－第 2 版関係－

2014 年　 7 月　 23 日　インポートトレランス設定の要請（いちご、ブルーベリー等）
2014 年　 9 月　 9 日　厚生労働大臣から残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請（厚生労働省発食安 0909 第 6 号）、関係書類の接受（参照 65～68）
2014 年　 9 月　 16 日　第 530 回食品安全委員会（要請事項説明）
2014 年　 11 月　 5 日　第 116 回農薬専門調査会幹事会
2014 年　 12 月　 3 日　第 117 回農薬専門調査会幹事会
2014 年　 12 月　 16 日　第 542 回食品安全委員会（報告）

＜食品安全委員会委員名簿＞

（2012 年 7 月 1 日から）
熊谷　進（委員長）
佐藤　洋（委員長代理）
山添　康（委員長代理）
三森国敏（委員長代理）
石井克枝
上安平冽子
村田容常

＜食品安全委員会農薬専門調査会専門委員名簿＞

（2014 年 3 月 31 日まで）

・幹事会

納屋聖人（座長）	上路雅子	松本清司
西川秋佳*（座長代理）	永田　清	山手丈至**
三枝順三（座長代理**）	長野嘉介	吉田　緑
赤池昭紀	本間正充	

・評価第一部会

上路雅子（座長）	津田修治	山崎浩史
赤池昭紀（座長代理）	福井義浩	義澤克彦
相磯成敏	堀本政夫	若栗　忍

・評価第二部会

吉田　緑（座長）	桑形麻樹子	藤本成明
松本清司（座長代理）	腰岡政二	細川正清
泉　啓介	根岸友惠	本間正充

・評価第三部会

三枝順三（座長）	小野　敦	永田　清
納屋聖人（座長代理）	佐々木有	八田稔久
浅野　哲	田村廣人	増村健一

・評価第四部会

西川秋佳*（座長）	川口博明	根本信雄
長野嘉介（座長代理*; 座長**）	代田眞理子	森田　健
山手丈至（座長代理**）	玉井郁巳	與語靖洋
井上　薫**		

*：2013 年 9 月 30 日まで
**：2013 年 10 月 1 日から

（2014 年 4 月 1 日から）

・幹事会

西川秋佳（座長）	小澤正吾	林　　真
納屋聖人（座長代理）	三枝順三	本間正充
赤池昭紀	代田眞理子	松本清司
浅野　哲	永田　清	與語靖洋
上路雅子	長野嘉介	吉田　緑

・評価第一部会

上路雅子（座長）	清家伸康	藤本成明
赤池昭紀（座長代理）	林　　真	堀本政夫
相磯成敏	平塚　明	山崎浩史
浅野　哲	福井義浩	若栗　忍
篠原厚子		

・評価第二部会

吉田　緑（座長）	腰岡政二	細川正清
松本清司（座長代理）	佐藤　洋	本間正充
小澤正吾	杉原数美	山本雅子
川口博明	根岸友惠	吉田　充

桑形麻樹子

・評価第三部会

三枝順三（座長）	高木篤也	中山真義
納屋聖人（座長代理）	田村廣人	八田稔久
太田敏博	中島美紀	増村健一
小野　敦	永田　清	義澤克彦

・評価第四部会

西川秋佳（座長）	佐々木有	本多一郎
長野嘉介（座長代理）	代田眞理子	森田　健
井上　薫	玉井郁巳	山手丈至
加藤美紀	中塚敏夫	與語靖洋

＜第 19 回農薬専門調査会評価第二部会専門参考人名簿＞

小澤正吾	長尾哲二

＜第 20 回農薬専門調査会評価第二部会専門参考人名簿＞

小澤正吾	長尾哲二

＜第 90 回農薬専門調査会幹事会専門参考人名簿＞

小澤正吾	林　真

要　約

カルボキシアミド系の殺菌剤「フルキサピロキサド」（CAS No. 907204-31-3）について、各種試験成績等を用いて食品健康影響評価を実施した。なお、今回、作物残留試験（いちご、ブルーベリー等）の成績等が新たに提出された。

評価に用いた試験成績は、動物体内運命（ラット、ヤギ及びニワトリ）、植物体内運命（小麦、トマト等）、作物等残留、亜急性毒性（ラット、マウス及びイヌ）、亜急性神経毒性（ラット）、慢性毒性（イヌ）、慢性毒性/発がん性併合（ラット）、発がん性（マウス）、2 世代繁殖（ラット）、発生毒性（ラット及びウサギ）、遺伝毒性等の試験成績である。

各種毒性試験結果から、フルキサピロキサド投与による影響は主に肝臓（小葉中心性肝細胞肥大、脂肪化：マウス、肝細胞色素沈着）、甲状腺（ろ胞細胞肥大/過形成：ラット）、骨（骨化過剰：ラット）及び歯（白変：ラット及びマウス）に認められた。繁殖能に対する影響、催奇形性及び生体において問題となる遺伝毒性は認められなかった。

ラットを用いた 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験では、肝臓において、雌雄で肝臓腫瘍が増加し、甲状腺において、雄で腺腫及び癌の合計が増加したが、メカニズム試験及び遺伝毒性試験の結果から、腫瘍発生機序は遺伝毒性メカニズムによるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

ラットを用いた 90 日間亜急性毒性試験の雄、90 日間亜急性神経毒性試験の雌及び 2 世代繁殖試験の親動物の雌雄では無毒性量が設定できなかったが、これらに比し、より低用量かつ長期間行われたラットを用いた 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験では無毒性量 2.1 mg/kg 体重/日が得られており、2.1 mg/kg 体重/日がラットの無毒性量として妥当と考えられた。

各種試験結果から、農産物及び畜産物中の暴露評価対象物質をフルキサピロキサド（親化合物のみ）と設定した。

食品安全委員会農薬専門調査会は、各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験の 2.1 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 0.021 mg/kg 体重/日を一日摂取許容量（ADI）と設定した。

また、フルキサピロキサドの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた急性神経毒性試験の 125 mg/kg 体重であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 1.2 mg/kg 体重を急性参照用量（ARfD）と設定した。

Ⅰ．評価対象農薬の概要

１．用途

殺菌剤

２．有効成分の一般名

和名：フルキサピロキサド

英名：fluxapyroxad

３．化学名

IUPAC

和名：3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-(3’,4’,5’-トリフルオロビフェニル-2-イル)-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド

英名：3-(difluoromethyl)-1-methyl-*N*-(3’,4’,5’-trifluorobiphenyl-2-yl) -1*H*-pyrazole-4-carboxamide

CAS（No. 907204-31-3）

和名：3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-(3’,4’,5’-トリフルオロ[1,1’-ビフェニル]-2-イル)-1*H*-ピラゾール- 4-カルボキサミド

英名：3-(difluoromethyl)-1-methyl-*N*-(3’,4’,5’-trifluoro[1,1’-biphenyl]-2-yl)-1*H*-pyrazole-4-carboxamide

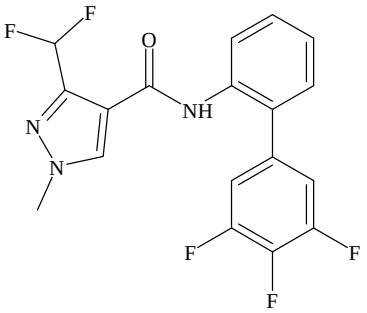
４．分子式

$C_{18}H_{12}F_5N_3O$

５．分子量

381.3

６．構造式



７．開発の経緯

フルキサピロキサドは、BASF 社によって開発されたカルボキシアミド系の殺

菌剤で、ミトコンドリア内呼吸鎖複合体Ⅱに作用し殺菌効果を示すと考えられている。

日本では農薬として登録されておらず、米国及び欧州では農薬として登録されている。

今回、インポートトレランス設定の要請（いちご、ブルーベリー等）がなされている。

Ⅱ．安全性に係る試験の概要

各種運命試験［Ⅱ．1～4］はフルキサピロキサドのピラゾール環 4 位の炭素を ^{14}C で標識したもの（以下「[pyr-^{14}C] フルキサピロキサド」という。）、アニリンのフェニル基を ^{14}C で均一に標識したもの（以下「[phe-^{14}C] フルキサピロキサド」という。）及びトリフルオロフェニル基のフェニル基を ^{14}C で均一に標識したもの（以下「[tri-^{14}C] フルキサピロキサド」という。）を用いて実施された。放射能濃度及び代謝物濃度は、特に断りがない場合は比放射能（質量放射能）からフルキサピロキサドに換算した値（mg/kg 又はμg/g）を示した。代謝物/分解物略称及び検査値等略称は別紙 1 及び 2 に示されている。

1．動物体内運命試験

（1）ラット

①吸収

a. 血中濃度推移

Wistar ラット（一群雌雄各 4 匹）に[phe-^{14}C] フルキサピロキサドを 5、50 又は 500 mg/kg 体重で単回経口投与し、血中濃度推移について検討された。

各投与群における血漿中薬物動態学的パラメータは表 1 に示されている。

AUC は 500 mg/kg 体重投与群では雌の方が雄よりも高値を示した。（参照 1、2）

表 1　血漿中薬物動態学的パラメータ

投与量	5 mg/kg 体重		50 mg/kg 体重		500 mg/kg 体重	
性別	雄	雌	雄	雌	雄	雌
C_{max}（μg/g）	1.85	1.57	13.4	11.8	65.3	66.1
T_{max}（hr）	1	1	8	8	24	24
$T_{1/2}$（hr）	34.3	30.1	37.2	36.0	53.2	38.5
AUC（hr・μg/ g）	45.4	35.7	435	532	4,220	5,670

b. 吸収率

胆汁中排泄試験［1. (1)④b］における低用量投与群の尿、胆汁及び組織中の放射能から推定した吸収率は、少なくとも 72%であった。（参照 1、2）

②分布

Wistar ラット（一群雌雄各 3 又は 4 匹）に[phe-^{14}C] フルキサピロキサドを 7.5 mg/kg 体重（以下［1. (1)］において「低用量」という。）若しくは 150 mg/kg 体重（以下［1. (1)］において「高用量」という。）で単回経口投与、又は高用量のフルキサピロキサドを 14 日間反復経口投与後、15 日目に[phe-^{14}C] フルキサピロキサドを高用量で単回経口投与（以下［1. (1)］において「14 日間反復投与」という。）し、体内分布試験が実施された。

単回投与群の主要組織における残留放射能濃度は表 2 に示されている。

消化管以外では、胃、副腎、肝臓及び甲状腺で高い放射能分布が認められた。また、投与 48、72 又は 80 時間後では、約 90%TAR 以上が排泄された。

最終投与 168 時間後の組織中の残留放射能の合計は単回投与及び 14 日間反復投与のいずれにおいても 0.25～0.68%TAR と僅かであった。（参照 1、2）

表 2　単回投与群の主要組織における残留放射能濃度（μg/g）

投与量	性別	T_{max} 付近 [a]	48、72 又は 80 時間後 [b]
7.5 mg/kg 体重	雄	胃内容物(119)、腸内容物(34.5)、胃(34.2)、副腎(13.6)、肝臓(11.9)、甲状腺(9.91)、腸(9.51)、膵臓(5.91)、腎臓(4.98)、脂肪組織(4.80)、心臓(4.40)、肺(3.98)、脳(2.96)、骨髄(2.61)、皮膚(2.41)、脾臓(2.39)、血漿(2.28)	腸内容物(7.52)、腸(1.02)、肝臓(0.57)、甲状腺(0.37)、腎臓(0.17)、副腎(0.17)、血漿(0.12)
	雌	胃内容物(264)、腸内容物(42.3)、胃(33.3)、副腎(21.0)、肝臓(13.7)、腸(12.2)、甲状腺(10.7)、膵臓(9.30)、脂肪組織(6.82)、卵巣(6.61)、肺(6.13)、腎臓(5.80)、心臓(5.10)、脳(4.45)、皮膚(4.09)、カーカス[1](3.79)、骨髄(3.23)、脾臓(3.10)、筋肉(2.51)、血漿(2.15)	腸内容物(13.3)、腸(2.04)、脂肪組織(0.90)、肝臓(0.85)、副腎(0.52)、甲状腺(0.48)、卵巣(0.44)、腎臓(0.30)、胃(0.29)、膵臓(0.28)、骨髄(0.23)、血漿(0.22)
150 mg/kg 体重	雄	腸内容物(843)、胃内容物(798)、胃(143)、腸(84.4)、肝臓(38.1)、脂肪組織(33.4)、副腎(18.4)、甲状腺(17.0)、血漿(14.5)	腸内容物(26.8)、肝臓(7.94)、腎臓(2.88)、甲状腺(1.98)、腸(1.52)、胃(1.06)、血漿(1.06)
	雌	胃内容物(7,730)、腸内容物(1,060)、胃(369)、腸(188)、肝臓(72.3)、脂肪組織(70.8)、副腎(53.1)、甲状腺(52.7)、膵臓(38.6)、卵巣(36.8)、腎臓(24.6)、心臓(23.5)、血漿(23.4)	腸内容物(169)、胃内容物(42.3)、腸(16.8)、肝臓(11.5)、血漿(3.93)

[a]：雌雄とも低用量群は投与 1 時間後、高用量群では投与 16 時間後

[b]：低用量群は雌雄とも投与 48 時間後、高用量群の雄は 72 時間後、雌は 80 時間後

③代謝

排泄試験［1.（1）④］で得られた尿、糞及び胆汁並びに Wistar ラット（一群雌雄各 4 匹）に［phe-^{14}C］フルキサピロキサド又は［pyr-^{14}C］フルキサピロキサドを高用量で単回経口投与して得られた尿及び糞、［pyr-^{14}C］フルキサピロキサドを低用量又は高用量で単回経口投与して得られた肝臓、腎臓、血漿及び脂肪を用いて、代謝物同定・定量試験が実施された。

[1] 組織・臓器を取り除いた残渣のことをカーカスという（以下同じ。）。

各投与群の尿、糞及び胆汁中の代謝物は表 3 に示されている。

尿中には未変化のフルキサピロキサドは認められず、抱合体を含む多数の代謝物が認められた。糞中には未変化のフルキサピロキサド及び 7 種の代謝物が検出され、尿及び糞で認められた主要な代謝物に性別、投与量及び投与回数による差は認められなかったが、代謝物の組成には投与量と雌雄間で量的変動が認められた。胆汁中には未変化のフルキサピロキサドは認められず、ほとんどがグルクロン酸又はグルタチオン由来の抱合体であった。

[pyr-^{14}C] フルキサピロキサド投与群において、低用量では 1 時間後、高用量では 16 時間後の肝臓、腎臓、血漿及び脂肪中に認められた未変化のフルキサピロキサドは、低用量群の雌雄の肝臓で 3.03～3.66%TAR、高用量群及び低用量群の雌の脂肪で 1.55～2.72%TAR 認められたほかはいずれも 0.5%TAR 以下と僅かであった。組織中に認められた代謝物はいずれも 1%TAR 未満と僅かであり、尿、糞及び胆汁中に認められた代謝物と同様であった。

フルキサピロキサドのラット体内における主な代謝経路は、①ビフェニル環の水酸化、②ビフェニル環のフッ素原子の消失、③ピラゾール環の *N*-脱メチル化、④ 水酸基のグルクロン酸、グルタチオン誘導体又は硫酸との抱合、であると考えられた。（参照 1、3）

表 3　各投与群の尿、糞及び胆汁中の代謝物（%TAR）

標識化合物	群	投与量	性別	試料	投与後時間	フルキサピロキサド	代謝物
[phe-^{14}C]	単回	7.5 mg/kg 体重	雄	尿	120	ND	F014(3.09)、 F004(1.61)、F015(1.41)、F005/F024(1.12)、F009/F028(1.03)、F020(0.13)、F011(0.05)、F023(0.03)
			雌			ND	F014(8.60)、F009(3.70)、F004(0.63)、F061(0.63)、F015(0.45)、F020(0.20)、F011(0.14)、F016(0.07)
			雄	糞	144	2.51	F009(22.2)、F006(13.3)、F016(11.8)、F005(9.44)、F010(4.83)、F024(2.90)、F008(0.61)
			雌			3.32	F009(53.0)、F005(8.70)、F006(3.42)、F016(3.31)、F024(3.13)、F010(2.34)、F008(1.69)
			雄	胆汁	72	ND	F004(14.0)、F009/F125(9.85)、F005/F024(9.83)、F014/F122(5.41)、F015/F123(3.27)、F118(3.14)、F117(2.20)、F120/F121(1.73)、F113(1.26)、F006(0.97)、F042(0.73)、F115/F116(0.61)、F032(0.37)、F124(0.24)
			雌			ND	F014/F122(22.0)、F009/F125(13.2)、

							F004(10.8)、F005/F024(4.23)、F015/F123(3.91)、F117(1.59)、F042(1.26)、F113(1.25)、F118(0.85)、F115/F116(0.33)、F006(0.16)、F120/F121(0.14)、F124(0.06)、F032(0.03)
[phe-^{14}C]	単回	150 mg/kg 体重	雄	尿	96	ND	F005/F024(0.76)、F009/F028(0.51)、F014(0.40)、F015(0.40)、F004(0.30)、F016(0.10)、F020(0.04)、F023(0.01)
			雌			ND	F009(3.34)、F014(2.26)、F061(1.22)、F004(0.39)、F015(0.17)、F011(0.08)、F020(0.05)、F016(0.02)
			雄	糞	96	43.8	F009(7.63)、F006(6.69)、F016(5.43)、F005(3.53)、F024(2.62)、F010(2.49)
			雌			33.6	F009(18.2)、F024(4.90)、F005(4.50)、F006(4.45)、F016(2.91)、F010(2.26)、F008(0.55)
[phe-^{14}C]			雄	胆汁	60	ND	F004(21.2)、F014/F122(9.64)、F015/F123(6.66)、F009/F125(4.18)、F117(3.80)、F005/F024(3.36)、F118(3.01)、F113(2.20)、F120/F121(1.98)、F115/F116(0.75)、F042(0.32)、F006(0.18)、F032(0.11)
			雌		72	ND	F004(19.5)、F014/F122(10.9)、F015/F123(10.1)、F113(8.62)、F009/F125(7.25)、F005/F024(4.58)、F117(4.32)、F118(1.10)、F120/F121(0.95)、F115/F116(0.71)、F006(0.31)、F124(0.31)、F042(0.26)、F032(0.25)
[phe-^{14}C]	単回	150 mg/kg 体重	雄	尿	168	ND	F014(0.94)、F015(0.82)、F004(0.58)、F009/F028(0.55)、F005/F024(0.39)、F016(0.25)、F020(0.09)、F011(0.04)、F023(0.01)
			雌			ND	F014(2.86)、F009(1.35)、F015(0.62)、F004(0.25)、F061(0.23)、F011(0.06)、F020(0.06)
			雄	糞		30.2	F009(11.4)、F006(7.13)、F016(6.89)、F005(5.49)、F010(3.14)、F024(2.22)、F008(0.78)
			雌			23.4	F009(19.2)、F006(5.47)、F024(5.01)、F005(4.94)、F010(2.41)、F016(1.98)、F008(0.90)
[pyr-^{14}C]			雄	尿	168	ND	F014(1.20)、 F004(0.72)、F015(0.71)、F009/F028(0.56)、F001(0.20)、F005/F024(0.16)、F002(0.07)、F011(0.07)、F020(0.06)、F026/F027(0.06)、 F023(0.04)、

							F016(0.03)、F025(0.01)
			雌			ND	F014(4.82)、F015(0.97)、F009(0.84)、F004(0.82)、F061(0.23)、F001(0.12)、F011(0.05)、F016(0.05)、F002(0.04)、F020(0.04)
			雄	糞	96	18.6	F009(14.1)、F006(9.16)、 F016(8.72)、F005(6.08)、F010(3.91)、F024(2.58)、F008(1.09)
			雌		168	26.3	F009(22.5)、F005(6.82)、F006(5.88)、F024(4.54)、F010(2.43)、F016(2.24)、F008(1.12)
[phe-^{14}C]	反復	150 mg/kg 体重	雄	尿	120	ND	F015(2.14)、F014(0.99)、F005/F024(0.82)、F004(0.58)、F009/F028(0.42)、F020(0.27)、F011(0.18)、F016(0.04)
			雌			ND	F009(3.47)、F061(1.95)、F014(0.56)、F004(0.53)、F015(0.48)、F016(0.36)、F011(0.08)、F020(0.05)
			雄	糞		30.5	F016(9.46)、F009(8.95)、F006(7.76)、F024(3.40)、F010(3.23)、F005(2.72)、F008(0.34)
			雌			30.7	F009(10.6)、F024(7.30)、F006(6.20)、F005(5.22)、F016(4.17)、F010(1.86)、F008(0.34)

ND：検出されず

[phe-^{14}C]：[phe-^{14}C]フルキサピロキサド　　[pyr-^{14}C]：[pyr-^{14}C] フルキサピロキサド

④排泄

a 尿及び糞中排泄

Wistar ラット（一群雌雄各 4 匹）に[phe-^{14}C] フルキサピロキサドを低用量若しくは高用量で単回経口投与又は高用量で反復経口投与し、尿、糞及び呼気中排泄試験が実施された。

投与後 72 時間（単回投与群）及び最終投与後 168 時間（反復投与群）の尿及び糞中排泄率は表 4 に示されている。

尿及び糞中排泄率は単回投与群では投与後 72 時間で 87.3～108%TAR、反復投与群では最終投与後 168 時間で 93.2%TAR 以上であり、主に糞中へ排泄された。

単回投与群の雄 2 匹について、投与 48 時間後の呼気中の放射能濃度が測定されたが、呼気中への排泄率はいずれも 2%TAR 未満と僅かであった。（参照 1、2）

表 4　投与後 72 時間（単回投与群）及び最終投与後 168 時間（反復投与群）の尿及び糞中排泄率（%TAR）

群	単回				反復	
投与量	7.5 mg/kg 体重		150 mg/kg 体重		150 mg/kg 体重	
性別	雄	雌	雄	雌	雄	雌
尿	9.72	16.0	3.22	8.31	6.82	9.39
糞	87.5	91.9	84.1	81.6	86.4	84.4
排泄合計	97.2	108	87.3	89.9	93.2	93.8
組織残留 a	0.69	0.67	0.26	0.30	0.45	0.41
合計	98.8	110	88.4	91.0	94.3	95.2

a：投与 168 時間後の脳、心臓、脂肪組織、肝臓、肺、筋肉、胃/内容物、腸/内容物、脾臓、腎臓、膵臓、甲状腺、副腎、精巣、卵巣、子宮、皮膚、骨、骨髄、血球、血漿及びカーカス

b. 胆汁中排泄

胆管カニューレを挿入した Wistar ラット（一群雌雄各 4 匹）に[phe-^{14}C] フルキサピロキサドを低用量又は高用量で単回経口投与し、胆汁中排泄試験が実施された。

投与後 72 時間の尿、糞及び胆汁中排泄率は表 5 に示されている。

放射能は投与後 72 時間で 70.8～82.3%TAR が尿、糞及び胆汁中へ排泄され、主に胆汁を介し糞中へ排泄された。

胆汁中への排泄は、雄で投与後 48 時間に 58.2～53.6%TAR、雌で 49.4～56.6%TAR であった。（参照 1、2）

表 5　投与後 72 時間の尿、糞及び胆汁中排泄率（%TAR）

投与量	7.5 mg/kg 体重		150 mg/kg 体重	
性別	雄	雌	雄	雌
尿	11.5	20.6	3.08	2.94
糞	3.29	5.01	18.8	16.2
胆汁	56.0	55.8	58.9 a	63.2
排泄合計	70.8	81.4	80.8	82.3
胃腸管合計 b	8.62	6.39	13.4	5.54
カーカス	3.88	2.99	2.21	0.95
合計	83.3	90.8	96.4	88.8

a：高用量群の雄では投与後 60 時間の胆汁が測定された。

b：胃内容物、胃、腸内容物及び腸の合計

（２）畜産動物（ヤギ）

泌乳期ヤギ（Deutsche Bunte Edelziege 系、雌 2 頭）に[phe-^{14}C] フルキサピロキサド又は[pyr-^{14}C] フルキサピロキサドを 8 日間反復強制経口（原体：[phe-^{14}C] フルキサピロキサドで 0.42 mg/kg 体重/日、[pyr-^{14}C] フルキサピロキサドで 0.41 mg/kg 体重/日）投与し、動物体内運命試験が実施された。

投与後 8 日の乳汁及び最終投与 23 時間後の組織における総残留放射能濃度並

びに代謝物は表 6 に示されている。

乳汁中の残留放射能濃度は、投与 8 日後まで 0.008～0.042 μg/g の範囲で推移した。肝臓では抽出残渣に 68.4～74.4%TRR の放射能が検出されたが、加水分解後に代謝産物の分析を行ったところ、表 6 に示す試料で同定された代謝物は認められなかった。

投与後 8 日の尿及び糞中への排泄率は、79.8～83.3%TAR であり、約 60%TAR が糞中へ排泄された。

尿、糞及び胆汁中の総残留放射能濃度及び代謝物は表 7 に示されている。

フルキサピロキサドの主な代謝経路はラットと同様で、ピラゾール環の脱メチル化及びビフェニル環の水酸化であり、その後、脱メチル化、酸化抱合化を受けると考えられた。標識化合物による代謝物の差はほとんど認められなかった。（参照 1、4、5）

表 6　投与後 8 日の乳汁及び最終投与 23 時間後の組織における総残留放射能濃度並びに代謝物

標識化合物	試料	総残留放射能濃度 (μg/g)	フルキサピロキサド (%TRR)	代謝物 (%TRR)	抽出残渣 (%TRR)
[phe-^{14}C]	肝臓	0.348	3.2	F008(16.7)、F005(6.4)、F009(2.3)、F004(1.9)、F010/F040(0.7)	76.6
	腎臓	0.036	7.0	F008(25.6)、F004(13.1)、F038/F039/F111(9.0)、F034/F036(5.2)、F005/F024(5.2)、F015(5.2)、F014(3.5)、F010/F040(3.1)、F046/F047(3.1)、F009(2.0)	16.5
	筋肉	0.007	12.0	F008(54.7)	22.9
	脂肪	0.021	43.6	F008(25.9)、F005/F024(3.4)	不明
	乳汁	0.011	13.0	F008(23.9)、F010/F040(12.3)、F009(5.5)	2.8
[pyr-^{14}C]	肝臓	0.555	3.7	F008(12.8)、F005(8.3)、F004(2.6)、F009(2.5)	68.4
	腎臓	0.078	5.4	F008(22.5)、F005/F024(19.2)、F004(12.3)、F038/F039/F111(5.1)、F034/F036(4.9)、F046/F047(4.4)、F015(4.1)、F010/F040(4.0)、F009(3.6)、F014(3.0)	8.5
	筋肉	0.009	ND	F008(82.9)	11.5
	脂肪	0.025	34.1	F008(25.8)、F005/F024(13.7)、F004(6.1)、F010/F040(3.7)	10.1
	乳汁	0.017	19.8	F008(25.4)、F010/F040(15.0)、F009(5.7)	4.9

ND：検出されず

[phe-^{14}C] ：[phe-^{14}C]フルキサピロキサド　　[pyr-^{14}C] ：[pyr-^{14}C] フルキサピロキサド

表 7　尿、糞及び胆汁中の総残留放射能濃度及び代謝物

標識化合物	試料	総残留放射能濃度 (μg/g)	フルキサピロキサド (%TRR)	代謝物 (%TRR)	抽出残渣 (%TRR)
[phe-^{14}C]	尿[a]	1.86	ND	F008/F006(35.8)、F005/F024(32.6)、F046/F047(9.3)、F009(8.8)、F041/F042/F043/F044(2.6)、F010/F040(2.6)、F038/F039/F111(2.5)、F034/F036(1.3)	
	糞[a]	1.92	4.0	F005/F024(35.1)、F009(20.2)、F008/F006(9.5)、F010(2.7)、F033(1.9)	18.6
	胆汁[b]	7.33	n.d.	F004(55.3)、F014(25.1)、F015(10.2)、F112(0.8)	
[pyr-^{14}C]	尿[a]	4.28	ND	F005/F024(34.4)、F008/F006(13.7)、F046/F047(10.3)、F009(8.4)、F034/F036(6.2)、F010/F040(3.0)、F038/F039/F111(2.8)、F041/F042/F043/F044(1.4)、F004(1.3)	
	糞[a]	1.76	2.0	F005/F024(50.5)、F009(18.0)、F008/F006(7.8)、F010(3.8)、F033(1.4)	16.8
	胆汁[b]	6.56			

注）尿及び胆汁試料は抽出せずに分析された。
ND：検出されず　　/：なし　　[a]：投与後 8 日の試料　　[b]：最終投与 23 時間後に採取
[phe-^{14}C]：[phe-^{14}C]フルキサピロキサド　　[pyr-^{14}C]：[pyr-^{14}C] フルキサピロキサド

（3）畜産動物（ニワトリ）

産卵期ニワトリ（褐色レグホン種、雌 12 羽）に[phe-^{14}C] フルキサピロキサドを 12 日間反復強制経口（原体：0.76 mg/kg 体重/日）投与し、動物体内運命試験が実施された。

最終投与 23 時間後の組織中総残留放射能は、肝臓で 0.238 μg/g（0.06%TAR）、胃腸管内容物及び胃腸管組織で 0.795 μg/g（0.22%TAR）及び 0.152 μg/g（0.09%TAR）と高い残留が認められた。血液、腿肉、胸肉及び脂肪中の残留放射能は、0.010～0.060 μg/g（0.02%TAR 以下）であった。卵は投与 12 日後まで 0.004～0.079 μg/g の範囲で推移し、投与 12 日後が最大であった。

組織及び卵中の残留放射能濃度及び代謝物は表 8 に示されている。

投与後 12 日の排泄物中に 86.1%TAR が回収され、放射能の成分には未変化のフルキサピロキサド及び組織中に認められた代謝物と同様な代謝物が検出された。（参照 1、6、7）

表 8　組織及び卵中の総残留放射能濃度及び代謝物

試料	総残留放射能濃度 (μg/g)	フルキサピロキサド		代謝物 (%TRR)	抽出残渣 (%TRR)
		(μg/g)	(%TRR)		
肝臓	0.210	0.002	1.0	F024(7.3)、F009/F038(5.6)、F063(5.0)、F005(4.4)、F008/F016(4.3)、F047(1.7)	4.7[a]
腿肉	0.010	0.0011	17.6	F008/F016(25.7)、F005(4.3)	27.5
脂肪	0.059	0.023	63.3	F008(25.3)、F005(1.7)	0.3
卵	0.077	0.009	13.5	F008 (49.9)、F005(7.6)、F009/F038(5.7)、F004(4.8)	9.0

注）組織は最終投与 23 時間後に採取、卵は投与 7～12 日後に採取、均質化された。
[a]：抽出残渣をプロナーゼ処理した最終残渣

２．植物体内運命試験

（１）トマト

トマト（品種：Cedel）をポットに移植し、乳剤に調製した[phe-^{14}C] フルキサピロキサド又は[pyr-^{14}C] フルキサピロキサドを約 100 g ai/ha の用量で植え付け 55、62 及び 69 日後の計 3 回葉面処理し、最終処理 3 日後の茎葉及び成熟果実を採取して、植物体内運命試験が実施された。

最終処理 3 日後の試料中の総残留放射能及び代謝物は表 9 に示されている。茎葉及び果実中で 10%TRR を超えて認められた代謝物は存在しなかった。（参照 1、8）

表 9　最終処理 3 日後の試料中の総残留放射能及び代謝物

標識化合物	試料	総残留放射能濃度 (mg/kg)	フルキサピロキサド (%TRR)	代謝物 (%TRR)	抽出残渣 (%TRR)
[phe-^{14}C]	茎葉	6.70	90.1	F008(2.7)、F075/F076(1.4)、F048(0.8)	1.7
	果実	0.166	94.4	F008(1.4)	1.7
[pyr-^{14}C]	茎葉	4.46	92.0	F008(2.8)、F075/F076(0.1)	1.4
	果実	0.112	98.5	ND	0.8

ND：検出されず
[phe-^{14}C]：[phe-^{14}C]フルキサピロキサド　　[pyr-^{14}C]：[pyr-^{14}C] フルキサピロキサド

（２）だいず

だいず（品種：Pioneer 9091）をポットに移植し、乳剤に調製した[phe-^{14}C] フルキサピロキサド又は[pyr-^{14}C] フルキサピロキサドを約 600 g ai/ha の用量で播種 143、150 及び 164 日後の計 3 回葉面処理し、1 回目処理直後、2 回目処理 14 日後、最終処理 22、29 及び 34 日後に試料を採取して、植物体内運命試験が実施された。

各試料中の総残留放射能及び代謝物は表 10 に示されている。

種皮及び子実の抽出残渣の可溶化処理によって、種皮からは未変化のフルキサピロキサドが 0.2～1.5%TRR 検出された。だいず子実における主要代謝物として[phe-^{14}C] フルキサピロキサド処理区で F048 が 19.9%TRR（0.023 mg/kg）、[pyr-^{14}C] フルキサピロキサド処理区で F002 が 33.4%TRR（0.087 mg/kg）認められた。（参照 1、9）

表 10　各試料中の総残留放射能及び代謝物

標識化合物	試料	採取日(処理後日数)	総残留放射能濃度(mg/kg)	フルキサピロキサド(%TRR)	代謝物(%TRR)	抽出残渣(%TRR)
[phe-^{14}C]	青刈り茎葉	1 回目処理直後	6.41	97.7	F006/F008(0.6)	1.0
	青刈り茎葉	2 回目処理 14 日後	5.09	93.8	F006/F008(1.2)、F048(0.6)	2.9
	落葉	3 回目処理 22-34 日後	61.2	88.6	F048(1.6)、F006/F008(0.9)	4.1
	わら	3 回目処理 34 日後	1.01	92.5	F048(0.8)、F006/F008(0.8)	4.9
	種皮		2.74	62.6	F006/F008(4.2)、F048(2.6)	19.0
	子実		0.115	21.2	F048(19.9)、F006/F008(4.0)	22.3
[pyr-^{14}C]	青刈り茎葉	1 回目処理直後	4.37	97.6	F006/F008(1.5)	0.8
	青刈り茎葉	2 回目処理 14 日後	4.67	91.7	F006/F008(2.4)、F048(1.2)	3.1
	落葉	3 回目処理 22-34 日後	54.3	86.4	F048(2.2)、F006/F008(1.1)	4.8
	わら	3 回目処理 34 日後	0.837	89.5	F006/F008(1.2)	6.7
	種皮		2.24	53.8	F006/F008(5.5)、F048(3.2)、F002(2.0)	21.4
	子実		0.260	7.4	F002(33.4)、F048(8.8)、F006/F008(1.0)	7.7

[phe-^{14}C]：[phe-^{14}C]フルキサピロキサド　　[pyr-^{14}C]：[pyr-^{14}C] フルキサピロキサド

（3）小麦①

春小麦（品種：Thasos）をポットに播種し、[phe-^{14}C] フルキサピロキサド若しくは[pyr-^{14}C] フルキサピロキサドを 125 g ai/ha の用量で播種 42 及び 91 日後の計 2 回茎葉に噴霧処理し、1 回目処理 36 日後、2 回目処理 4 日後及び 2 回目処理 34 又は 35 日後に試料を採取して植物体内運命試験が実施された。

各試料中の総残留放射能及び代謝物は表 11 に示されている。

各試料中に 10%TRR を超える代謝物は認められなかった。もみ殻の抽出残渣中には可溶化処理後に未変化のフルキサピロキサドが 1.9～4.3%TRR 検出された。（参照 1、10）

表 11　各試料中の総残留放射能及び代謝物

標識化合物	試料	採取日(処理後日数)	総残留放射能濃度(mg/kg)	フルキサピロキサド(%TRR)	代謝物(%TRR)	抽出残渣(%TRR)
[phe-^{14}C]	青刈り茎葉	1 回目処理 36 日後	0.885	91.3	F008/F043/F041/F006(4.2)、F048/F057(0.5)、F074(0.3)、F042/F024/F005(0.3)、F058(0.3)、F059/F060(0.2)	2.9
	乾燥茎葉	2 回目処理 4 日後	10.2	89.4	F008/F043/F041/F006(2.4)、F048/F057(0.5)、F042/F024/F005(0.3)、F134/F133(0.3)、F074(0.2)、F058(0.2)、F059/F060(0.1)	2.3
	わら	2 回目処理 35 日後	19.3	83.8	F008/F043/F041/F006(2.8)、F042/F024/F005(0.7)、F048/F057(0.6)、F074(0.3)、F058(0.3)、F059/F060(0.3)、F134/F133(0.3)、F131/F041/F0130/F058(0.2)	5.4
	もみ殻		6.73	80.1	F008/F043/F041/F006(6.2)、F048/F057(0.6)、F042/F024/F005(0.6)、F074(0.4)、F134/F133(0.4)、F058(0.3)、F059/F060(0.1)、F082(0.1)	7.3
	子実		0.045	63.0	F008/F043/F041/F006(6.5)、F131/F041/F0130/F058(0.3)	24.5
[pyr-^{14}C]	青刈り茎葉	1 回目処理 36 日後	1.06	87.3	F008/F043/F041/F006(5.8)、F058(1.2)、F048/F057(1.1)、F036/F132(0.6)、F074(0.6)、F007/F002(0.5)	4.0
	乾燥茎葉	2 回目処理 4 日後	10.3	86.6	F008/F043/F041/F006(3.3)、F048/F057(0.6)、F042/F024/F005(0.6)、F058(0.4)、F007/F002(0.3)、F074(0.3)、F134/F133(0.2)、F036/F132(0.1)、F082(0.1)、F059/F060(0.1)	2.5
	わら	2 回目処理 34 日後	17.4	85.6	F008/F043/F041/F006(3.7)、F042/F024/F005(0.7)、F007/F002(0.5)、F048/F057(0.5)、F058(0.4)、F134/F133(0.4)、F074(0.3)、F059/F060(0.2)、F082(0.2)、F001(0.1)	5.2
	もみ殻		7.40	76.2	F008/F043/F041/F006(5.8)、	12.3

					F042/F024/F005(0.7)、 F134/F133(0.6)、 F007/F002(0.5)、 F048/F057(0.5)、F001(0.3)、 F074(0.2)、F082(0.2)、 F058(0.1)	
	子実		0.057	60.2	F008/F043/F041/F006(6.5)、 F131/F041/F0130/F058(0.6)、 F007/F002(0.5)	15.4

[phe-^{14}C]：[phe-^{14}C]フルキサピロキサド　　[pyr-^{14}C]：[pyr-^{14}C] フルキサピロキサド

（4）小麦②

春小麦（品種：Thasos）の種子に[phe-^{14}C] フルキサピロキサド又は[pyr-^{14}C] フルキサピロキサドを 0.75 g ai/kg 種子（135 g ai/ha に相当）で処理し、処理 1 日後にポットに播種し、処理 93、112 及び 161 又は 162 日後に採取された試料を採取し、植物体内運命試験が実施された。

各試料中の総残留放射能及び代謝物は表 12 に示されている。

[phe-^{14}C] フルキサピロキサド処理区の処理 112 日の乾燥茎葉中に F008 が 10.6%TRR 認められたほかに 10%TRR を超える代謝物は認められなかった。各試料中の抽出残渣の可溶化処理によって、最終残渣は 3.2～18.5%TRR となったが、遊離した成分中で同定された化合物は認められなかった。（参照 1、11）

表 12　各試料中の総残留放射能及び代謝物

標識化合物	試料	採取日 (処理後日数)	総残留放射能濃度 (mg/kg)	フルキサピロキサド (%TRR)	代謝物 (%TRR)	抽出残渣 (%TRR)
[phe-^{14}C]	青刈り茎葉	処理 93 日後	0.285	78.8	F008(9.0)、F058(2.6)、 F048/F057(2.0)、 F042/F005(1.5)、F074(1.2)、 F036(0.8)	4.1
	乾燥茎葉	処理 112 日後	1.12	70.8	F008(10.6)、F058(3.4)、 F074(2.0)、F048/F057(2.0)、 F036(1.8)、F042/ F005(1.0)	7.6
	わら	処理 162 日後	1.67	63.1	F008(8.0)、F058(3.2)、 F048/F057(2.3)、F036(1.7)、 F074(1.1)	12.3
	もみ殻		0.307	63.3	F008(9.5)、F042/ F005(0.7)、 F074(0.6)	25.9
	子実		0.019	16.8	F008(4.5)	61.0
[pyr-^{14}C]	青刈り茎葉	処理 93 日後	0.288	70.3	F008(8.4)、F058(3.3)、 F074(2.2)、F048/F057(2.0)、 F036(1.6)、F059 (1.2)、 F007(1.1)、F042/ F005(0.8)	5.7
	乾燥	処理	0.886	58.7	F008(8.1)、F058(3.6)、	10.1

	茎葉	112 日後			F048/F057(3.5)、F074(2.1)、F036(1.9)、F059(1.2)、F042/F005(1.1)	
	わら	処理 161 日後	1.87	65.1	F008(6.1)、F058(4.2)、F074(2.4)、F036(2.3)、F048/F057(1.9)、F059 (1.5)	11.0
	もみ殻		0.261	58.3	F008(9.6)	19.8
	子実		0.0322	7.1	F008(2.2)	64.1

[phe-^{14}C] ：[phe-^{14}C]フルキサピロキサド　　[pyr-^{14}C] ：[pyr-^{14}C] フルキサピロキサド

植物体中におけるフルキサピロキサドの代謝は①ピラゾール環の脱メチル化、②カルボキサミド結合の加水分解による開裂、③ビフェニル環の水酸化、④ピラゾール環メチル基の水酸化、⑤ピラゾール分枝の *N*-グルコシル化により代謝され、次いで、抱合体を形成すると考えられた。

３．土壌中運命試験

（１）好気的土壌中運命試験①

砂壌土（ドイツ）の土壌水分を最大容水量の 40%に調整し、常温暗所下で 3 日間プレインキュベートした後、[phe-^{14}C]フルキサピロキサド又は[pyr-^{14}C]フルキサピロキサドを 0.4 mg/kg 乾土（150 g ai/ha に相当）となるように処理し、加湿した CO_2 を通気した暗所下 20℃で 120 日間インキュベートする好気的土壌中運命試験が実施された。

推定半減期は、[phe-^{14}C]フルキサピロキサド処理区で 71.9 日、[pyr-^{14}C]フルキサピロキサド処理区で 68.8 日であった。

処理 120 日後に未変化のフルキサピロキサドは、[phe-^{14}C]フルキサピロキサド処理区で 35.4%TAR、[pyr-^{14}C]フルキサピロキサド処理区で 30.7%TAR 認められた。試験期間中に[phe-^{14}C]フルキサピロキサド処理区では分解物 F008 が最大で 1.2%TAR、[pyr-^{14}C]フルキサピロキサド処理区で分解物 F001、F002 及び F008 がそれぞれ最大で 12.1、38.5 及び 0.3%TAR 認められた。

フルキサピロキサドの吸着率はインキュベーション期間に相関して高くなり、Freundlich の吸着係数 K^{ads} は 6.85～29.1、有機炭素含有率により補正した吸着係数 $K^{ads}oc$ は 311～1,330 であった。（参照 1、12）

（２）好気的土壌中運命試験②

砂壌土（ドイツ）を 2 週間常温暗所でプレインキュベートした後、土壌水分を最大容水量の 40%に調整し、[tri-^{14}C]フルキサピロキサドを 0.4 mg/kg 乾土（150 g ai/ha に相当）となるように処理し、加湿した空気を通気した暗所下 20℃で 120 日間インキュベートする好気的土壌中運命試験が実施された。

推定半減期は、144 日であった。

処理 120 日後の抽出性放射能の主要成分は未変化のフルキサピロキサドであり、54.0%TAR 認められた。（参照 1、13）

（３）好気的土壌中運命試験③

シルト質埴壌土（スペイン）、壌土（ドイツ）及びシルト質壌土（ドイツ）を最大容水量の 40%に調整し 20℃で 4 日間プレインキュベートした後、[pyr-^{14}C]フルキサピロキサドを 0.4 mg/kg 乾土（150 g ai/ha に相当）となるように処理し、暗所下 20/10℃[2]で 120 日間インキュベートする好気的土壌中運命試験が実施された。

推定半減期は表 13 に示されている。

処理 120 日後の抽出性放射能の主要成分は未変化のフルキサピロキサドであり、71.7～90.2%TAR 認められた。分解物 F001 及び F002 が検出されたが、いずれも 2%TAR 未満であった。

フルキサピロキサドの吸着率は、壌土及びシルト質壌土でインキュベーション期間に相関して高くなり、Freundlich の吸着係数 K^{ads} は壌土で 13.2～20.0、シルト質壌土で 21.6～40.0、有機炭素含有率により補正した吸着係数 $K^{ads}oc$ は壌土で 831～1,260、シルト質壌土で 1,290～2,360 であった。シルト質埴壌土では、Freundlich の吸着係数 K^{ads} は 12.1～16.3、有機炭素含有率により補正した吸着係数 $K^{ads}oc$ は 410～555 であった。（参照 1、14）

表 13　フルキサピロキサドの推定半減期

土性	温度（℃）	半減期（日）
シルト質埴壌土	20	357
壌土	20	689
シルト質壌土	20	599
	10	810

（４）好気的／嫌気的土壌中運命試験

砂壌土（ドイツ）の土壌水分を最大容水量の 40%に調整し、[phe-^{14}C]フルキサピロキサド又は[pyr-^{14}C]フルキサピロキサドを 0.4 mg/kg 乾土（150 g ai/ha に相当）となるように処理し、加湿した空気を通気した暗所下 20℃で 30 日間プレインキュベートした後、脱イオン水を添加し、窒素で置換し嫌気条件に変換後の暗所下 20℃で 90 日間インキュベートする好気的／嫌気的土壌中運命試験が実施された。

推定半減期は、[phe-^{14}C]フルキサピロキサド処理区で 301 日、[pyr-^{14}C]フルキサピロキサド処理区で 224 日であった。

[2] インキュベーション温度は、シルト質壌土のみ 20 及び 10℃、シルト質埴壌土及び壌土では 20℃のみ。

処理 120 日後の抽出性放射能の主要成分は未変化のフルキサピロキサドであり、[phe-^{14}C]フルキサピロキサド処理区で 62.2%TAR、[pyr-^{14}C]フルキサピロキサド処理区で 57.5%TAR 認められた。[pyr-^{14}C]フルキサピロキサド処理区で分解物 F001 及び F002 が最大 19.8 及び 7.2%TAR 認められた。（参照 1、15）

（５）土壌吸脱着試験

[phe-^{14}C]フルキサピロキサドを用いて、8 点で採取した 5 種類の土壌［砂壌土（米国、スペイン及び北海道）、シルト質埴壌土（スペイン）、壌質砂土（スペイン）、砂土（スペイン）及びシルト質壌土（米国及びドイツ）］における土壌吸脱着試験が実施された。

Freundlich の吸着係数 K^{ads} は 2.47～17.9、有機炭素含有率により補正した吸着係数 K^{ads}_{OC} は 320～1,100、脱着係数 K^{des} は 4.15～51.9、有機炭素含有率により補正した脱着係数 K^{des}_{OC} は 486～6,330 で移動性は低いと考えられた。（参照 1、16）

４．水中運命試験

（１）加水分解試験（緩衝液）

[pyr-^{14}C]フルキサピロキサドを pH 4 及び pH 5（クエン酸）、pH 7（リン酸）並びに pH 9（ホウ酸）の各滅菌緩衝液に 1 mg/L となるように添加した後、50℃の暗所下で 5 日間インキュベートする加水分解試験が実施された。

回収率は 99.9～105%TAR であり、未変化のフルキサピロキサドのみ認められ、分解物は検出されなかった。フルキサピロキサドは、pH 4、pH 5、pH 7 及び pH 9 で安定であり、25℃での半減期は 1 年以上と考えられた。（参照 1、17）

（２）水中光分解試験（緩衝液）

[phe-^{14}C]フルキサピロキサド又は[pyr-^{14}C]フルキサピロキサドを pH 7 の滅菌緩衝液（リン酸）に 1 mg/L となるように添加し、21.1～22.4℃で最長 15 日間キセノン光（光強度：28～30.8 W/m^2、波長：290 nm 以下をフィルターでカット）を照射して水中光分解試験が実施された。

回収率は 94.2～108%TAR であり、未変化のフルキサピロキサドが 93.0～108%TAR 認められ、ほかに同定された分解物はなかった。同様な結果が暗所対照区で得られた。フルキサピロキサドは pH7 の緩衝液中で光の有無にかかわらず安定であると考えられた。（参照 1、18）

（３）水中光分解試験（自然水）

[phe-^{14}C]フルキサピロキサド又は[pyr-^{14}C]フルキサピロキサドを滅菌した自

然水（池水、ドイツ）に 1 mg/L となるように添加し、21.0～22.6℃で最長 15 日間キセノン光（光強度：28.0～29.9 W/m²、波長：290 nm 以下をフィルターでカット）を照射して水中光分解試験が実施された。

回収率は 94.2～103%TAR であり、未変化のフルキサピロキサドは 91.4～101%TAR、分解物 F001 及び F007 が最大で 6.99 及び 4.05%TAR 認められた。

暗所対照区では安定に存在した。フルキサピロキサドは pH 7 の滅菌自然水中で光の有無にかかわらず、安定であった。（参照 1、19）

５．土壌残留試験

土壌残留試験については、参照した資料に記載がなかった。

６．作物等残留試験

（１）作物残留試験

海外において、だいず等を用いて、フルキサピロキサド並びに代謝物 F002、F008 及び F048 を分析対象とした作物残留試験が実施された。結果は別紙 3 に示されている。フルキサピロキサド並びに代謝物 F002、F008 及び F048 の最大残留値は、それぞれ散布当日に収穫された非結球レタス（葉）における 9.53 mg/kg、散布 5 及び 8 日後に収穫されただいず（未成熟子実）及び散布 21 日後に収穫されたピーマン（果実）の 0.02 mg/kg、散布 7 日後に収穫されたラディッシュ（葉）における 0.9 mg/kg 及び散布当日に収穫されたマスタードグリーン（葉）における 1.5 mg/kg であった。（参照 1、65、67）

（２）畜産物残留試験

①ウシ

泌乳牛（ホルスタイン・フリージアン種、各 3 又は 6 頭）に 28 日間カプセル経口（原体：0、3、6、18 及び 60 mg/kg 飼料、代謝物 F002：0、0.1、0.3 及び 1.0 mg/kg 飼料（飼料中濃度相当量～10 倍相当量）：平均検体摂取量は表 14 参照）投与し、乳汁、脱脂乳、乳脂及び組織（筋肉、肝臓、腎臓及び脂肪）中のフルキサピロキサド並びに代謝物 F008 及び F002 を分析対象とした海外の畜産物残留試験について、別紙 4 に示されている。

表 14 畜産物残留試験（ウシ）の平均検体摂取量

フルキサピロキサド		代謝物 F002	
投与群 (mg/kg 飼料)	平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)	投与群 (mg/kg 飼料)	平均検体摂取量 (mg/kg 体重/日)
3	0.086		
6	0.171	0.1	0.003
18	0.512	0.3	0.008
60	1.56	1.0	0.025

飼料中濃度相当量を投与した場合、フルキサピロキサド及び F008 の最高値はそれぞれ脂肪で 0.0193 μg/g、肝臓で 0.0379 μg/g であった。F002 は投与期間を通していずれの臓器及び組織においても定量限界未満（0.01 μg/g 未満）であった。飼料中濃度 10 倍相当量を投与した場合、休薬 4 日後以降は、フルキサピロキサド、代謝物 F008 及び F002 はいずれにおいても定量限界未満であった。（参照 1、20）

②ニワトリ

産卵期ニワトリ（ISA Warren、一群雌 10 羽）に 28 日間カプセル経口（原体：0、0.3、0.6、1.8 及び 6.0 mg/kg 飼料、代謝物 F002：0、0.025、0.05、0.15 及び 0.50 mg/kg 飼料（飼料中濃度相当量～10 倍相当量）：平均検体摂取量は不明）投与し、卵及び組織（筋肉、肝臓、皮膚及び脂肪）中のフルキサピロキサド、代謝物 F008 及び F002 を分析対象とした海外の畜産物残留試験について、別紙 4 に示されている。

飼料中濃度相当量及び飼料中濃度 3 倍相当量を投与した場合、フルキサピロキサド、代謝物 F008 及び F002 は、投与期間を通していずれの臓器及び組織においても 0.01 μg/g 未満であった。飼料中濃度 10 倍相当量を投与した場合、フルキサピロキサド及び F008 が脂肪から検出されたが、休薬 3 日後以降は、0.01 μg/g 未満であった。（参照 1、21）

7．一般薬理試験

ラット及びマウスを用いた一般薬理試験が実施された。結果は表 15 に示されている。（参照 1、22）

表 15　一般薬理試験概要

試験の種類		動物種	動物数/群	投与量 (mg/kg 体重) (投与経路)	最大無作用量 (mg/kg 体重)	最小作用量 (mg/kg 体重)	結果の概要
中枢神経系	一般状態（Irwin 法）	ICR マウス	雄 6	0、200、600、2,000（経口）	2,000	-	影響なし
		SD ラット	雄 5	0、200、600、2,000（経口）	600	2,000	2,000 mg/kg 体重で軟便・下痢（投与 6 時間後）
	自発運動量	ICR マウス	雄 6	0、200、600、2,000（経口）	2,000	-	影響なし

	電撃誘発性痙攣	ICR マウス	雄 6	0、200、600、2,000（経口）	2,000	-	影響なし
循環器系	呼吸数・血圧・心拍数	SD ラット (無麻酔)	雄 5	0、200、600、2,000（経口）	2,000	-	影響なし
腎機能	尿量・電解質・浸透圧	SD ラット	雄 5	0、200、600、2,000（経口）	2,000	-	影響なし

注）いずれの試験でも検体は 0.5%CMC に懸濁した。
－：最小作用量は設定されなかった。

８．急性毒性試験

（１）急性毒性試験

フルキサピロキサド（原体）を用いた急性毒性試験が実施された。結果は表 16 に示されている。（参照 1、23、24、25、61、62）

表 16　急性毒性試験概要（原体）

投与経路	動物種	LD_{50}（mg/kg 体重）		観察された症状
		雄	雌	
経口	SD ラット 雌 6 匹	/	>2,000	1 例で活動低下及び立毛（投与後 2～4 時間） 死亡例なし
経皮	SD ラット 雌雄各 5 匹	>2,000	>2,000	症状及び死亡例なし
吸入	Wistar ラット 雌雄各 5 匹	LC_{50}（mg/L）		雌雄：腹式呼吸、立毛、呼吸促迫及びうずくまり姿勢 死亡例なし
		>5.1	>5.1	

/：なし

フルキサピロキサドの代謝物 F001、F002 及び F048 を用いた急性毒性試験が実施された。結果は表 17 に示されている。（参照 1、26、27、28、61、62）

表 17　急性毒性試験結果概要（代謝物 F001、F002 及び F048）

代謝物	投与経路	動物種	LD_{50} (mg/kg 体重)		観察された症状
			雄	雌	
F001	経口	Wistar ラット 一群雌 6 匹	/	＞2,000	一般状態の抑制、呼吸困難、立毛及び糞減少 死亡例なし

代謝物	投与経路	動物種	LD_{50} (mg/kg 体重)		観察された症状
			雄	雌	
F002		Wistar ラット 一群雌 6 匹		＞2,000	一般状態の悪化、呼吸困難及び立毛 死亡例なし
F048		Wistar ラット 一群雌 6 匹		＞2,000	一般状態の抑制、呼吸困難、立毛、下痢、脱水症状及び糞減少 死亡例なし

/：なし

（２）急性神経毒性試験

Wistar ラット（一群雌雄各 10 匹）を用いた単回経口（原体：0、125、500 及び 2,000 mg/kg 体重）投与による急性神経毒性試験が実施された。

投与日の検査において、2,000 mg/kg 体重投与群の雄で着地開脚幅増加、500 mg/kg 体重以上投与群の雌雄で自発運動量低下及び同群の雄で立ち上がり回数の減少が認められた。

雄では投与日に全ての投与群でオープンフィールド観察の探索活動の低下が認められたが、用量相関性がないことから、毒性学的に意義のない変化であると考えられた。また、2,000 mg/kg 体重投与群の雄 1 例で遠位脛骨神経の軸索変性が認められたが、近位脛骨神経を含む末梢神経系及び中枢神経系には異常が認められなかったことから、検体投与の影響ではないと判断した。

本試験において、500 mg/kg 体重以上投与群の雌雄で自発運動量低下等が認められたので、急性神経毒性に関する無毒性量は、雌雄で 125 mg/kg 体重であると考えられた。（参照 1、29、61、62）

９．眼・皮膚に対する刺激性及び皮膚感作性試験

NZW ウサギを用いた眼及び皮膚刺激性試験が実施された。眼及び皮膚に対して軽度の刺激が認められた。

Hartley モルモットを用いた皮膚感作性試験（Maximization 法）が実施され、結果は陰性であった。（参照 1、30、31、32、61、62）

１０．亜急性毒性試験

（１）90 日間亜急性毒性試験（ラット）

Wistar ラット（一群雌雄各 10 匹）を用いた混餌（原体：0、100、500、2,000 及び 6,000 ppm：平均検体摂取量は表 18 参照）投与による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。

表 18　90 日間亜急性毒性試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群		100 ppm	500 ppm	2,000 ppm	6,000 ppm
平均検体摂取量（mg/kg 体重/日）	雄	6.1	31.2	126	407
	雌	7.3	35.1	144	424

各投与群で認められた毒性所見は表 19 に示されている。

投与終了時に行われた FOB においては、6,000 ppm 投与群の雌で着地開脚幅の減少が認められたが、対照群の値が最も高かったこと、試験実施施設における背景データの範囲内であることから、検体投与による影響とは考えられなかった。また、同群の雌では自発運動量の減少が認められたが、1 セッションのみの変動であることから検体投与による影響ではないと考えられた。

血液生化学的検査においては、100 ppm 投与群雌で Chol 増加が認められたが、背景データの範囲内であり、毒性学的意義は低いと考えられた。

本試験において、100 ppm 以上投与群の雄で T_3 増加、500 ppm 以上投与群の雌で甲状腺ろ胞細胞肥大/過形成等が認められたので、無毒性量は雄で 100 ppm 未満（6.1 mg/kg 体重/日未満）、雌で 100 ppm（7.3 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 1、33、61、62）

（甲状腺ホルモンへの影響に関するメカニズム試験は［14. (1)～(3)］を参照）

表 19　90 日間亜急性毒性試験（ラット）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
6,000 ppm	・体重増加抑制（投与 7 日以降） ・GGT 及び TG 増加 ・小葉中心性肝細胞凝固壊死	・体重増加抑制（投与 28 日以降）及び摂餌量減少 [a] ・GGT、無機リン及び Alb 増加 ・Glu 減少 ・尿細管上皮色素沈着 ・カルシウム増加
2,000 ppm 以上	・Ure、TP、Alb、Glob、無機リン及び Chol 増加 ・クロール及び Glu 減少 ・甲状腺ろ胞細胞肥大/過形成 ・カルシウム増加	・TP、TG、T_3 及び TSH 増加 ・クロール減少
500 ppm 以上	・肝絶対及び比重量[3]増加 ・T.Bil 減少 ・小葉中心性肝細胞肥大	・肝絶対及び比重量増加 ・PT 短縮 ・T.Bil 減少 ・Chol、Glob 及び T_4 増加 ・小葉中心性肝細胞肥大 ・甲状腺ろ胞細胞肥大/過形成
100 ppm 以上	・T_3 増加	100 ppm 毒性所見なし

[3] 体重比重量を比重量という（以下同じ。）。

注）病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。
[a]：統計学的有意差はないが投与の影響と判断した。

（２）90 日間亜急性毒性試験（マウス）

C57BL マウス（一群雌雄各 10 匹）を用いた混餌（原体：0、100、400、2,000 及び 6,000 ppm：平均検体摂取量は表 20 参照）投与による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。

表 20　90 日間亜急性毒性試験（マウス）の平均検体摂取量

投与群		100 ppm	400 ppm	2,000 ppm	6,000 ppm
平均検体摂取量（mg/kg 体重/日）	雄	21	77	390	1,140
	雌	32	128	610	1,660

各投与群で認められた毒性所見は表 21 に示されている。

本試験において、400 ppm 以上投与群の雄で TG 及び Chol 減少、2,000 ppm 以上投与群の雌で肝絶対及び比重量増加等が認められたので、無毒性量は雄で 100 ppm（21 mg/kg 体重/日）、雌で 400 ppm（128 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 1、34、61、62）

表 21　90 日間亜急性毒性試験（マウス）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
6,000 ppm	・体重増加抑制（投与 70 日以降） ・副腎絶対及び比重量増加 ・ALT、ALP 及び Ure 増加 ・TP 及び Alb 減少 ・多巣性肝細胞壊死	
2,000 ppm 以上	・肝絶対及び比重量増加 ・肝臓のび漫性脂肪化	・肝絶対及び比重量増加 ・Chol 減少
400 ppm 以上	・TG 及び Chol 減少	400 ppm 以下 毒性所見なし
100 ppm	毒性所見なし	

注）病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。

（３）90 日間亜急性毒性試験（イヌ）

ビーグル犬（一群雌雄各 5 匹）を用いた混餌（原体：0、300、1,500 及び 10,000/7,500 ppm[4]：平均検体摂取量は表 22 参照）投与による 90 日間亜急性毒性試験が実施された。

[4] 最高用量群は、雄で 10,000 ppm、雌で 7,500 ppm。

表 22　90 日間亜急性毒性試験（イヌ）の平均検体摂取量

投与群		300 ppm	1,500 ppm	7,500 ppm	10,000 ppm
平均検体摂取量（mg/kg 体重/日）	雄	9	45		295
	雌	10	51	238	

/：該当なし。

各投与群で認められた毒性所見は表 23 に示されている。

本試験において、1,500 ppm 以上投与群の雌雄で Chol 減少等が認められたので、無毒性量は雌雄とも 300 ppm（雄：9 mg/kg 体重/日、雌：10 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 1、35、61）

表 23　90 日間亜急性毒性試験（イヌ）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
10,000 ppm	・ALP、GGT、無機リン及び TG 増加 ・カルシウム及び T.Bil 減少 ・肝絶対及び比重量増加	
7,500 ppm		・ALP 及び GGT 増加 ・カルシウム及び T.Bil 減少 ・肝絶対[a]及び比重量増加
1,500 ppm 以上	・TP、Alb 及び Chol 減少	・TP、Alb 及び Chol 減少
300 ppm	毒性所見なし	毒性所見なし

/：該当なし。

注）病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。

[a]：統計学的有意差はないが投与の影響と判断した。

（4）90 日間亜急性神経毒性試験（ラット）

Wistar ラット（一群雌雄各 10 匹）を用いた混餌（原体：0、200、1,000 及び 5,000 ppm：平均検体摂取量は表 24 参照）投与による 90 日間亜急性神経毒性試験が実施された。

表 24　90 日間亜急性神経毒性試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群		200 ppm	1,000 ppm	5,000 ppm
平均検体摂取量（mg/kg 体重/日）	雄	11.5	57.7	302
	雌	13.4	67.2	338

各投与群で認められた毒性所見は表 25 に示されている。

FOB においては、5,000 ppm 投与群の雌で前肢握力の増加が投与 1 日目に観察されたが、減少ではなく増加であること、ラットの 90 日間亜急性毒性試験[10. (1)]で同様の変化は認められなかったことから、検体投与による影響と考えられなかった。血液生化学的検査において 200 ppm 以上投与群の雌の T.Bil

が減少したが、投与群の値は全て試験実施機関の背景データの範囲内であった。この減少は、対照群の値が上限を超えていたことが原因であり、毒性ではないと考えられた。病理組織学的検査において 5,000 ppm 投与群雄で近位坐骨神経軸索変性が 2 例に認められ、同所見は、雌では対照群の 1 例でも認められた。その他の神経において同様の所見は認められなかったことから、5,000 ppm 投与群で観察された同所見は検体投与の影響とは考えられなかった。

本試験において、1,000 ppm 以上投与群の雄で小葉中心性肝細胞肥大等、200 ppm 以上投与群の雌で甲状腺絶対及び比重量増加が認められたので、一般毒性に対する無毒性量は雄で 200 ppm（11.5 mg/kg 体重/日）、雌で 200 ppm 未満（13.4 mg/kg 体重/日未満）であると考えられた。亜急性神経毒性は認められなかった。（参照 1、36、61、62）

（甲状腺ホルモンへの影響に関するメカニズム試験は［14. (1)～(3)］を参照）

表 25　90 日間亜急性神経毒性試験（ラット）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
5,000 ppm	・下顎切歯の白変 [a] ・Glu 減少 ・TP、Alb、GGT 及び Chol 増加 ・甲状腺絶対及び比重量増加	・下顎切歯の白変 [a] ・体重増加抑制（投与 35 日以降） ・TP、Alb 及び TG 増加
1,000 ppm 以上	・無機リン及び Glob 増加 ・肝絶対及び比重量増加 ・小葉中心性肝細胞肥大	・Ure、Cre、Glob 及び Chol 増加 ・肝絶対及び比重量増加 ・小葉中心性肝細胞肥大
200 ppm 以上	200 ppm 毒性所見なし	・甲状腺絶対及び比重量増加

注）病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。

[a]：病理組織学的検査を実施していないが、2 世代繁殖試験［12. (1)］での結果よりエナメル芽細胞及びエナメル層外層中の鉄含有色素の減少であると考えられた。

（５）代謝物 F001 の 90 日間亜急性毒性試験（ラット）

ラットを用いた、代謝物 F001 の混餌（雄：0、94.6、286 及び 954 mg/kg 体重/日、雌：0、98.8、295 及び 983 mg/kg 体重/日）投与による 90 日間亜急性毒性試験が実施された（詳細不明）。

本試験において、いずれの投与群においても検体投与による影響は認められなかったので、無毒性量は本試験の最高用量である雄：954 mg/kg 体重/日、雌：983 mg/kg 体重/日であると考えられた。（参照 61）

（６）代謝物 F002 の 90 日間亜急性毒性試験（ラット）

ラットを用いた、代謝物 F002 の混餌（雄：0、95.1、285 及び 958 mg/kg 体重/日、雌：0、98.0、300 及び 929 mg/kg 体重/日）投与による 90 日間亜急性毒性試験が実施された（詳細不明）。

本試験において、いずれの投与群においても検体投与による影響は認められなかったので、無毒性量は本試験の最高用量である雄：958 mg/kg 体重/日、雌：929 mg/kg 体重/日であると考えられた。（参照 61）

１１．慢性毒性試験及び発がん性試験

（１）1 年間慢性毒性試験（イヌ）

ビーグル犬（一群雌雄各 5 匹）を用いた混餌（原体：0、300、1,500 及び 12,000/9,000 ppm[5]：平均検体摂取量は表 26 参照）による 1 年間慢性毒性試験が実施された。

表 26　1 年間慢性毒性試験（イヌ）の平均検体摂取量

投与群		300 ppm	1,500 ppm	9,000 ppm	12,000 ppm
平均検体摂取量（mg/kg 体重/日）	雄	8	39	/	335
	雌	9	43	257	/

/：該当なし。

各投与群で認められた毒性所見は表 27 に示されている。

本試験において、1,500 ppm 以上投与群の雌雄で肝細胞色素沈着（鉄陽性）等が認められたので、無毒性量は雌雄とも 300 ppm（雄：8 mg/kg 体重/日、雌：9 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 1、37、61、62）

表 27　1 年間慢性毒性試験（イヌ）で認められた毒性所見

投与群	雄	雌
12,000 ppm	・嘔吐[a]（投与日） ・体重増加抑制[a]（全投与期間）及び摂餌量減少[a]（投与 1 日以降） ・ALP、ALT、GGT 及び TG 増加 ・Cre 及び Chol 減少 ・肝絶対及び比重量増加 ・前立腺絶対及び比重量減少 ・脾臓絶対及び比重量減少 ・肝臓の多巣性線維化 ・赤脾髄萎縮 ・前立腺の萎縮	/
9,000 ppm	/	・嘔吐[a]（投与日） ・体重増加抑制（投与 7 日以降）及び摂餌量減少[a]（全投与期間） ・ALP 及び GGT 増加 ・カルシウム、Chol 及び T.Bil 減少 ・肝絶対及び比重量増加

[5] 最高用量群は、雄で 12,000 ppm、雌で 9,000 ppm。

		・赤脾髄萎縮
1,500 ppm 以上	・Ure、TP、Alb 及びカルシウム減少 ・肝細胞色素沈着（鉄陽性） ・胆嚢上皮褐色色素沈着 ・脾臓の結合組織色素沈着（鉄陽性）	・T.Bil、TP 及び Alb 減少 ・肝細胞色素沈着（鉄陽性）及び肝臓の多巣性線維化症 ・胆嚢上皮褐色色素沈着 ・脾臓の結合組織色素沈着（鉄陽性）
300 ppm	毒性所見なし	毒性所見なし

/：該当なし。

注）病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。

[a]：統計学的有意差はないが投与の影響と判断した。

（2）2 年間慢性毒性/発がん性併合試験（ラット）

Wistar ラット（発がん性試験群：一群雌雄各 50 匹、慢性毒性試験群：一群雌雄各 10 匹）を用いた、混餌（原体：0、50、250、1,500 及び 3,000 ppm：平均検体摂取量は表 28 参照）投与による 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験（ラット）が実施された。

表 28　2 年間慢性毒性/発がん性併合試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群		50 ppm	250 ppm	1,500 ppm	3,000 ppm
検体摂取量（mg/kg 体重/日）	雄	2.1	11	68	145
	雌	2.7	14	82	182

各投与群で認められた毒性所見は表 29、投与により増加した腫瘍性病変の発生頻度は表 30、肝臓及び甲状腺の腫瘍性病変の背景データは表 31 に示されている。

肝臓において、3,000 ppm 投与群の雄で肝細胞癌、3,000 ppm 投与群の雌で肝細胞腺腫、1,500 ppm 以上投与群の雄で肝細胞腺腫並びに肝細胞腺腫及び癌の合計が有意に増加し投与の影響であると考えられた。

250 ppm 投与群の雄、1,500 ppm 投与群の雌においても、肝細胞腺腫が増加したが、有意差が認められなかったことから、食品安全委員会農薬専門調査会は投与の影響とは考えられないと判断した。

甲状腺において、3,000 ppm 投与群の雄で腺腫及び癌の合計が増加した。

本試験において、250 ppm 以上投与群の雌雄で小葉中心性肝細胞肥大等が認められたので、無毒性量は雌雄とも 50 ppm（雄：2.1 mg/kg 体重/日、雌：2.7 mg/kg 体重/日）であると考えられた。（参照 1、39、61、62）

（甲状腺ホルモンへの影響に関するメカニズム試験は［14. (1)～(3)］を参照）

表 29　2 年間慢性毒性/発がん性併合試験（ラット）で認められた毒性所見
（非腫瘍性病変）

投与群	雄	雌
3,000 ppm	・体重増加抑制（投与 2 週以降） ・無機リン増加 ・変異肝細胞巣（好塩基性） ・前頭骨骨化過剰症	・TG 増加 ・肝臓のび漫性色素沈着 ・変異肝細胞巣（好酸性） ・前頭骨骨化過剰症及び頂頭骨骨化過剰症
1,500 ppm 以上	・PT 短縮 ・GGT、カルシウム[a]、TP 及び Glob 増加 ・腎絶対及び比重量増加 ・甲状腺のろ胞細胞過形成及び変性コロイド ・肝臓のび漫性色素沈着及び海綿状変性	・PT 短縮 ・T.Bil 減少 ・カルシウム、TP 及び Chol 増加 ・肝絶対及び比重量増加 ・甲状腺のろ胞細胞過形成及び変性コロイド ・肝臓のび漫性色素沈着
250 ppm 以上	・Glu 及び T.Bil[a] 減少 ・Chol 増加 ・肝絶対及び比重量増加 ・切歯の白変[b] ・小葉中心性肝細胞肥大 ・大腿骨色素沈着（鉄陽性）	・体重増加抑制（投与 21 週以降） ・Glob 増加 ・小葉中心性肝細胞肥大 ・切歯の白変[b] ・大腿骨色素沈着（鉄陽性）
50 ppm	毒性所見なし	毒性所見なし

注）肉眼的病理検査は統計検定が実施されていない。
[a]：統計学的有意差はないが投与の影響と判断した。
[b]：250 ppm 投与群では雄で 50 例中 2 例、雌で 50 例中 1 例（病理組織学的検査は実施されていない）。

表 30　肝臓及び甲状腺での腫瘍性病変発生頻度

性別		雄					雌				
投与量（ppm）		0	50	250	1,500	3,000	0	50	250	1,500	3,000
肝臓	検査動物数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
	肝細胞腺腫	0 (0)	0 (0)	4 (8.0)	7** (14.0⇑)	15** (30.0⇑)	0 (0)	2 (4.0)	0 (0)	4 (8.0)	7** (14.0⇑)
	肝細胞癌	1 (2.0)	0 (0)	1 (2.0)	3 (6.0)	9** (18.0⇑)	1 (2.0)	1 (2.0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	腺腫/癌発生動物数	1 (2.0)	0 (0)	5 (10.0)	10** (20.0⇑)	21**[1)] (42.0⇑)	1 (2.0)	3 (6.0)	0 (0)	4 (8.0)	7** (14.0↑)
甲状腺	検査動物数	50	50	50	50	50	50	49	50	48	50
	ろ胞細胞腺腫	3 (6.0)	2 (4.0)	4 (8.0)	8 (16.0)	9 (18.0)	0 (0)	3 (6.1)	1 (2.0)	3 (6.3)	2 (4.0)

	ろ胞細胞癌	0 (0)	0 (0)	1 (2.0)	1 (2.0)	3 (6.0)	2 (4.0)	0 (0)	1 (2.0)	0 (0)	1 (2.0)
	腺腫/癌発生動物数	3 (6.0)	2 (4.0)	5 (10.0)	9 (18.0)	11**2) (22.0↑)	2 (4.0)	3 (6.1)	2 (4.0)	3 (6.3)	3 (6.0)

注）上段は腫瘍発生数、下段は腫瘍発生率（%）を示す。
1) は 3 動物、2) は 1 動物が腺腫と癌の両方を有していた。
Dunnet 多重比較検定（両側）　*：p<0.05　**：p<0.01
Fisher 直接確率検定（片側）　↑↓：p≦0.05、⇑⇓：p≦0.01

表 31　肝臓及び甲状腺の腫瘍性病変背景データ

臓器	腫瘍	雄			雌		
		腫瘍発生動物数/供試動物数	腫瘍発生率%		腫瘍発生動物数/供試動物数	腫瘍発生率%	
			平均	範囲		平均	範囲
肝臓	肝細胞腺腫	8/400	2.0	0-4	3/400	0.8	0-6
	肝細胞癌	6/400	1.5	0-6	7/400	1.8	0-6
	腺腫/癌発生動物数	14/400	3.5	0-8	10/400	2.5	0-6
甲状腺	ろ胞細胞腺腫	52/400	13.0	4-28	－	－	－
	ろ胞細胞癌	9/400	2.3	0-4	－	－	－
	腺腫/癌発生動物数	60/400	15.0	4-30	－	－	－

注）試験当たり各 50 匹、8 試験の発生率
－：データなし

（3）18 か月間発がん性試験（マウス）

C57BL マウス（発がん性試験群：一群雌雄各 50 匹、9 か月後と殺群[6]：一群雌雄各 10 匹）を用いた、混餌（原体：0、150、750、3,000 及び 6,000 ppm：平均検体摂取量は表 32 参照）投与による 18 か月間発がん性試験が実施された。

表 32　18 か月間発がん性試験（マウス）の平均検体摂取量

投与群		150 ppm	750 ppm	3,000 ppm	6,000 ppm
検体摂取量（mg/kg 体重/日）	雄	21	107	468	996
	雌	33	158	652	1,310

各投与群で認められた毒性所見（非腫瘍性病変）は表 33 に示されている。

検体投与により発生頻度の増加した腫瘍性病変は認められなかった。

本試験において、750 ppm 以上投与群の雌雄で肝臓の大滴性脂肪化等が認められたので、無毒性量は雌雄とも 150 ppm（雄：21 mg/kg 体重/日、雌：33 mg/kg 体重/日）であると考えられた。発がん性は認められなかった。（参照 1、38、61、62）

6 血液検査及び病理検査用に 0 及び 6,000 ppm 投与群が設定された。

表 33　18 か月間発がん性試験（マウス）で認められた毒性所見（非腫瘍性病変）

投与群	雄	雌
6,000 ppm	・TG 及び Chol 減少 ・小葉中心性肝細胞肥大	・TG[a] 及び Chol 減少 ・肝絶対及び比重量増加
3,000 ppm 以上	・体重増加抑制（投与 14 日以降） ・切歯白変 [b]	・切歯白変 [b] ・門脈周囲性肝細胞肥大
750 ppm 以上	・肝絶対及び比重量増加 ・肝臓の脂肪化（大滴性）	・肝臓の脂肪化（大滴性）
150 ppm	毒性所見なし	毒性所見なし

[a]：統計学的有意差はないが投与の影響と判断した。
[b]：統計検定は実施されていないが投与の影響と判断した。

１２．生殖発生毒性試験

（１）2 世代繁殖試験（ラット）

Wistar ラット（一群雌雄各 25 匹）を用いた混餌（原体：0、10、50 及び 300 mg/kg 体重/日：平均検体摂取量は表 34 を参照）投与による 2 世代繁殖試験が実施された。

表 34　2 世代繁殖試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群（mg/kg 体重/日）			10	50	300
平均検体摂取量（mg/kg 体重/日）	P 世代	雄	9.5	47.6	285
		雌	9.8	48.8	293
	F_1 世代	雄	9.6	47.7	286
		雌	9.6	47.9	289

各投与群で認められた毒性所見は表 35 に示されている。

親動物の 300 mg/kg 体重/日投与群雌雄で認められた切歯の白変は病理組織学的検査の結果、エナメル芽細胞及びエナメル層外層中の鉄含有色素の減少であると考えられた。

親動物では P 世代の 50 mg/kg 体重/日以上投与群の雌で妊娠期間の短縮（対照群の 22.5 日に対し、50 及び 300 mg/kg 体重/日投与群では 22.1 日）が認められたが、背景データ（21.5～22.3 日）の範囲内であったこと及び分娩等の繁殖指標に変化が認められなかったことから毒性学的意義のある差とは考えられなかった。

本試験において、親動物では 10 mg/kg 体重/日以上投与群の雄で小葉中心性肝細胞肥大等、雌で肝絶対及び比重量増加が認められ、児動物では 50 mg/kg 体重/日以上投与群の雌雄で体重増加抑制が認められたので、無毒性量は親動物の P 雄：9.5 mg/kg 体重/日未満、P 雌：9.8 mg/kg 体重/日未満、F_1 雄：9.6 mg/kg 体重/日未満、F_1 雌：9.6 mg/kg 体重/日未満、児動物の P 雄：9.5 mg/kg 体重/日、P 雌：9.8 mg/kg 体重/日、F_1 雄：9.6 mg/kg 体重/日、F_1 雌：9.6 mg/kg 体重/日

であると考えられた。繁殖能に対する影響は認められなかった。（参照 1、40、61、62）

（甲状腺ホルモンへの影響に関するメカニズム試験は［14.(1)～(3)］を参照）

表 35　2 世代繁殖試験（ラット）で認められた毒性所見

投与群		親：P、児：F_1		親：F_1、児：F_2	
		雄	雌	雄	雌
親動物	300 mg/kg 体重/日	・体重増加抑制（生育期、3 週以降） ・切歯の白変 [a] ・副腎絶対及び比重量増加 ・甲状腺比重量増加 ・肝細胞壊死 ・副腎皮質肥大	・切歯の白変 [a] ・甲状腺比重量増加 ・副腎皮質肥大	・体重増加抑制 ・切歯の白変 [a] ・副腎皮質肥大	・体重増加抑制 ・切歯の白変 [a] ・甲状腺比重量増加 ・副腎皮質肥大
	50 mg/kg 体重/日以上	・肝絶対及び比重量増加 ・甲状腺のび漫性ろ胞細胞肥大/過形成、コロイド分泌の枯渇 ・肝細胞細胞質空胞化	・体重増加抑制（生育期、4 週以降） ・肝絶対及び比重量増加 ・甲状腺のび漫性ろ胞細胞肥大/過形成、コロイド分泌の枯渇 ・小葉中心性肝細胞肥大	・甲状腺絶対及び比重量増加 ・甲状腺のび漫性ろ胞細胞肥大/過形成、コロイド分泌の枯渇	・甲状腺のび漫性ろ胞細胞肥大/過形成、コロイド分泌の枯渇 ・小葉中心性肝細胞肥大
	10 mg/kg 体重/日	・肝比重量増加 ・小葉中心性肝細胞肥大	毒性所見なし	・肝絶対及び比重量増加 ・小葉中心性肝細胞肥大	・肝絶対及び比重量増加
児動物	300 mg/kg 体重/日	・包皮分離日遅延 ・胸腺絶対及び比重量減少 ・脾絶対及び比重量減少	・脾絶対及び比重量減少	・体重増加抑制 ・脾絶対及び比重量減少	・体重増加抑制
	50 mg/kg 体重/日以上	・体重増加抑制	・体重増加抑制	50 mg/kg 体重/日以下 毒性所見なし	50 mg/kg 体重/日以下 毒性所見なし
	10 mg/kg 体重/日	毒性所見なし	毒性所見なし		

[a]：統計検定は実施されていないが投与の影響と判断した。

（２）発生毒性試験（ラット）

Wistar ラット（一群雌 25 匹）の妊娠 6～19 日に強制経口（原体：0、25、200 及び 1,000 mg/kg 体重/日、溶媒：0.5%CMC）投与して発生毒性試験が実施された。

各投与群で認められた毒性所見は表 36 に示されている。

本試験において、母動物では 200 mg/kg 体重/日以上投与群で甲状腺絶対及び比重量増加等がみられた。胎児では生存性及び発育に影響はみられず、また形態異常及び変異の増加も認められなかったので、無毒性量は母動物で 25 mg/kg 体重/日、胎児で本試験の最高用量である 1,000 mg/kg 体重/日であると考えられた。催奇形性は認められなかった。（参照 1、41、61、62）

（甲状腺ホルモンへの影響に関するメカニズム試験は［14. (1)～(3)］を参照）

表 36　発生毒性試験（ラット）で認められた毒性所見

投与群	母動物	胎児
1,000 mg/kg 体重/日	・肝絶対及び比重量増加 ・カルシウム及び TP 増加	1,000 mg/kg 体重/日以下 毒性所見なし
200 mg/kg 体重/日以上	・甲状腺絶対及び比重量増加 ・T.Bil 減少 ・Alb 増加	
25 mg/kg 体重/日	毒性所見なし	

（３）発生毒性試験（ウサギ）

Himalayan ウサギ（一群雌 25 匹）の妊娠 6～28 日に強制経口（原体：0、10、25 及び 60 mg/kg 体重/日、溶媒：0.5%CMC）投与して、発生毒性試験が実施された。

各投与群で認められた毒性所見は表 37 に示されている。

60 mg/kg 体重/日投与群で認められた子宮重量減少、早期胚吸収数及び着床後胚損失率増加は、着床数 1 の 2 例に損失があった結果、損失率 100%となったことによるものであり、着床後胚損失率については背景データの範囲内でもあったことからも、これらの毒性学的意義は低いと考えられた。

本試験において、母動物では 60 mg/kg 体重/日投与群で体重増加抑制等、胎児では 60 mg/kg 体重/日投与群で肢過屈曲増加が認められたので、無毒性量は母動物及び胎児とも 25 mg/kg 体重/日であると考えられた。催奇形性は認められなかった。（参照 1、42、61、62）

表 37　発生毒性試験（ウサギ）で認められた毒性所見

投与群	母動物	胎児
60 mg/kg 体重/日	・無糞/糞量減少 [a] ・体重増加抑制（妊娠 9 日以降）	・肢過屈曲増加
25 mg/kg 体重/日以下	毒性所見なし	毒性所見なし

[a]：統計検定が実施されていないが、影響と判断した。

（４）代謝物 F001 の発生毒性試験（ウサギ）

ウサギに代謝物 F001 を投与（0、40、100 及び 250 mg/kg 体重/日）して、発生毒性試験が実施された（詳細不明）。

検体投与による影響は認められなかったので、本試験の無毒性量は母動物及び胎児で最高用量である 250 mg/kg 体重/日であると考えられた。催奇形性は認められなかった。（参照 61）

（５）代謝物 F002 の発生毒性試験（ウサギ）

ウサギに代謝物 F002 を投与（0、100、300 及び 1,000 mg/kg 体重/日）して、発生毒性試験が実施された（詳細不明）。

母動物では 1,000 mg/kg 体重/日投与群で死亡率及び流産の増加が認められ、胎児では検体投与による影響は認められなかったので、本試験の無毒性量は母動物で 300 mg/kg 体重/日、胎児で最高用量である 1,000 mg/kg 体重/日であると考えられた。催奇形性は認められなかった。（参照 61）

（６）代謝物 F048 の発生毒性試験（ウサギ）

ウサギに代謝物 F048 を投与（0、10、30 及び 100 mg/kg 体重/日）して、発生毒性試験が実施された（詳細不明）。

母動物では 100 mg/kg 体重/日投与群で死亡率、流産及び吸収胚の増加、胎児では 100 mg/kg 体重/日投与群で流産及び後期吸収胚が認められたので、本試験の無毒性量は母動物及び胎児とも 30 mg/kg 体重/日であると考えられた。催奇形性は認められなかった。（参照 61）

１３．遺伝毒性試験

フルキサピロキサド（原体）の細菌を用いた復帰突然変異試験、チャイニーズハムスター卵巣由来細胞（CHO-K1）を用いた遺伝子突然変異試験、チャイニーズハムスター肺由来細胞（V79）を用いた染色体異常試験、ラットを用いた肝細胞 UDS 試験及びマウスを用いた小核試験が実施された。

結果は表 38 に示されている。

一部の *in vitro* 染色体異常試験において陽性であったが、*in vivo* での UDS 試験及び小核試験を含むその他試験では全て陰性であったことから、フルキサ

ピロキサドに生体において問題となる遺伝毒性はないものと考えられた。（参照 1、43～52、61、62）

表 38　遺伝毒性試験概要（原体）

試験		対象	処理濃度・投与量	結果
in vitro	復帰突然変異試験	*Salmonella typhimurium*（TA98、TA100、TA1535、TA1537 株）	①標準ﾌﾟﾚｰﾄ法：20～5,000 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9） ②ﾌﾟﾚｲﾝｷｭﾍﾞｰﾄ法：20～5,000 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9）	陰性
		Escherichia coli（WP2 *uvr*A 株）	①標準ﾌﾟﾚｰﾄ法：20～5,000 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9） ②ﾌﾟﾚｲﾝｷｭﾍﾞｰﾄ法：20～5,000 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9）	陰性
		S. typhimurium（TA98、TA100、TA1535、TA1537 株）	①標準ﾌﾟﾚｰﾄ法：21～5,300 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9） ②ﾌﾟﾚｲﾝｷｭﾍﾞｰﾄ法（TA100、TA1535 株）：21～5,300 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9） ③ﾌﾟﾚｲﾝｷｭﾍﾞｰﾄ法（TA1537 株）：11～2,650 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9） ④ﾌﾟﾚｲﾝｷｭﾍﾞｰﾄ法（TA98 株）：2～530 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9）	陰性
		E. coli（WP2 *uvr*A 株）	①標準プレート法：21～5,300 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9） ②プレインキューント法：21～5,300 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9）	陰性
	遺伝子突然変異試験（*Hprt* 遺伝子座）	チャイニーズハムスター卵巣由来細胞（CHO-K1 細胞）	①5.0～100 μg/mL（+/-S9；4 時間処理） ②6.3～100 μg/mL（-S9；24 時間処理、+S9；4 時間処理）	陰性
			①6.3～125 μg/mL（+/-S9；4 時間処理） ②6.3～125 μg/mL（-S9；24 時間処理） 40.0～160 μg/mL（+S9；4 時間処理） ③25.0～150 μg/mL（+S9；4 時間処理）	陰性
	染色体異常試験	チャイニーズハムスター肺由来細胞（V79）	①15.6～62.5 μg/mL（+/-S9；4 時間処理、14 時間培養標本作成） ②7.8～31.3 μg/mL（-S9；18 時間処理、直後に標本作成）	①陰性(-S9)、陽性(+S9) ②陰性 ③

			62.5 μg/mL （-S9；18 時間処理、10 時間後に標本作成） 7.8～31.5 μg/mL （+S9；4 時間処理、24 時間後に標本作成） ③60.0～80 μg/mL（+/-S9；4 時間処理、14 時間培養標本作成）	陽性(+/-S9)
			①12.5～50.0 μg/mL （+/-S9；4 時間処理、14 時間培養標本作成） ②12.5～50.0 μg/mL（-S9；18 時間処理、直後に標本作成） 50.0 μg/mL（-S9；18 時間処理、10 時間後に標本作成） 12.5～50.0 μg/mL（+S9；4 時間処理、24 時間後に標本作成）	陰性
in vivo	UDS 試験	Wistar ラット （肝細胞） （一群雄 3 匹）	1,000、2,000 mg/kg 体重 （単回経口投与）	陰性
		Wistar ラット （肝細胞） （一群雄 3 匹）	2.5、5.0 mg/kg 体重 （静脈内投与）	陰性
	小核試験	NMRI マウス （骨髄細胞） （一群雄 5 匹）	500、1,000、2,000 mg/kg 体重 （2 回経口投与）	陰性
		NMRI マウス （骨髄細胞） （一群雄 5 匹）	500、1,000、2,000 mg/kg 体重 （単回腹腔内投与）	陰性

注）+/-S9：代謝活性化系存在下及び非存在下

フルキサピロキサドの代謝物 F001 及び F002（動物、植物及び土壌由来）並びに F048（植物由来）の細菌を用いた復帰突然変異試験、チャイニーズハムスター卵巣由来細胞を用いた遺伝子突然変異試験、ヒトリンパ球細胞を用いた染色体異常試験、ラットを用いた肝細胞 UDS 試験並びにマウスを用いた小核試験が実施された。

結果は表 39 に示されている。

代謝物 F048 を用いた *in vitro* の染色体異常試験の代謝活性化系存在下で陽性であった。しかし、代謝物 F048 の細菌を用いた復帰突然変異試験、遺伝子突然変異試験、*in vivo* の小核試験及び UDS 試験では全て陰性であった。（参照 1、53、54、55、61）

表 39　遺伝毒性試験概要（代謝物 F001、F002 及び F048 ）

代謝物	試験		対象	処理濃度・投与量	結果
F001	*in vitro*	復帰突然変異試験	*S. typhimurium*（TA98、TA100、TA1535、TA1537 株）	①標準ﾌﾟﾚｰﾄ法：20～5,000 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9） ②ﾌﾟﾚｲﾝｷｭﾍﾞｰﾄ法：313～5,000 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9）	陰性
			S. typhimurium（TA1535 株）	ﾌﾟﾚｲﾝｷｭﾍﾞｰﾄ法：10～2,500 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9）	陰性
			E. coli（WP2 *uvr*A⁻株）	①標準ﾌﾟﾚｰﾄ法：20～5,000 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9） ②ﾌﾟﾚｲﾝｷｭﾍﾞｰﾄ法：313～5,000 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9）	陰性
		遺伝子突然変異試験	チャイニーズハムスター卵巣由来細胞	詳細不明	陰性
		染色体異常試験	ヒト末梢血リンパ球細胞	詳細不明	陰性
	in vivo	小核試験	マウス（詳細不明）	500、1,000、2,000 mg/kg 体重（投与経路不明）	陰性
F002	*in vitro*	復帰突然変異試験	*S. typhimurium*（TA98、TA100、TA1535、TA1537 株）	①標準ﾌﾟﾚｰﾄ法：20～5,000 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9） ②ﾌﾟﾚｲﾝｷｭﾍﾞｰﾄ法：313～5,000 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9）	陰性
			E. coli（WP2 *uvr*A⁻株）	①標準ﾌﾟﾚｰﾄ法：20～5,000 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9） ②ﾌﾟﾚｲﾝｷｭﾍﾞｰﾄ法：313～5,000 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9）	陰性
		遺伝子突然変異試験	チャイニーズハムスター卵巣由来細胞	詳細不明	陰性
		染色体異常試験	ヒト末梢血リンパ球細胞	詳細不明	陰性
	in vivo	小核試験	マウス（詳細不明）	375、750、1,500 mg/kg 体重（投与経路不明）	陰性
F048	*in vitro*	復帰突然変異試験	*S. typhimurium*（TA98、TA100、TA1535、TA1537 株）	①標準ﾌﾟﾚｰﾄ法：22～5,500 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9） ②ﾌﾟﾚｲﾝｷｭﾍﾞｰﾄ法：22～5,500 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9）	陰性
			E. coli（WP2 *uvr*A⁻株）	①標準ﾌﾟﾚｰﾄ法：22～5,500 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9） ②ﾌﾟﾚｲﾝｷｭﾍﾞｰﾄ法：22～5,500 μg/ﾌﾟﾚｰﾄ（+/-S9）	陰性
		遺伝子突然変異試験	チャイニーズハムスター卵巣由来細胞	詳細不明	陰性

		染色体異常試験	ヒト末梢血リンパ球細胞	詳細不明	陽性(+S9)
	in vivo	UDS 試験	ラット（肝細胞）（詳細不明）	1,000、2,000 mg/kg 体重（投与経路不明）	陰性
		小核試験	マウス（詳細不明）	500、1,000、2,000 mg/kg 体重（投与経路不明）	陰性

注）+/－S9：代謝活性化系存在下及び非存在下

１４．その他の試験

90 日間亜急性毒性試験（ラット）［10.(1)］、90 日間亜急性神経毒性試験（ラット）［10.(4)］等で、甲状腺の重量変化及び病理組織学的変化が認められたため、そのメカニズムを明らかにするための検討が実施された。

（１）肝酵素誘導試験（ラット）

甲状腺ホルモンの代謝及び恒常性を検討するため、Wistar ラット（投与群：一群雌雄各 10 匹、回復群[7]：一群雌雄各 10 匹）に 2 週間混餌（原体：0、250、1,500 及び 3,000 ppm：平均検体摂取量は表 40 参照）投与する肝酵素誘導試験が実施された。

表 40　肝酵素誘導試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群		250 ppm	1,500 ppm	3,000 ppm
平均検体摂取量（mg/kg 体重/日）	雄	16	96	192
	雌	19	126	234

各投与群で認められた変化は表 41 に示されている。

検体投与による影響として、250 ppm 以上投与群の雌雄で小葉中心性肝細胞肥大、甲状腺ろ胞細胞肥大及び過形成並びに肝ミクロソームの薬物代謝酵素（P450、EROD、PROD、BROD、MUF-GT 及び HOBI-GT）の誘導が認められ、1,500 ppm 以上投与群の雌雄で T_4-UDP-GT の誘導が認められた。また、雄では用量相関性のある TSH 増加が認められ、3,000 ppm 投与群では統計学的に有意であった。肝臓における T_4-UDP-GT の亢進によって T_4 の代謝が誘発されたことが関与して（血中 T_3 及び T_4 値の低下は観察されなかったが）、TSH の増加、さらに標的細胞である甲状腺ろ胞細胞の過形成が誘発されたと考えられた。これらの影響は、4 週間の休薬後にはほとんど認められなかったことから、回復性のある変化であることが示唆された。（参照 1、56、61、62）

[7] 対照群及び 3,000 ppm 投与群で構成され、2 週間の混餌投与後、4 週間の休薬期間が設定された。

表 41　肝酵素誘導試験（ラット）で認められた変化

群		雄	雌
投与群	3,000 ppm	・甲状腺の変性コロイド ・TSH 増加	
	1,500 ppm 以上	・甲状腺絶対及び比重量増加 [a] ・T_4-UDP-GT 増加	・肝絶対重量増加 ・甲状腺ろ胞細胞肥大及び過形成 ・T_4-UDP-GT 増加
	250 ppm 以上	・肝絶対及び比重量増加 ・小葉中心性肝細胞肥大 ・甲状腺ろ胞細胞肥大及び過形成 ・P450、EROD、PROD、BROD、MUF-GT 及び HOBI-GT 増加	・肝比重量増加 ・小葉中心性肝細胞肥大 ・P450、EROD、PROD、BROD、MUF-GT 及び HOBI-GT 増加
回復群	3,000 ppm	・肝絶対及び比重量増加 ・MUF-GT 増加	・甲状腺絶対及び比重量増加 ・EROD 及び BROD 増加
	対照群	変化なし	変化なし

注）病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。
[a]：3,000 ppm 投与群では比重量のみ統計学的有意差あり

（２）甲状腺機能試験（ラット）

本剤の甲状腺に対する作用が直接的、又は間接的のいずれかを検討するため、Wistar ラット（一群雌雄各 6 匹）に 2 週間混餌（原体：0 及び 3,000 ppm：平均検体摂取量は表 42 参照）投与して、パークロレート放出試験が実施された。なお、陽性対照として甲状腺機能に直接作用する PTU 及び間接的に作用する PB が 2 週間混餌（PTU；2,000 ppm、PB；1,000 ppm、平均検体摂取量は表 42 参照）投与された。

表 42　甲状腺機能試験（ラット）の平均検体摂取量

投与群		フルキサピロキサド	PTU	PB
		3,000 ppm	2,000 ppm	1,000 ppm
平均検体摂取量（mg/kg 体重/日）	雄	283	231	89
	雌	247	192	97

結果は表 43 に示されている。

本試験において、フルキサピロキサド投与群は陽性対照である PB 投与群と類似した所見が認められたことから、甲状腺への直接的な影響ではないと考えられた。（参照 1、57、61、62）

表 43　甲状腺機能試験概要

性別 / 投与群	雄	雌
フルキサピロキサド	・甲状腺へのヨード取込上昇	
PTU	・体重増加抑制 ・甲状腺絶対重量増加 ・甲状腺へのヨード取込低下 ・甲状腺でのヨード有機化低下	・体重増加抑制 ・甲状腺絶対重量増加 ・甲状腺へのヨード取込低下
PB	・甲状腺絶対重量増加 ・甲状腺へのヨード取込上昇	・甲状腺中の放射能濃度増加

（３）肝細胞増殖反応試験（ラット）

①肝細胞増殖反応試験（ラット）-1

肝細胞の増殖反応を検討するため、Wistar ラット（一群雌雄各 10 匹）に 1、4[8]又は 13 週間混餌（原体：0、250、1,500 及び 3,000 ppm：平均検体摂取量は表 44 参照）投与して、BrdU の取り込みが検討された。また、3,000 ppm 投与群の雌雄については、4 週投与後に 4 週間の休薬期間を設定し、肝細胞の増殖活性を検索した。

表 44　肝細胞増殖反応試験（ラット）-1 の平均検体摂取量

性別	雄			雌		
投与群	250 ppm	1,500 ppm	3,000 ppm	250 ppm	1,500 ppm	3,000 ppm
投与期間	平均検体摂取量（mg/kg 体重/日）					
13 週	13	80	163	17	106	190
4 週	12	79	122	15	87	173
1 週	12	61	104	15	79	137

投与 1 週後から 13 週後に 1,500 ppm 以上投与群の雌雄で肝細胞の増殖亢進が認められた。また、4 週投与後に 4 週間の休薬期間を設定した場合には増殖の亢進が認められなかったことから、肝細胞への増殖亢進作用は可逆的であると推察された。（参照 1、58、61、62）

②肝細胞増殖反応試験（ラット）-2

肝細胞の増殖反応を検討するため、Wistar ラット（一群雌雄各 10 匹）に最長 13 週間混餌（原体：0 及び 50 ppm：平均検体摂取量は表 45 参照）投与して、BrdU の取り込みが検討された。

8　4 週間の投与終了後、4 週間の休薬期間が設定された。

表 45　肝細胞増殖反応試験（ラット）-2 の平均検体摂取量

50 ppm 投与	投与期間 / 性別	1 週	4 週	13 週
平均検体摂取量（mg/kg 体重/日）	雄	2.5	2.5	3.0
	雌	2.9	3.1	3.5

肝細胞の増殖亢進はいずれにおいても認められなかったことから、50 ppm 投与により、肝細胞の増殖亢進は生じないことが示された。（参照 1、59、61、62）

③肝細胞増殖反応試験（ラット）-3

肝細胞の増殖反応を検討するため、Wistar ラット（一群雌雄各 10 匹）に最長 2 週間混餌（原体：0、50、250、1,500 及び 3,000 ppm：平均検体摂取量は表 46 参照）投与して、BrdU の取り込みが検討された。

表 46　肝細胞増殖反応試験（ラット）-3 の平均検体摂取量

性別	雄				雌			
投与群	50 ppm	250 ppm	1,500 ppm	3,000 ppm	50 ppm	250 ppm	1,500 ppm	3,000 ppm
投与期間	平均検体摂取量（mg/kg 体重/日）							
14 日	4.0	17	106	201	3.5	20	104	214
7 日	3.3	16	100	183	3.5	17	92	195
3 日	3.0	16	93	176	3.2	15	82	186
1 日	3.0	15	86	150	3.6	17	91	146

結果は表 47 に示されている。

肝細胞の増殖活性亢進は、3 及び 7 日間投与群では雌雄とも全野で認められたが、14 日投与群では雄では中心静脈域のみであり、雌では門脈域及び中心静脈域で認められた。

本試験において、フルキサピロキサドは肝細胞の細胞増殖亢進作用を有すると考えられた。（参照 1、60、61、62）

表 47　肝細胞増殖反応試験（ラット）

性別 / 投与群	雄	雌
3,000 ppm		・小葉中心性肝細胞肥大（3、7 及び 14 日投与）
1,500 ppm 以上	・肝絶対及び比重量増加（3、7 及び 14 日投与） ・小葉中心性肝細胞肥大（7 及び 14 日投与） ・肝細胞増殖活性亢進 3、7 及び 14	・肝絶対及び比重量増加（3、7 及び 14 日投与） ・小葉中心性肝細胞肥大（14 日投与）

	日投与）	
250 ppm 以上	・肝絶対及び比重量増加（14 日投与）	・肝細胞増殖活性亢進（3、7 及び 14 日投与）
50 ppm	・甲状腺絶対及び比重量増加（3、7 及び 14 日投与）	・肝細胞増殖活性亢進（7 日投与）

注）病理組織学的所見は統計検定が実施されていない。

ラットを用いた種々の試験［14.(1)～(3)］結果より、本剤の投与により肝ミクロソームの薬物代謝酵素が誘導され、T_4-UDP-GT 亢進による甲状腺ホルモンの代謝が活性化することが関与して TSH が増加し、標的細胞である甲状腺ろ胞細胞の過形成及び甲状腺腫瘍が誘発されると考えられた。また、本剤は、肝細胞に対し分裂亢進作用を有すると考えられた。

Ⅲ．食品健康影響評価

参照に挙げた資料を用いて、農薬「フルキサピロキサド」の食品健康影響評価を実施した。なお、今回、作物残留試験（いちご、ブルーベリー等）の成績等が新たに提出された。

^{14}C で標識されたフルキサピロキサドのラットを用いた動物体内運命試験において、胆汁中排泄率から推定された消化管からの吸収率は、少なくとも 72%であった。放射能の排泄は速やかであり、単回投与後 72 時間の尿及び糞中排泄率は、87.3～108%TAR であり、主に糞中へ排泄された。

^{14}C で標識したフルキサピロキサドの畜産動物（ヤギ及びニワトリ）を用いた動物体内運命試験の結果、筋肉、組織等で 10%TRR を超えて検出された代謝物は、F004、F005、F008、F010、F016 、F024 及び F040 であり、F040 は、ラットで認められない代謝物であった。

^{14}C で標識されたフルキサピロキサドを用いた植物体内運命試験の結果、小麦（茎葉）で代謝物 F008 が 10.6%TRR、だいず（子実）で F002 が 33.4%TRR 及び F048 が 19.9%TRR 検出された。

海外における作物残留試験の結果、フルキサピロキサド、代謝物 F002、F008 及び F048 の最大残留値は、それぞれ非結球レタス（葉）における 9.53 mg/kg、だいず（未成熟子実）及びピーマン（果実）における 0.02 mg/kg、ラディッシュ（葉）における 0.9 mg/kg 及びマスタードグリーン（葉）における 1.5 mg/kg であった。

フルキサピロキサド、代謝物 F008 及び F002 を分析対象化合物とした海外における畜産物残留試験では、飼料中濃度相当量を投与した場合それぞれの最大残留値は、フルキサピロキサドがウシの脂肪で 0.0193 μg/g、代謝物 F008 がウシの肝臓で 0.0379 μg/g であった。代謝物 F002 はいずれにおいても定量限界未満であった。

各種毒性試験結果から、フルキサピロキサド投与による影響は主に肝臓（小葉中心性肝細胞肥大、脂肪化：マウス、肝細胞色素沈着）、甲状腺（ろ胞細胞肥大/過形成：ラット）、骨（骨化過剰：ラット及びマウス）及び歯（白変：ラット及びマウス）に認められた。繁殖能に対する影響、催奇形性及び生体において問題となる遺伝毒性は認められなかった。

ラットを用いた 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験では、肝臓において、雌雄で肝臓腫瘍が増加し、甲状腺において、雄で腺腫及び癌の合計が増加したが、メカニズム試験及び遺伝毒性試験の結果から、腫瘍発生機序は遺伝毒性メカニズムによるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

各種試験結果から、暴露評価対象物質は、農産物及び畜産物中でフルキサピロキサド（親化合物のみ）と設定した。

各試験における無毒性量等は表 48 に、単回経口投与等により惹起されると考え

られる毒性影響等は表 49 にそれぞれ示されている。

ラットを用いた 90 日間亜急性毒性試験の雄、90 日間亜急性神経毒性試験の雌及び 2 世代繁殖試験の親動物の雌雄では無毒性量が設定できなかったが、これらに比し、より低用量かつ長期間行われたラットを用いた 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験では無毒性量 2.1 mg/kg 体重/日が得られており、2.1 mg/kg 体重/日がラットの無毒性量として妥当と考えられた。

食品安全委員会農薬専門調査会は、各試験で得られた無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験の 2.1 mg/kg 体重/日であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 0.021 mg/kg 体重/日を一日摂取許容量（ADI）と設定した。

また、フルキサピロキサドの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、ラットを用いた急性神経毒性試験の 125 mg/kg 体重であったことから、これを根拠として、安全係数 100 で除した 1.2 mg/kg 体重を急性参照用量（ARfD）と設定した。

ADI	0.021 mg/kg 体重/日
（ADI 設定根拠資料）	2 年間慢性毒性/発がん性併合試験
（動物種）	ラット
（期間）	2 年間
（投与方法）	混餌
（無毒性量）	2.1 mg/kg 体重/日
（安全係数）	100
ARfD	1.2 mg/kg 体重
（ARfD 設定根拠資料）	急性神経毒性試験
（動物種）	ラット
（期間）	単回
（投与方法）	強制経口
（無毒性量）	125 mg/kg 体重
（安全係数）	100

表 48　各試験における無毒性量及び最小毒性量

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日)	最小毒性量 (mg/kg 体重/日)	備考 1)
ラット	90 日間 亜急性 毒性試験	0、100、500、2,000、6,000 ppm 雄：0、6.1、31.2、126、407 雌：0、7.3、35.1、144、424	雄：— 雌：7.3	雄：6.1 雌：35.1	雄：T_3 増加 雌：甲状腺ろ胞細胞肥大/過形成等
	90 日間 亜急性 神経毒性 試験	0、200、1,000、5,000 ppm 雄：0、11.5、57.7、302 雌：0、13.4、67.2、338	雄：11.5 雌：—	雄：57.7 雌：13.4	雄：小葉中心性肝細胞肥大等 雌：甲状腺絶対及び比重量増加 （亜急性神経毒性は認められない）
	2 年間 慢性毒性/ 発がん性 併合試験	0、50、250、1,500、3,000 ppm 雄：0、2.1、11、68、145 雌：0、2.7、14、82、182	雄：2.1 雌：2.7	雄：11 雌：14	雌雄：小葉中心性肝細胞肥大等 （3,000 ppm 投与群の雄で肝細胞癌、3,000 ppm 投与群の雌で肝細胞腺腫、1,500 ppm 以上投与群の雄で肝細胞腺腫並びに肝細胞腺腫及び癌の合計が増加）
	2 世代 繁殖試験	P 雄：0、9.5、47.6、285 P 雌：0、9.8、48.8、293 F_1 雄：0、9.6、47.7、286 F_1 雌：0、9.6、47.9、289	親動物 P 雄：— P 雌：— F_1 雄：— F_1 雌：— 児動物 P 雄：9.5 P 雌：9.8 F_1 雄：9.6 F_1 雌：9.6	親動物 P 雄：9.5 P 雌：9.8 F_1 雄：9.6 F_1 雌：9.6 児動物 P 雄：47.6 P 雌：48.8 F_1 雄：47.7 F_1 雌：47.9	親動物 雄：小葉中心性肝細胞肥大等 雌：肝絶対及び比重量増加 児動物 雌雄：体重増加抑制 （繁殖能に対する影響は認められない）
	発生毒性 試験	0、25、200、1,000	母動物：25 胎児：1,000	母動物：200 胎児：—	母動物：甲状腺絶対及び比重量増加等 胎児：毒性所見なし （催奇形性は認められない）
マウス	90 日間 亜急性毒	0、100、400、2,000、6,000 ppm	雄：21 雌：128	雄：77 雌：610	雄：TG 及び Chol 減少 雌：肝絶対及び比重量増

動物種	試験	投与量 (mg/kg 体重/日)	無毒性量 (mg/kg 体重/日)	最小毒性量 (mg/kg 体重/日)	備考 [1)]
	性試験	雄：0、21、77、390、1,140 雌：0、32、128、610、1,660			加等
	18 か月間発がん性試験	0、150、750、3,000、6,000 ppm	雄：21 雌：33	雄：107 雌：158	雌雄：肝臓の大滴性脂肪化等 （発がん性は認められない）
		雄：0、21、107、468、996 雌：0、33、158、652、1,310			
ウサギ	発生毒性試験	0、10、25、60	母動物及び胎児：25	母動物及び胎児：60	母動物：体重増加抑制等 胎児：肢過屈曲増加 （催奇形性は認められない）
イヌ	90 日間亜急性毒性試験	雄：0、300、1,500、10,000 ppm 雌：0、300、1,500、7,500 ppm	雄：9 雌：10	雄：45 雌：51	雌雄：Chol 減少等
		雄：0、9、45、295 雌：0、10、51、238			
	1 年間慢性毒性試験	雄：0、300、1,500、12,000 ppm 雌：0、300、1,500、9,000 ppm	雄：8 雌：9	雄：39 雌：43	雌雄：肝細胞色素沈着（鉄陽性）等
		雄：0、8、39、335 雌：0、9、43、257			
ADI			NOAEL：2.1 mg/kg 体重/日 SF：100 ADI：0.021 mg/kg 体重/日		
ADI 設定根拠資料			ラット 2 年間慢性毒性/発がん性併合試験		

[1)]：備考に最小毒性量で認められた主な毒性所見を記した。
－：無毒性量又は最小毒性量は設定できなかった。

表 49　単回経口投与等により惹起されると考えられる毒性影響等

動物種	試験	投与量 （mg/kg 体重）	無毒性量及び急性参照用量設定に関連するエンドポイント[1)]（mg/kg 体重）
ラット	一般薬理試験 （Irwin 法）	0、200、600、2,000	雄：600 雄：軟便・下痢（投与 6 時間後）
	急性神経毒性試験	0、125、500、2,000	雌雄：125 雄：自発運動量低下（投与日）及び立ち上がり回数減少 雌：自発運動量低下（投与日）
ARfD			NOAEL：125 SF：100 ARfD：1.2
ARfD 設定根拠資料			ラット急性神経毒性試験

ARfD：急性参照用量　　SF：安全係数　　NOAEL：無毒性量

1)：最小毒性量で認められた主な毒性所見を記した。

＜別紙１：代謝物/分解物略称＞

略称	化 学 名
F001	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-1*H*-ピラゾール-4-カルボン酸
F002	3-(ジフルオロメチル)-1*H*-ピラゾール-4-カルボン酸
F004	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[(1-グルクロニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F005	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[5-ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F006	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)- 2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F007	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F008	3-(ジフルオロメチル)-*N*- [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F009 F036	3-(ジフルオロメチル)-*N*-[ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]- 1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F010	3-(ジフルオロメチル)-*N*-[ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]- 1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F011	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[ヒドロキシ-(1-グルクロニル)オキシ-3',[4'又は 5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F014	3-(ジフルオロメチル)-*N*-[(1-グルクロニル)オキシ-3',4', 5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F015	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[(1-グルクロニル)オキシ-3',[4'又は 5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]- 1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F016	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[メチルチオ-ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F020	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[ヒドロキシ-(1-グルクロニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F023	3-(ジフルオロメチル)-*N*-[(1-グルクロニル)オキシ-3',4', 5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F024 F040	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[ヒドロキシ-3',[4 又は 5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F025	3-(ジフルオロメチル)-*N*-[(ヒドロキシスルホニル)オキシ- 3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F026	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[(ヒドロキシスルホニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F027	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[(ヒドロキシスルホニル)オキシ-3',[4'又は 5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F028	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[メチルチオ-(1-グルクロニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F032 F046	3-(ヒドロキシカルボニル)-*N*- [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F033 F047	3-(ジフルオロメチル)-*N*- [3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ヒドロキシピラゾール-4-カルボキサミド

F034 F111	3-(ジフルオロメチル)-1-グルクロニル-*N*- [3',4',5'-トリフルオロ (1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F038	3-(ジフルオロメチル)-*N*-[ヒドロキシ-3',[4'又は 5']-ジフルオロ (1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F039	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[ジヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ (1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F042	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[ヒドロキシ-3',4',5'-トリフルオロ (1,1'-ビフェニル)- 2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F043	3-(ヒドロキシカルボニル)-1-メチル-*N*-[ヒドロキシ-3',4', 5'-トリフルオロ (1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F044	3-(ヒドロキシカルボニル)-1-メチル-*N*- [3',4',5'-トリフルオロ (1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F048	3-(ジフルオロメチル)-1-グルコシド-*N*-[3',4',5'-トリフルオロ (1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F057	3-(ジフルオロメチル)-1-メトキシグルコシド-*N*-[3',4',5'-トリフルオロ (1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F058 F130	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[(マロニルグルコシドオキシ)3',4',5'- トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]- 1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F059	3-(ジフルオロメチル)-1-メトキシマロニルグルコシド-*N*-[3',4',5'- トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F060	3-(ジフルオロメチル)-1-マロニルグルコシド-*N*-[3',4',5'-トリフルオロ (1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F061	3-(ジフルオロメチル)-5-(1-グルクロニル)オキシ-*N*-[3',4',5'- トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F063	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[(S-システイニル)-ヒドロキシ- 3',[4 又は 5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4- カルボキサミド
F074 F075	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[(O-グルコシド)-3', 4',5'-トリフルオロ (1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F082	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-(ベンゼン-2-カルボキシル)-1*H*-ピラゾール -4-カルボキサミド
F113	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[(*C*-グリシル)-(*S*-システイニル)- ヒドロキシ-3',[4'又は 5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*- ピラゾール-4-カルボキサミド
F114	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[(*S*-システイニル)-(1-グルクロニル)オキシ -3',[4'又は 5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4- カルボキサミド
F115	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[(*C*-グリシル)-(*S*-システイニル)-ヒドロキ シ-3',[4'又は 5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カル ボキサミド
F116	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N-[(*S*-システイニル)-ヒドロキシ-3',4',5'- トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]- 1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F117	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-N-[(*S*-システイニル)-ヒドロキシ- 3',[4'又は 5']-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)- 2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カル ボキサミド
F118	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[(*S*-システイニル)-ヒドロキシ-3',4',5'- トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]- 1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド

F120	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[(*S*-システイニル)-3', 4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F121	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[(*S*-システイニル)-ヒドロキシ-3',[4'又は 5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F122	3-(ジフルオロメチル)-*N*-[(*S*-システイニル)-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F123	3-(ジフルオロメチル)-*N*-[(1-グルクロニル)オキシ-3',4', 5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール- 4-カルボキサミド
F124	3-(ジフルオロメチル)-*N*-[2'- (1-グルクロニル)オキシ-3', 4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F125	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[2'-(1-グルクロニル)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]- 1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F131	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[2'-(1-フェルロイルグルコシド)オキシ-3',4',5'-トリフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F132	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[ベンゼン-2-(2-アルキルジカルボキシル)]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド
F133 F134	3-(ジフルオロメチル)-1-メチル-*N*-[3',[4 又は 5']-ジフルオロ(1,1'-ビフェニル)-2-イル]-1*H*-ピラゾール-4-カルボキサミド

＜別紙 2：検査値等略称＞

略称	名称
ai	有効成分量（active ingredient）
Alb	アルブミン
ALP	アルカリホスファターゼ
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ ［=グルタミン酸ピルビン酸トランスアミナーゼ（GPT）］
AUC	薬物濃度曲線下面積
BrdU	5-ブロモ-2'-デオキシウリジン
BROD	ベンジルオキシレゾルフィン *O*-デベンチラーゼ
Chol	コレステロール
Cre	クレアチニン
EROD	エトキシレゾルフィン *O*-デエチラーゼ
FOB	機能観察総合検査
GGT	γ-グルタミルトランスフェラーゼ ［=γ-グルタミルトランスペプチダーゼ（γ-GTP）］
Glob	グロブリン
Glu	グルコース（血糖）
C_{max}	最高濃度
CMC	カルボキシメチルセルロース
HOBI-GT	4-ヒドロキシビフェニルグルクロニルトランスフェラーゼ
LC_{50}	半数致死濃度
LD_{50}	半数致死量
MUF-GT	4-メチルウンベリフェロングルクロニルトランスフェラーゼ
P450	チトクローム P450
PB	フェノバルビタール（ナトリウム）
PHI	最終使用から収穫までの日数
PROD	ペントキシレゾルフィン *O*-デベンチラーゼ
PT	プロトロンビン時間
PTU	プロピルチオウラシル
$T_{1/2}$	消失半減期
T_3	トリヨードサイロニン
T_4	サイロキシン
T_4-UDP-GT	T_4-UDP-グルクロノシルトランスフェラーゼ
T.Bil	総ビリルビン
TG	トリグリセリド
TP	総蛋白質
T_{max}	最高濃度到達時間
TAR	総投与（処理）放射能

TRR	総残留放射能
TSH	甲状腺刺激ホルモン
UDS	不定期 DNA 合成
Ure	尿素

＜別紙 3：作物残留試験成績（海外）＞

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
					1 回当り	1 作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
とうもろこし	6.25% EC	Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	202	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					102	201	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		RM of Portage la Prairie, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	穀粒*	7	0.07	<LOD	<LOQ	<LOD	0.08
					101	200	穀粒*	7	0.09	<LOD	<LOQ	<LOD	0.10
		York, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
				8	100	198	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Stoddard, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	99	198	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					100	200	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Clarke, GA, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	98	197	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		MD of Taber, AB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	9	101	200	穀粒*	5	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							穀粒*	5	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	99	197	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Payette, ID, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Hood River, OR, 米国	-	-	-	-	穀粒*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	99	198	穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							穀粒*	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01

EC：乳剤

－：該当なし

*穀粒＋外皮を除いた穂軸

全て茎葉処理。

<LOD: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
とうもろこし	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	203	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					105	205	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Tift, GA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					102	203	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	202	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					102	201	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		RM of Portage la Prairie, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	穀粒	22	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					101	200	穀粒	22	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	203	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					101	202	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		York, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
				8	100	198	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	102	201	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
				7	101	202	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Ottawa, MI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	199	穀粒	20	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					100	200	穀粒	20	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	104	204	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
				6	102	202	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	203	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					102	201	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Steele, MN, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	104	202	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
				6	102	201	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01

EC：乳剤

－：該当なし

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
とうもろこし	6.25% EC	Stoddard, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	99	198	穀粒	22	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					100	200	穀粒	22	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Clinton, IL, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	99	198	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					98	195	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		RM of Grey, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	195	穀粒	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
					104	205	穀粒	21	<LOQ	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Wharton, TX, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	202	穀粒	20	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
				8	104	206	穀粒	20	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
<LOD: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			フルキサピロキサド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
小麦	6.25% EC	Tift, GA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	101	201	穀粒	22	0.06	<LOD	<LOQ	<LOD	0.07
				7	99	196	穀粒	22	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06
		Butler, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	100	199	穀粒	21	0.14	<LOD	0.03	<LOD	0.17
				7	100	199	穀粒	21	0.10	<LOD	0.02	<LOD	0.12
		Polk, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	102	202	穀粒	21	0.07	<LOD	0.01	<LOD	0.08
				7	100	199	穀粒	21	0.07	<LOD	0.01	<LOD	0.08
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	穀粒	20	0.02	<LOD	<LOQ	<LOD	0.03
					101	198	穀粒	20	0.03	<LOD	<LOQ	<LOD	0.04
		Kent, MI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	99	198	穀粒	21	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06
				7	100	198	穀粒	21	0.04	<LOD	0.01	<LOD	0.05
		Wharton, TX, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	102	202	穀粒	20	0.07	<LOD	<LOQ	<LOD	0.08
				8	101	201	穀粒	20	0.04	<LOD	<LOD	<LOD	0.04
		Hall, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	103	204	穀粒	21	0.07	<LOD	0.01	<LOD	0.08
					101	201	穀粒	21	0.08	<LOD	0.02	<LOD	0.10
		York, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	102	204	穀粒	7	0.40	<LOD	0.05	<LOQ	0.46
								14	0.28	<LOD	0.05	<LOQ	0.34
								21	0.11	<LOD	0.02	<LOD	0.13
								28	0.09	<LOD	0.02	<LOD	0.11
				7	101	201	穀粒	7	0.38	<LOD	0.05	<LOQ	0.44
								14	0.27	<LOD	0.05	<LOQ	0.33
								21	0.10	<LOD	0.02	<LOD	0.12
								28	0.09	<LOD	0.02	<LOD	0.11
		RM of Vanscoy, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	203	穀粒	20	0.04	<LOD	<LOQ	<LOD	0.05
					100	200	穀粒	20	0.07	<LOD	<LOQ	<LOD	0.08

EC：乳剤

－：該当なし

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
小麦	6.25% EC	Stutsman, ND, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	105	204	穀粒	20	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06
					102	203	穀粒	20	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06
		RM of Portage la Prairie, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	195	穀粒	21	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06
					100	197	穀粒	21	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06
		Taber, AB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	104	202	穀粒	27	0.08	<LOD	<LOQ	<LOD	0.09
					105	205	穀粒	27	0.08	<LOD	<LOQ	<LOD	0.09
		Caddo, OK, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	100	198	穀粒	25	0.02	<LOD	<LOD	<LOD	0.02
				8	97	195	穀粒	25	0.02	<LOD	<LOQ	<LOD	0.03
		Pawnee, KS, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	101	199	穀粒	21	0.12	<LOD	<LOQ	<LOD	0.13
				7	102	205	穀粒	21	0.14	<LOD	<LOQ	<LOD	0.15
		Barton, KS, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	201	穀粒	21	<LOQ	<LOD	<LOQ	<LOD	<0.01
					100	201	穀粒	21	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06
		Washita, OK, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	103	204	穀粒	21	0.11	<LOD	<LOQ	<LOD	0.12
				8	102	203	穀粒	21	0.07	<LOD	<LOQ	<LOD	0.08
		Payette, ID, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	穀粒	21	0.05	<LOD	<LOD	<LOD	0.05
					101	201	穀粒	21	0.04	<LOD	<LOD	<LOD	0.04
		RM of Laird, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	穀粒	20	0.17	<LOD	<LOQ	<LOD	0.18
				8	100	199	穀粒	20	0.15	<LOD	<LOQ	<LOD	0.16
		RM of Laird, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	穀粒	20	0.19	<LOD	<LOQ	<LOD	0.20
				8	99	199	穀粒	20	0.19	<LOD	<LOQ	<LOD	0.20
		RM of Whitewater, MB, ｶﾅﾀﾞ	-		-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	104	206	穀粒	21	0.05	<LOD	0.04	<LOD	0.09
					101	203	穀粒	21	0.05	<LOD	<LOQ	<LOD	0.06

EC：乳剤

－：該当なし

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
小麦	6.25% EC	RM of Rosthern, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	102	201	穀粒	21	0.10	<LOD	<LOQ	<LOD	0.11
				6	102	203	穀粒	21	0.12	<LOD	<LOQ	<LOD	0.13
		RM of Rosthern, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	102	202	穀粒	21	0.11	<LOD	<LOQ	<LOD	0.12
				6	103	202	穀粒	21	0.11	<LOD	<LOQ	<LOD	0.12
		RM of Dundurn, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	99	196	穀粒	21	0.12	<LOD	<LOQ	<LOD	0.13
					100	200	穀粒	21	0.12	<LOD	<LOQ	<LOD	0.13
		Stutsman, ND, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	200	穀粒	20	0.11	<LOD	0.02	<LOD	0.13
				8	102	202	穀粒	20	0.08	<LOD	0.01	<LOD	0.09
		Strathcona, AB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	100	199	穀粒	7	0.19	<LOD	<LOQ	<LOD	0.20
							穀粒	13	0.17	<LOD	<LOQ	<LOD	0.18
							穀粒	20	0.21	<LOD	<LOQ	<LOD	0.22
							穀粒	27	0.21	<LOD	<LOQ	<LOD	0.22
					99	197	穀粒	7	0.18	<LOD	<LOQ	<LOD	0.19
							穀粒	13	0.15	<LOD	<LOQ	<LOD	0.16
							穀粒	20	0.16	<LOD	<LOQ	<LOD	0.17
							穀粒	27	0.20	<LOD	<LOQ	<LOD	0.21

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

<LOQ: <0.01 ppm

<LOD: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
ソルガム	6.25% EC	Butler, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	穀粒	21	0.13	<LOD	<LOQ	<LOD	0.14
					101	201	穀粒	21	0.12	<LOD	0.01	<LOD	0.13
		Ottawa, MI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	199	穀粒	20	0.15	<LOD	<LOQ	<LOD	0.16
					100	199	穀粒	20	0.14	<LOD	<LOQ	<LOD	0.15
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	100	199	穀粒	21	0.13	<LOD	0.04	<LOQ	0.18
				7	100	200	穀粒	21	0.17	<LOD	0.05	<LOQ	0.23
		Caddo, OK, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	99	197	穀粒	23	0.18	<LOD	<LOQ	<LOD	0.19
				6	102	201	穀粒	23	0.19	<LOD	<LOQ	<LOD	0.20
		Wharton, TX, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	102	201	穀粒	20	0.19	<LOD	<LOQ	<LOD	0.20
				7	101	201	穀粒	20	0.43	<LOD	0.01	<LOQ	0.45
		Clarke, GA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	198	穀粒	21	0.41	<LOD	<LOQ	<LOD	0.42
					101	201	穀粒	21	0.38	<LOD	<LOQ	<LOD	0.39
		York, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	203	穀粒	22	0.21	<LOD	0.01	<LOQ	0.23
					100	199	穀粒	22	0.20	<LOD	0.01	<LOQ	0.22
		Pawnee, KS, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	穀粒	21	0.16	<LOD	<LOQ	<LOD	0.17
					100	199	穀粒	21	0.17	<LOD	<LOQ	<LOD	0.18
		Stafford, KS, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	200	穀粒	21	0.30	<LOD	0.08	<LOQ	0.39
					104	201	穀粒	21	0.17	<LOD	0.04	<LOQ	0.22

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

<LOQ: <0.01 ppm

<LOD: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			フルキサピロキサド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
稲	6.25% EC	Stoddard, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	200	穀粒	22	0.50	<LOD	0.02	<LOD	0.52
							穀粒	22	0.53	<LOD	0.02	<LOD	0.55
		Butler, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	101	201	穀粒	22	0.67	<LOD	0.02	<LOQ	0.70
							穀粒	22	0.75	<LOD	0.02	<LOQ	0.78
		Pima, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	199	穀粒	21	0.08	<LOD	<LOQ	<LOQ	0.09
							穀粒	21	0.08	<LOD	<LOQ	<LOQ	0.09
		Clay, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	101	200	穀粒	21	0.35	<LOD	<LOQ	<LOD	0.36
							穀粒	21	0.30	<LOD	<LOQ	<LOD	0.31
		Wharton, TX, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	197	穀粒	20	0.51	<LOD	<LOQ	<LOD	0.52
							穀粒	20	0.51	<LOD	<LOQ	<LOD	0.52
		Glenn, CA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	199	穀粒	21	1.58	<LOD	<LOQ	<LOD	1.59
							穀粒	21	1.96	<LOD	<LOQ	<LOD	1.97
		Wharton, TX, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	-*	-*	-*	-
			2	6	101	200	穀粒	21	1.21	<LOD	0.03	<LOQ	1.25
							穀粒	21	1.51	<LOD	0.03	<LOQ	1.55
							穀粒	22	1.25	<LOD	0.03	<LOQ	1.29
							穀粒	22	1.16	<LOD	0.03	<LOQ	1.20
							穀粒	24	1.43	<LOD	0.03	<LOQ	1.47
							穀粒	24	1.29	<LOD	0.03	<LOQ	1.33
							穀粒	28	1.29	<LOD	0.03	<LOQ	1.33
							穀粒	28	1.26	<LOD	0.03	<LOQ	1.30
							穀粒	30	1.33	<LOD	0.03	<LOQ	1.37
							穀粒	30	1.21	<LOD	0.03	<LOQ	1.25
		Glenn, CA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	204	穀粒	21	1.28	<LOD	<LOQ	<LOD	1.29
							穀粒	21	1.05	<LOD	<LOQ	<LOD	1.06

EC：乳剤

－：該当なし

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
稲	6.25% EC	Rapides Parish, LA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	穀粒	20	1.17	<LOD	0.01	<LOQ	1.19
							穀粒	20	1.18	<LOD	0.01	<LOQ	1.20
		Rapides Parish, LA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	穀粒	20	1.19	<LOD	0.02	<LOQ	1.22
							穀粒	20	1.35	<LOD	0.02	<LOQ	1.38
		Washington MS, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	201	穀粒	21	0.65	<LOD	<LOQ	<LOQ	0.66
							穀粒	21	0.63	<LOD	<LOQ	<LOD	0.64
		Washington MS, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	201	穀粒	26	0.36	<LOD	<LOQ	<LOD	0.37
							穀粒	26	0.40	<LOQ	<LOQ	<LOD	0.42

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

*:この分析は2連で行われなかった。

<LOQ: <0.01 ppm

<LOD: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
大麦	6.25% EC	Payette, ID, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	103	204	穀粒	21	0.49	<LOD	<LOQ	<LOD	0.50
							穀粒	21	0.55	<LOD	0.01	<LOD	0.56
		Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	200	穀粒	21	0.42	<LOD	0.02	<LOQ	0.45
							穀粒	21	0.35	<LOD	0.02	<LOQ	0.38
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	0.77	<LOD	<LOQ	<LOD	-
			2	8	102	202	穀粒	20	<LOQ	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							穀粒	20	-*	-*	-*	-*	-*
		RM of Dundurn, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	穀粒	21	0.53	<LOD	<LOQ	<LOD	0.54
							穀粒	21	0.54	<LOD	<LOQ	<LOD	0.55
		RM of Vanscoy, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	203	穀粒	20	0.36	<LOD	<LOQ	<LOD	0.37
							穀粒	20	0.42	<LOD	<LOQ	<LOD	0.43
		Hall, NE, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	202	穀粒	21	0.51	<LOD	0.02	<LOD	0.53
							穀粒	21	0.52	<LOD	0.02	<LOD	0.54
		MD of Lethbridge, AB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	穀粒	21	0.86	<LOD	<LOQ	<LOD	0.87
							穀粒	21	0.88	<LOD	<LOQ	<LOD	0.89
		MD of Taber, AB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	10	102	200	穀粒	21	1.09	<LOD	<LOQ	<LOD	1.10
							穀粒	21	0.94	<LOD	<LOQ	<LOD	0.95
		RM of Laird, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	103	203	穀粒	22	0.82	<LOD	0.02	<LOD	0.84
							穀粒	22	0.81	<LOD	0.02	<LOD	0.83
		RM of Rosthern, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	103	204	穀粒	21	0.54	<LOD	0.02	<LOD	0.56
							穀粒	21	0.45	<LOD	0.01	<LOD	0.46

EC：乳剤

－：該当なし

*:この分析は行われなかった。

<LOQ: <0.01 ppm

<LOD: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			フルキサピロキサド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
大麦	6.25% EC	RM of Coldwell, MB, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	198	穀粒	20	0.38	<LOD	0.03	<LOD	0.41
							穀粒	20	0.28	<LOD	0.02	<LOD	0.30
							穀粒	21	0.27	<LOD	0.02	<LOD	0.29
							穀粒	21	0.37	<LOD	0.02	<LOD	0.39
							穀粒	25	0.41	<LOD	0.03	<LOD	0.44
							穀粒	25	0.38	<LOD	0.03	<LOD	0.41
							穀粒	27	-**	-**	-**	-**	-**
							穀粒	27	0.41	<LOD	0.03	<LOD	0.44
							穀粒	31	0.37	<LOD	0.03	<LOD	0.40
							穀粒	31	0.37	<LOD	0.03	<LOD	0.40
		RM of Woodlands, MB, カナダ	-	-	-	-	穀粒	-	0.03	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	103	202	穀粒	20	1.65	<LOD	0.06	<LOD	1.72
							穀粒	20	0.78	<LOD	0.03	<LOD	0.81

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
**:容器破損のためサンプル分析を行わなかった。
<LOQ: <0.01 ppm
<LOD: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
エンドウ	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	199	子実*	7	0.49	ND	0.01	ND	0.51
							子実*	7	0.29	ND	0.01	ND	0.31
		Lehigh, PA, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	102	204	子実*	6	0.75	<0.01	<0.01	ND	0.77
							子実*	6	0.72	ND	<0.01	ND	0.73
		Portage la Prairie, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	102	201	子実*	7	0.63	ND	0.02	ND	0.66
							子実*	7	0.69	ND	0.02	ND	0.72
		Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	105	207	子実*	4	0.97	<0.01	<0.01	<0.01	0.99
							子実*	4	0.92	<0.01	<0.01	<0.01	0.94
		Stutsman, IL, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	子実*	0	1.04	ND	<0.01	ND	1.05
							子実*	0	0.75	ND	<0.01	ND	0.76
							子実*	4	0.71	ND	<0.01	ND	0.72
							子実*	4	0.68	ND	<0.01	ND	0.69
							子実*	7	0.78	ND	<0.01	<0.01	0.79
							子実*	7	0.67	ND	<0.01	<0.01	0.68
							子実*	13	0.13	ND	ND	ND	0.14
							子実*	13	0.11	ND	ND	ND	0.12
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	子実*	7	0.21	ND	0.01	<0.01	0.23
							子実*	7	0.25	ND	0.01	<0.01	0.27
		Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	203	子実*	7	0.66	ND	ND	ND	0.67
							子実*	7	0.63	ND	ND	ND	0.64
		Jerome, ID, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	100	200	子実*	7	0.26	ND	0.02	<0.01	0.29
							子実*	7	0.17	ND	0.02	<0.01	0.20

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

*:さやつき未成熟子実。

ND: <LOD, <0.003125 ppm

<LOD: <0.003125 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
エンドウ	6.25% EC	Grant, WA, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	子実*	0	0.91	ND	<0.01	ND	0.92
							子実*	0	1.04	ND	<0.01	ND	1.05
							子実*	4	0.27	ND	0.01	ND	0.29
							子実*	4	0.25	ND	<0.01	ND	0.26
							子実*	7	0.17	ND	<0.01	ND	0.18
							子実*	7	0.16	ND	<0.01	<0.01	0.17
							子実*	14	0.09	ND	<0.01	ND	0.10
							子実*	14	0.08	ND	<0.01	<0.01	0.09
		Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	199	子実**	7	0.04	ND	ND	ND	0.05
							子実**	7	0.04	ND	ND	ND	0.05
		Lehigh, PA, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	102	204	子実**	6	0.03	<0.01	ND	ND	0.04
							子実**	6	0.03	<0.01	ND	ND	0.04
		Portage la Prairie, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	102	201	子実**	7	0.04	ND	ND	ND	0.05
							子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04
		Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	105	207	子実**	4	0.04	ND	ND	ND	0.05
							子実**	4	0.05	ND	ND	ND	0.06
		Stutsman, IL, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	子実**	0	0.03	ND	ND	ND	0.04
							子実**	0	0.08	ND	ND	ND	0.09
							子実**	4	0.06	ND	ND	ND	0.07
							子実**	4	0.05	ND	ND	ND	0.06
							子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04
							子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04
							子実**	13	0.03	ND	ND	ND	0.04
							子実**	13	0.02	ND	ND	ND	0.03
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04
							子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04

EC：乳剤

－：該当なし

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布回数(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			フルキサピロキサド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
エンドウ	6.25% EC	Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	203	子実**	7	<0.01	ND	ND	ND	0.01
							子実**	7	<0.01	ND	ND	ND	0.01
		Jerome, ID, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	100	200	子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04
							子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	子実**	0	0.02	ND	ND	ND	0.03
							子実**	0	0.02	ND	ND	ND	0.03
							子実**	4	0.02	ND	ND	ND	0.03
							子実**	4	0.02	ND	ND	ND	0.03
							子実**	7	0.02	ND	ND	ND	0.03
							子実**	7	0.02	ND	ND	ND	0.03
							子実**	14	0.02	ND	ND	ND	0.03
							子実**	14	0.02	ND	ND	ND	0.03

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
*:さやつき未成熟子実。
**:さやなし未成熟子実。
ND: <LOD, <0.003125 ppm
<LOD: <0.003125 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
エンドウ	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	乾燥子実	21	0.12	ND	<0.01	ND	0.13
							乾燥子実	21	0.20	ND	<0.01	ND	0.21
		Lehigh, PA, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	103	203	乾燥子実	21	0.02	<0.01	ND	ND	0.03
							乾燥子実	21	0.02	<0.01	ND	ND	0.03
		Portage la Prairie, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	200	乾燥子実	21	0.12	<0.01	<0.01	ND	0.14
							乾燥子実	21	0.09	ND	<0.01	ND	0.10
		Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	105	207	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
		Stutsman, IL, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	100	195	乾燥子実	21	0.03	ND	ND	ND	0.04
							乾燥子実	21	0.04	ND	ND	ND	0.05
		RM 403, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	104	206	乾燥子実	22	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	22	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
		RM 404, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	203	乾燥子実	21	0.02	ND	ND	ND	0.03
							乾燥子実	21	0.02	ND	ND	ND	0.03
		Red Deer, AB, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	195	乾燥子実	21	0.15	<0.01	<0.01	ND	0.17
							乾燥子実	21	0.14	<0.01	<0.01	ND	0.16
		Red Deer, AB, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	200	乾燥子実	22	0.10	ND	ND	ND	0.11
							乾燥子実	22	0.08	ND	ND	ND	0.09

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

ND: <LOD, <0.003125 ppm

<LOD: <0.003125 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
インゲン	6.25% EC	RM of Whitewater MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	乾燥子実	22	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	22	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
					201	401	乾燥子実	22	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	22	0.02	ND	ND	ND	0.03
		Dane, WI, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
					205	403	乾燥子実	21	0.01	ND	ND	ND	0.02
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
		Brant, ON, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	99	195	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
					208	404	乾燥子実	21	0.02	ND	ND	ND	0.03
							乾燥子実	21	0.03	ND	ND	ND	0.04
		Clinton, IL, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	200	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
					202	401	乾燥子実	21	0.01	ND	ND	ND	0.02
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
		Caddo, OK, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	101	201	乾燥子実	21	0.07	ND	0.01	<0.01	0.09
							乾燥子実	21	0.14	ND	0.02	<0.01	0.17
					202	398	乾燥子実	21	0.21	ND	0.03	0.01	0.25
							乾燥子実	21	0.20	ND	0.03	0.01	0.24
		Stutsman, ND, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	9	100	199	乾燥子実	21	0.03	ND	ND	ND	0.04
							乾燥子実	21	0.06	ND	ND	ND	0.07
					210	413	乾燥子実	21	0.04	ND	ND	ND	0.05
							乾燥子実	21	0.06	ND	<0.01	ND	0.07

EC：乳剤
－：該当なし

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
インゲン	6.25% EC	LaMoure, ND, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<0.03	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	9	102	200	乾燥子実	21	ND	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	21	0.03	ND	ND	ND	0.04
					208	410	乾燥子実	21	0.05	ND	ND	ND	0.06
							乾燥子実	21	0.04	ND	ND	ND	0.05
		Pawnee, KS, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	乾燥子実	21	0.04	ND	ND	ND	0.05
							乾燥子実	21	0.05	ND	ND	ND	0.06
					202	405	乾燥子実	21	0.07	<0.01	ND	<0.01	0.09
							乾燥子実	21	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	0.09
		Cache, UT, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	201	乾燥子実	22	0.01	ND	<0.01	ND	0.02
							乾燥子実	22	0.01	ND	<0.01	<0.01	0.02
					205	406	乾燥子実	22	0.04	ND	0.02	0.01	0.07
							乾燥子実	22	0.03	ND	0.01	<0.01	0.05
		Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	乾燥子実	21	0.01	ND	ND	ND	0.02
							乾燥子実	21	0.01	ND	ND	ND	0.02
					201	401	乾燥子実	21	0.03	ND	<0.01	ND	0.04
							乾燥子実	21	0.03	ND	<0.01	ND	0.04
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	乾燥子実	21	0.02	ND	ND	ND	0.03
							乾燥子実	21	0.01	ND	ND	ND	0.02
					201	401	乾燥子実	21	0.04	ND	ND	ND	0.05
							乾燥子実	21	0.03	ND	ND	ND	0.04

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND: <LOD, <0.003125 ppm
<LOD: <0.003125 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			フルキサピロキサド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
だいず	6.25% EC	Tift, GA, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	101	201	子実*	7	0.30	ND	0.02	<0.01	0.33
							子実*	7	0.28	ND	0.01	ND	0.30
		Tift, GA, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	99	198	子実*	7	0.15	<0.01	0.01	<0.01	0.18
							子実*	7	0.24	<0.01	0.01	<0.01	0.27
		Butler, MO, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	100	199	子実*	6	0.85	<0.01	0.04	0.01	0.91
							子実*	6	0.52	<0.01	0.04	0.01	0.58
		Crittenden, AR, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	子実*	7	0.69	<0.01	0.02	<0.01	0.73
							子実*	7	0.68	<0.01	0.02	<0.01	0.72
		Clinton, IL, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOQ	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	子実*	7	0.24	<0.01	0.04	0.01	0.30
							子実*	7	0.33	<0.01	0.05	0.01	0.40
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	子実*	8	0.09	<0.01	0.01	<0.01	0.12
							子実*	8	0.13	<0.01	0.02	<0.01	0.17
		Madison, IL, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			2	6	100	197	子実*	8	0.11	<0.01	0.01	<0.01	0.14
							子実*	8	0.25	ND	0.02	<0.01	0.28
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	198	子実*	7	0.27	ND	0.01	<0.01	0.29
							子実*	7	0.26	ND	0.02	<0.01	0.29
		Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	103	204	子実*	7	0.10	<0.01	0.02	<0.01	0.14
							子実*	7	0.10	<0.01	0.02	<0.01	0.14
		Steele, MN, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	103	204	子実*	7	0.12	<0.01	0.02	<0.01	0.16
							子実*	7	0.07	ND	<0.01	ND	0.08
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	子実*	28	0.04	0.01	<0.01	<0.01	0.07
							子実*	28	0.04	0.01	<0.01	<0.01	0.07

EC：乳剤

－：該当なし

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
だいず	6.25% EC	Stoddard, MO, 米国	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	100	199	子実*	8	0.53	<0.01	0.06	0.03	0.63
							子実*	8	0.38	<0.01	0.03	0.02	0.44
		Grey, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	99	198	子実*	8	0.10	ND	0.01	<0.01	0.12
							子実*	8	0.11	ND	0.01	<0.01	0.13
		Grey, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	102	204	子実*	0	0.77	ND	<0.01	ND	0.78
							子実*	0	0.65	ND	<0.01	ND	0.66
							子実*	4	0.15	ND	<0.01	ND	0.16
							子実*	4	0.12	ND	<0.01	ND	0.13
							子実*	7	0.10	ND	<0.01	ND	0.11
							子実*	7	0.12	ND	0.01	<0.01	0.14
							子実*	13	0.07	ND	<0.01	<0.01	0.08
							子実*	13	0.05	ND	<0.01	<0.01	0.06
		Portage la Prairie, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	子実*	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	99	192	子実*	0	1.31	<0.01	0.05	<0.01	1.38
							子実*	0	1.40	<0.01	0.05	<0.01	1.47
							子実*	5	1.15	0.02	0.12	0.03	1.34
							子実*	5	1.11	0.02	0.12	0.02	1.30
							子実*	8	0.20	0.02	0.03	<0.01	0.28
							子実*	8	0.21	0.01	0.04	<0.01	0.28
							子実*	15	0.15	0.03	0.06	0.02	0.30
							子実*	15	0.19	0.03	0.06	0.02	0.34

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
*:さやつき未成熟子実。
ND: <LOD, <0.003125 ppm
<LOD: <0.003125 ppm
<LOQ: <0.01 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			フルキサピロキサド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
だいず	6.25% EC	Tift, GA, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	101	201	子実**	7	0.01	ND	ND	ND	0.02
							子実**	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
		Tift, GA, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	99	198	子実**	7	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.02
							子実**	7	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.02
		Butler, MO, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	100	199	子実**	6	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.06
							子実**	6	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	0.05
		Crittenden, AR, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	子実**	7	0.35	<0.01	ND	ND	0.36
							子実**	7	0.38	<0.01	<0.01	ND	0.40
		Clinton, IL, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	子実**	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.03
							子実**	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.03
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	子実**	8	0.09	<0.01	0.01	<0.01	0.12
							子実**	8	0.12	<0.01	0.02	<0.01	0.16
		Madison, IL, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	100	197	子実**	8	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.02
							子実**	8	<0.01	<0.01	ND	<0.01	<0.02
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	198	子実**	7	0.04	ND	ND	ND	0.05
							子実**	7	0.03	ND	ND	ND	0.04
		Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	103	204	子実**	7	<0.01	<0.01	ND	<0.01	<0.02
							子実**	7	0.01	<0.01	ND	ND	0.02
		Steele, MN, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	103	204	子実**	7	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.02
							子実**	7	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.02
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	子実**	28	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	0.05
							子実**	28	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.06

EC：乳剤

－：該当なし

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
だいず	6.25% EC	Stoddard, MO, 米国	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	100	199	子実**	8	0.02	<0.01	0.01	0.02	0.06
							子実**	8	0.02	<0.01	0.01	0.02	0.06
		Grey, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	子実**	-	<LOQ	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	99	198	子実**	8	<0.01	ND	ND	<0.01	<0.01
							子実**	8	<0.01	ND	ND	<0.01	<0.01
		Grey, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	6	102	204	子実**	0	0.05	ND	ND	ND	0.06
							子実**	0	0.03	ND	ND	ND	0.04
							子実**	4	0.01	ND	ND	ND	0.02
							子実**	4	0.01	ND	ND	ND	0.02
							子実**	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							子実**	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							子実**	13	ND	ND	ND	ND	<0.01
							子実**	13	ND	ND	ND	ND	<0.01
		Portage la Prairie, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	子実**	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	99	192	子実**	5	0.03	<0.01	ND	ND	0.04
							子実**	5	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.06
							子実**	8	0.03	<0.01	ND	<0.01	0.05
							子実**	8	0.03	0.01	<0.01	<0.01	0.06
							子実**	15	0.02	<0.01	ND	<0.01	0.04
							子実**	15	<0.01	<0.01	ND	<0.01	<0.02

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
**:さやなし未成熟子実。
ND: <LOD, <0.003125 ppm
<LOD: <0.003125 ppm
<LOQ: <0.01 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			フルキサピロキサド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
だいず	6.25% EC	Tift, GA, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
		Tift, GA, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	99	198	乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
		Butler, MO, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	201	乾燥子実	22	-*	-*	-*	-*	-*
							乾燥子実	22	ND	ND	ND	ND	<0.01
		Crittenden, AR, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	乾燥子実	21	0.07	<0.01	<0.01	<0.01	0.09
							乾燥子実	21	0.13	<0.01	<0.01	0.01	0.15
		Clinton, IL, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	99	197	乾燥子実	21	0.01	ND	ND	ND	0.02
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	乾燥子実	22	ND	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	22	ND	ND	ND	ND	<0.01
		Madison, IL, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	94	186	乾燥子実	20	0.04	ND	ND	ND	0.05
							乾燥子実	20	0.02	ND	ND	ND	0.03
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	101	196	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
		Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	101	201	乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
		Steele, MN, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	102	202	乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	乾燥子実	22	ND	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	22	<0.01	ND	ND	ND	<0.01

EC：乳剤

－：該当なし

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(mg/kg)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
だいず	6.25% EC	Stoddard, MO, 米国	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	100	200	乾燥子実	20	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	20	ND	ND	ND	ND	<0.01
		RM of Grey, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	99	196	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	21	ND	ND	ND	ND	<0.01
		RM of Grey, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	7	99	195	乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
							乾燥子実	21	<0.01	ND	ND	ND	<0.01
		RM of Portage la Prairie, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	乾燥子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			2	8	102	201	乾燥子実	21	0.04	ND	ND	ND	0.05
							乾燥子実	21	0.04	ND	ND	ND	0.05

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
-*:この分析は行われなかった。
ND: <LOD, <0.003125 ppm
<LOD: <0.003125 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	処理量 (g a.i./100 kg 種子)	部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
							ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）											
綿	30% SC	Turner, GA, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	156	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
				100	綿実	156	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Monroe, AR, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	162	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Woodruff, AR, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	161	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Washington, MS, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	155	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Wilbarger, TX, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	174	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Gray, TX, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	190	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
				100	綿実	190	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Armstrong, TX, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	193	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Carson, TX, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	193	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	<0.01	<0.0080
		Marshall, OK, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	186	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051

SC：フロアブル剤

－：該当なし

種子処理

綿実：繊維を取らない状態の綿実

ND: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	処理量 (g a.i./100 kg 種子)	部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
							ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）											
綿	30% SC	Yuma, AZ, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	174	ND	ND	ND	<0.01	<0.0080
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Fresno, CA, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	172	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Madera, CA, 米国	-	-	綿実	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	綿実	176	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051

SC：フロアブル剤
－：該当なし
種子処理
綿実：繊維を取らない状態の綿実
ND: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	処理量 (g a.i./100 kg 種子)	部位	PHI (日)	残留濃度(ppm)				
							ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）											
綿	30% SC	Turner, GA, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	***	156	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
				100	***	156	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Wilbarger, TX, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	0.002	-
			1	20	***	174	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Gray, TX, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	***	190	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
				100	***	190	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Armstrong, TX, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	***	193	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Carson, TX, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	***	193	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Yuma, AZ, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	***	174	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Fresno, CA, 米国	-	-	***	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			1	20	***	172	ND	ND	ND	ND	<0.0051
							ND	ND	ND	ND	<0.0051

SC：フロアブル剤

－：該当なし

種子処理

***: Gin byproducts

ND: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：Ag Research Associates, LLC（米国 ジョージア州）													
ラッカセイ	6.25% EC	Worth, GA, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			3	14 13	100	302	子実	7	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							子実	14	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							子実	21	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Colquit, GA, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			3	14	100	302	子実	0	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							子実	4	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<LOD	<LOD	<LOD	<0.01	<0.01
							子実	7	<0.01	<LOD	<0.01	<LOD	0.01
									<0.01	<LOD	<0.01	<LOD	0.01
							子実	14	<0.01	<LOD	<0.01	<0.01	0.02
									<0.01	<LOD	<0.01	<0.01	0.02
							子実	21	<0.01	<LOD	<0.01	<LOD	0.01
									<0.01	<LOD	<0.01	<LOD	0.01
		Turner, GA, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			3	14	100	302	子実	7	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
							子実	21	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Tift, GA, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			3	14 13	100	302	子実	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
							子実	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

<LOD: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI（日）	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：Ag Research Associates, LLC（米国 ジョージア州）													
ラッカセイ	6.25% EC	Jasper, SC, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			3	14	100	302	子実	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
							子実	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
		Hampton, SC, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			3	14	100	302	子実	7	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
							子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
							子実	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
		Dale, AL, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			3	13 14	100	302	子実	7	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
							子実	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
		Houston, AL, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			3	14	100	302	子実	7	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							子実	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

<LOD: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI（日）	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：Ag Research Associates, LLC（米国 ジョージア州）													
ラッカセイ	6.25% EC	Madison, FL, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			3	15 14	100	301	子実	3	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
							子実	10	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
							子実	17	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<LOD	<0.01	<LOD	<LOD	0.02
		Marshall, OK, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			3	13 14	102	307	子実	7	<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
							子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
							子実	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
		Wilbarger, TX, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			3	14	105	310	子実	7	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							子実	14	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
							子実	21	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD
									<0.01	<LOD	<LOD	<LOD	<0.01
		Collingsworth, TX, 米国	-	-	-	-	子実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			3	14	102	306	子実	7	<LOD	<LOD	0.07	<LOD	0.08
									<LOD	<LOD	0.09	<LOD	0.10
							子実	14	<LOD	<LOD	0.04	<LOD	0.05
									<LOD	<LOD	0.09	<LOD	0.10
							子実	21	<LOD	<LOD	0.05	<LOD	0.06
									<LOD	<LOD	0.04	<LOD	0.05

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

<LOD: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
トマト	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	6	100	201	果実	7	0.03	ND	ND	ND	<0.034
									0.04	ND	ND	ND	<0.044
								14	0.02	ND	ND	ND	<0.024
									0.03	ND	<0.01	<0.01	<0.041
								21	0.02	ND	ND	<0.01	<0.027
									0.02	ND	<0.01	<0.01	<0.031
			3	8 6	102	303	果実	7	0.03	ND	ND	ND	<0.034
									0.06	ND	ND	ND	<0.064
								14	0.03	ND	<0.01	ND	<0.038
									0.03	ND	ND	ND	<0.034
								21	0.01	ND	ND	ND	<0.014
									0.02	ND	ND	<0.01	<0.027
		Tift, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	6	101	201	果実	7	0.12	ND	ND	ND	<0.124
									0.10	ND	ND	ND	<0.104
								14	ND	ND	ND	ND	<0.005
									<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.026
								21	0.02	ND	ND	ND	<0.024
									ND	ND	ND	ND	<0.005
			3	7 6	101	302	果実	7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.026
									<0.01	ND	ND	ND	<0.009
								14	ND	ND	ND	ND	<0.005
									<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.037
								21	0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.041
									<0.01	ND	ND	ND	<0.009

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm
<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
トマト	6.25% EC	Seminole, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	102	203	果実	7	ND	ND	ND	ND	<0.005
									<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.026
								14	0.03	ND	ND	ND	<0.034
									0.03	ND	ND	ND	<0.024
								21	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.031
									0.02	ND	ND	ND	<0.024
			3	7	102	302	果実	7	ND	ND	ND	ND	<0.005
									ND	ND	ND	ND	<0.005
								14	ND	ND	ND	ND	<0.005
									ND	ND	ND	ND	<0.005
								21	ND	ND	ND	ND	<0.005
									ND	ND	ND	ND	<0.005
		Dane, WI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	100	200	果実	7	0.02	ND	ND	ND	<0.024
									0.02	ND	ND	ND	<0.024
								14	0.01	ND	ND	ND	<0.014
									0.01	ND	ND	ND	<0.014
								21	<0.01	ND	ND	ND	<0.009
									<0.01	ND	ND	ND	<0.009
			3	7	103	304	果実	7	0.04	ND	ND	ND	<0.044
									0.05	ND	ND	ND	<0.054
								14	0.02	ND	ND	ND	<0.024
									0.02	ND	ND	ND	<0.024
								21	<0.01	ND	ND	ND	<0.009
									0.01	ND	ND	ND	<0.014

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm
<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
トマト	6.25% EC	Dane, WI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	101	202	果実	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.009
									0.02	ND	ND	<0.01	<0.024
								14	0.01	<0.01	ND	ND	<0.024
									<0.01	ND	ND	ND	<0.009
								21	<0.01	ND	ND	<0.01	<0.009
									<0.01	ND	ND	ND	<0.009
			3	6 7	103	307	果実	7	0.07	<0.01	<0.01	ND	<0.088
									0.04	ND	ND	ND	<0.044
								14	0.03	ND	ND	ND	<0.034
									0.02	ND	ND	ND	<0.024
								21	0.01	ND	ND	ND	<0.014
									0.02	<0.01	<0.01	ND	<0.038
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	6	103	202	果実	7	0.02	ND	ND	ND	<0.024
									0.02	ND	ND	ND	<0.024
								14	0.01	ND	ND	ND	<0.014
									0.02	ND	ND	ND	<0.024
								21	<0.01	ND	ND	ND	<0.009
									<0.01	ND	ND	ND	<0.009
			3	8 6	102	304	果実	7	0.04	ND	ND	ND	<0.044
									0.03	ND	ND	ND	<0.034
								14	0.02	ND	ND	ND	<0.024
									0.01	ND	ND	ND	<0.014
								21	<0.01	ND	ND	ND	<0.009
									<0.01	ND	ND	ND	<0.009

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm
<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
トマト	6.25% EC	RM of Portage la Prairie, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	100	199	果実	7	0.05	ND	ND	ND	<0.054
									0.06	ND	ND	ND	<0.064
								14	0.03	ND	ND	ND	<0.034
									0.03	ND	ND	ND	<0.034
								21	0.02	ND	ND	ND	<0.024
									0.03	ND	<0.01	ND	<0.038
			3	6 7	100	296	果実	7	0.08	ND	<0.01	ND	<0.088
									0.07	ND	<0.01	ND	<0.078
								14	0.04	ND	<0.01	ND	<0.048
									0.04	ND	<0.01	ND	<0.048
								21	0.04	ND	<0.01	ND	<0.048
									0.04	ND	<0.01	ND	<0.048
		PM of Portage la Prairie, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	100	200	果実	7	0.09	ND	ND	ND	<0.094
									0.08	ND	<0.01	ND	<0.088
								14	0.06	ND	<0.01	ND	<0.068
									0.05	ND	ND	ND	<0.054
								21	0.03	ND	ND	ND	<0.034
									0.04	ND	<0.01	ND	<0.048
			3	6 7	101	300	果実	7	0.06	ND	<0.01	ND	<0.068
									0.07	ND	<0.01	ND	<0.078
								14	0.04	ND	ND	ND	<0.044
									0.04	ND	<0.01	ND	<0.048
								21	0.05	ND	<0.01	<0.01	<0.061
									0.06	ND	<0.01	<0.01	<0.071

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm
<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
トマト	6.25% EC	Stafford, KS, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	100	200	果実	7	0.01	ND	ND	ND	<0.014
									0.03	ND	ND	ND	<0.034
								14	<0.01	ND	ND	ND	<0.009
									<0.01	ND	ND	ND	<0.009
								21	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.019
									ND	<0.01	ND	ND	<0.015
			3	7	105	307	果実	7	0.02	ND	ND	ND	<0.024
									0.11	ND	ND	ND	<0.114
								14	0.03	<0.01	ND	ND	<0.044
									<0.01	ND	ND	ND	<0.009
								21	<0.01	ND	ND	ND	<0.009
									ND	<0.01	ND	ND	<0.015
		Vercheres, QC, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	99	195	果実	7	0.01	ND	ND	ND	<0.014
									0.02	ND	ND	ND	<0.024
								14	<0.01	ND	ND	ND	<0.009
									<0.01	ND	ND	ND	<0.009
								21	0.01	ND	ND	ND	<0.014
									<0.01	ND	ND	ND	<0.009
			3	6 7	105	307	果実	7	0.02	ND	ND	ND	<0.024
									0.02	ND	ND	ND	<0.024
								14	0.01	<0.01	ND	ND	<0.024
									0.01	0.01	<0.01	ND	<0.039
								21	<0.01	<0.01	ND	ND	<0.019
									<0.01	<0.01	ND	ND	<0.019

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm
<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
トマト	6.25% EC	Vercheres, QC, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	6	101	200	果実	7	0.02	ND	ND	ND	<0.024
									0.02	ND	ND	ND	<0.024
								14	<0.01	ND	ND	ND	<0.009
									<0.01	ND	ND	ND	<0.009
								21	0.01	ND	ND	ND	<0.014
									<0.01	ND	ND	ND	<0.009
			3	7 6	100	295	果実	7	0.04	ND	ND	ND	<0.044
									0.03	ND	ND	ND	<0.034
								14	0.02	<0.01	ND	ND	<0.034
									0.01	ND	ND	ND	<0.014
								21	0.02	ND	ND	ND	<0.024
									0.01	ND	ND	ND	<0.014
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	100	199	果実	7	0.09	<0.01	ND	ND	<0.104
									0.04	ND	ND	ND	<0.044
								14	0.04	ND	<0.01	ND	<0.048
									0.03	ND	<0.01	ND	<0.038
								21	0.01	ND	ND	ND	<0.014
									0.03	ND	<0.01	ND	<0.038
			3	7	103	306	果実	7	0.05	ND	ND	ND	<0.054
									0.04	ND	ND	ND	<0.044
								14	0.03	ND	<0.01	ND	<0.038
									0.02	<0.01	<0.01	ND	<0.038
								21	0.01	0.02	<0.01	ND	<0.063
									0.02	ND	<0.01	ND	<0.028

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm
<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
トマト	6.25% EC	Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	6	101	200	果実	7	0.04	ND	ND	ND	<0.044
									0.05	ND	ND	ND	<0.054
								14	0.04	ND	ND	ND	<0.044
									0.05	ND	ND	ND	<0.054
								21	0.04	ND	ND	ND	<0.044
									0.03	ND	ND	ND	<0.034
			3	8 6	100	299	果実	7	0.06	ND	ND	ND	<0.064
									0.06	ND	ND	ND	<0.064
								14	0.05	ND	ND	ND	<0.054
									0.05	ND	ND	ND	<0.054
								21	0.08	ND	ND	ND	<0.084
									0.07	ND	ND	ND	<0.074
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	8	101	201	果実	7	0.03	ND	ND	ND	<0.034
									0.03	ND	ND	ND	<0.034
								14	0.03	ND	ND	ND	<0.034
									0.05	ND	ND	ND	<0.054
								21	0.03	ND	ND	ND	<0.034
									0.04	ND	ND	ND	<0.044
			3	6 8	101	300	果実	7	0.03	ND	ND	ND	<0.034
									0.03	ND	ND	ND	<0.034
								14	0.03	ND	ND	ND	<0.034
									0.03	ND	ND	ND	<0.034
								21	0.03	ND	ND	ND	<0.034
									0.04	ND	ND	ND	<0.044

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm
<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
トマト	6.25% EC	Tehama, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	98	195	果実	7	0.01	ND	ND	ND	<0.014
									0.04	ND	ND	ND	<0.054
								14	<0.01	ND	ND	ND	<0.009
									<0.01	<0.01	ND	ND	<0.019
								21	ND	<0.01	ND	ND	<0.015
									ND	<0.01	ND	ND	<0.015
			3	7	99	294	果実	7	0.12	ND	ND	ND	<0.124
									0.02	ND	ND	ND	<0.024
								14	0.02	<0.01	ND	ND	<0.034
									0.02	ND	ND	ND	<0.024
								21	<0.01	ND	ND	ND	<0.009
									ND	<0.01	ND	ND	<0.015
		Glenn, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	98	196	果実	7	0.16	ND	ND	ND	<0.164
									0.19	ND	<0.01	ND	<0.198
								14	0.14	ND	<0.01	ND	<0.148
									0.13	ND	ND	<0.01	<0.137
								21	0.19	ND	ND	<0.01	<0.197
									0.15	ND	ND	<0.01	<0.157
			3	7	98	293	果実	7	0.41	ND	<0.01	ND	<0.418
									0.46	ND	<0.01	ND	<0.468
								14	0.33	ND	ND	<0.01	<0.337
									0.29	ND	<0.01	<0.01	<0.301
								21	0.22	ND	ND	<0.01	<0.227
									0.15	ND	ND	<0.01	<0.157

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm
<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
トマト	6.25% EC	Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	101	201	果実	7	0.06	ND	ND	ND	<0.064
									0.11	ND	ND	ND	<0.114
								14	0.09	ND	ND	ND	<0.094
									0.09	ND	ND	ND	<0.094
								21	0.06	ND	ND	ND	<0.064
									0.06	ND	ND	ND	<0.064
			3	7	100	300	果実	7	0.11	ND	ND	ND	<0.114
									0.08	ND	ND	ND	<0.084
								14	0.08	ND	ND	ND	<0.084
									0.07	ND	ND	ND	<0.074
								21	0.08	ND	ND	ND	<0.084
									0.12	ND	ND	ND	<0.124
		Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	101	200	果実	7	0.13	ND	ND	ND	<0.134
									0.10	ND	ND	ND	<0.104
								14	0.05	ND	ND	ND	<0.054
									0.07	ND	ND	ND	<0.074
								21	0.09	ND	ND	ND	<0.094
									0.06	ND	ND	ND	<0.064
			3	7	101	300	果実	7	0.15	ND	ND	ND	<0.154
									0.10	ND	ND	ND	<0.104
								14	0.09	ND	ND	ND	<0.094
									0.08	ND	ND	ND	<0.084
								21	0.08	ND	ND	ND	<0.084
									0.07	ND	ND	ND	<0.074

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm
<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			フルキサピロキサド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
チェリートマト	6.25% EC	Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	8	100	200	果実	7	0.13	ND	ND	ND	<0.134
									0.12	ND	ND	ND	<0.124
								14	0.11	ND	ND	ND	<0.114
									0.11	ND	ND	ND	<0.114
								21	0.20	ND	ND	ND	<0.204
									0.10	ND	ND	ND	<0.104
			3	7 8	100	300	果実	7	0.25	ND	ND	ND	<0.254
									0.22	ND	ND	ND	<0.224
								14	0.28	ND	ND	ND	<0.284
									0.25	ND	ND	ND	<0.254
								21	0.16	ND	ND	ND	<0.164
									0.16	ND	ND	ND	<0.164
		Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	100	200	果実	7	0.10	ND	ND	ND	<0.104
									0.04	ND	ND	ND	<0.044
								14	0.02	ND	ND	ND	<0.024
									0.03	ND	ND	ND	<0.034
								21	0.02	<0.01	ND	ND	<0.034
									0.02	<0.01	ND	ND	<0.034
			3	7	100	299	果実	7	0.09	ND	ND	ND	<0.094
									0.05	ND	ND	ND	<0.054
								14	0.06	ND	ND	ND	<0.064
									0.05	ND	ND	ND	<0.054
								21	0.04	ND	ND	ND	<0.044
									0.06	ND	ND	ND	<0.064

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm
<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
ピーマン	6.25% EC	Tift, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	6	99	197	果実	7	0.01	ND	0.02	ND	<0.034
									0.01	ND	0.02	ND	<0.034
								14	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013
									<0.01	ND	0.01	ND	<0.018
								21	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013
									ND	ND	<0.01	ND	<0.009
			3	7 6	100	299	果実	7	0.01	ND	0.02	ND	<0.034
									0.01	ND	0.01	ND	<0.023
								14	<0.01	ND	0.01	ND	<0.018
									<0.01	ND	0.01	ND	<0.018
								21	ND	ND	<0.01	ND	<0.009
									ND	ND	<0.01	ND	<0.009
		Seminole, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	103	203	果実	7	0.07	ND	0.04	ND	<0.115
									0.08	ND	0.04	ND	<0.125
								14	0.02	ND	0.03	ND	<0.054
									0.02	ND	0.04	ND	<0.065
								21	<0.01	<0.01	0.02	ND	<0.038
									<0.01	<0.01	0.01	ND	<0.028
			3	7	100	298	果実	7	0.09	<0.01	0.05	<0.01	<0.157
									0.09	ND	0.06	<0.01	<0.158
								14	0.02	ND	0.03	ND	<0.054
									0.02	ND	0.04	ND	<0.065
								21	<0.01	<0.01	0.01	ND	<0.028
									<0.01	0.02	0.01	ND	<0.063

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm
<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
ピーマン	6.25% EC	Dane, WI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	101	201	果実	7	0.01	ND	<0.01	ND	<0.018
									<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013
								14	0.01	ND	0.01	ND	<0.023
									<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013
								21	ND	ND	<0.01	ND	<0.009
									ND	ND	<0.01	ND	<0.009
			3	7	102	301	果実	7	0.03	ND	0.01	ND	<0.043
									0.01	ND	0.01	ND	<0.023
								14	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013
									<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013
								21	ND	ND	<0.01	ND	<0.009
									ND	ND	<0.01	ND	<0.009
		PM of Portage la Prairie, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	100	199	果実	7	0.04	ND	0.03	ND	<0.074
									0.03	ND	0.02	ND	<0.054
								14	<0.01	ND	0.01	ND	<0.018
									<0.01	ND	0.01	ND	<0.018
								21	<0.01	ND	0.02	ND	<0.029
									<0.01	ND	0.02	<0.01	<0.032
			3	6 7	101	299	果実	7	0.02	ND	0.02	ND	<0.044
									0.03	ND	0.02	ND	<0.054
								14	<0.01	ND	0.02	ND	<0.029
									0.01	ND	0.02	<0.01	<0.037
								21	0.01	ND	0.02	ND	<0.034
									<0.01	ND	0.02	ND	<0.029

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm
<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
ピーマン	6.25% EC	Stafford, KS, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	106	209	果実	7	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013
									ND	ND	<0.01	ND	<0.009
								14	ND	ND	<0.01	ND	<0.009
									0.01	ND	<0.01	ND	<0.018
								21	ND	ND	ND	ND	<0.005
									ND	<0.01	ND	ND	<0.015
			3	7	105	309	果実	7	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013
									<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013
								14	ND	<0.01	<0.01	ND	<0.019
									ND	<0.01	<0.01	ND	<0.019
								21	ND	<0.01	ND	ND	<0.015
									ND	<0.01	ND	ND	<0.015
		Vercheres, QC, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	6	103	202	果実	7	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013
									<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013
								14	ND	ND	<0.01	ND	<0.009
									ND	ND	<0.01	ND	<0.009
								21	ND	ND	<0.01	ND	<0.009
									ND	ND	ND	ND	<0.005
			3	7 6	101	299	果実	7	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013
									<0.01	<0.01	<0.01	ND	<0.023
								14	<0.01	<0.01	<0.01	ND	<0.023
									ND	ND	<0.01	ND	<0.009
								21	ND	<0.01	<0.01	ND	<0.019
									<0.01	<0.01	<0.01	ND	<0.023

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm
<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
ピーマン	6.25% EC	Cass, ND, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	103	201	果実	7	0.07	ND	0.06	ND	<0.135
									0.08	ND	0.06	ND	<0.145
								14	0.02	ND	0.03	ND	<0.054
									0.03	ND	0.04	ND	<0.075
								21	<0.01	ND	0.03	ND	<0.039
									<0.01	ND	0.02	ND	<0.029
			3	7	103	305	果実	7	0.10	ND	0.09	<0.01	<0.119
									0.07	ND	0.06	<0.01	<0.138
								14	0.04	ND	0.06	<0.01	<0.108
									0.04	ND	0.06	<0.01	<0.108
								21	<0.01	ND	0.02	ND	<0.029
									0.02	ND	0.04	ND	<0.065
		Tehama, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	99	197	果実	7	0.12	ND	0.07	<0.01	<0.199
									0.07	ND	0.05	<0.01	<0.128
								14	0.03	ND	0.03	<0.01	<0.067
									0.04	ND	0.03	<0.01	<0.077
								21	0.01	ND	0.01	ND	<0.023
									<0.01	ND	<0.01	<0.01	<0.016
			3	7	99	294	果実	7	0.29	ND	0.15	<0.01	<0.452
									0.18	ND	0.12	<0.01	<0.311
								14	0.09	ND	0.08	<0.01	<0.179
									0.14	ND	0.09	<0.01	<0.239
								21	<0.01	ND	0.01	<0.01	<0.021
									<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm
<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			フルキサピロキサド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
その他のなす科野菜	6.25% EC	Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	100	200	果実	7	<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013
									0.01	ND	<0.01	ND	<0.018
								14	<0.01	<0.01	<0.01	ND	<0.023
									<0.01	<0.01	<0.01	ND	<0.023
								21	<0.01	0.01	<0.01	ND	<0.034
									<0.01	ND	<0.01	ND	<0.013
			3	7	100	300	果実	7	0.02	ND	0.02	ND	<0.044
									0.01	<0.01	0.01	ND	<0.033
								14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.026
									0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.048
								21	0.01	ND	<0.01	<0.01	<0.021
									<0.01	ND	0.01	<0.01	<0.021
		Uvalde, TX, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOQ	<LOQ	<LOQ	<LOQ	-
			2	7	100	199	果実	7	0.19	ND	<0.01	ND	<0.198
									0.19	ND	<0.01	ND	<0.198
								14	0.17	ND	<0.01	ND	<0.178
									0.14	ND	<0.01	ND	<0.148
								21	0.09	ND	0.01	ND	<0.103
									0.05	ND	0.02	<0.01	<0.077
			3	7	101	301	果実	7	0.28	ND	0.02	ND	<0.304
									0.31	ND	0.02	ND	<0.334
								14	0.25	ND	0.02	ND	<0.274
									0.23	ND	0.02	ND	<0.254
								21	0.05	ND	0.02	<0.01	<0.077
									0.07	ND	0.02	ND	<0.094

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm
<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
ばれいしょ	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	6 7	101	303	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
								14	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
								21	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	6 7	101	302	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
								14	0.02	ND	ND	ND	<0.0241
									0.02	ND	ND	ND	<0.0241
								21	0.02	ND	ND	ND	<0.0241
									0.02	ND	ND	ND	<0.0241
		Lehigh, PA, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	6 8	104	308	塊茎	7	ND	<0.01	ND	ND	<0.0145
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								14	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								21	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Queens, PEI, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7 6	102	294	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
		Queens, PEI, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7 6	100	295	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
ばれいしょ	6.25% EC	Tift, GA, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	6 7	120	319	塊茎	7	0.02	<0.01	ND	ND	<0.0335
									0.01	<0.01	ND	ND	<0.0235
								14	0.02	<0.01	ND	ND	<0.0335
									0.01	<0.01	ND	ND	<0.0235
								21	0.02	<0.01	ND	ND	<0.0235
									<0.01	<0.01	ND	ND	<0.0185
		Seminole, FL, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	101	301	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
								14	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
								21	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	6 7	102	305	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
								14	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
								21	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	6 8	105	313	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								14	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	<0.01	<0.0080
								21	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								28	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
ばれいしょ	6.25% EC	Keokuk, IA, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	102	302	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								14	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								21	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	<0.01	ND	<0.01	<0.0174
		Dane, WI, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	129	323	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								14	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								21	ND	ND	ND	<0.01	<0.0080
									ND	ND	ND	<0.01	<0.0080
		Pepin, WI, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7 29	100	298	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								14	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								21	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Taber, AB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	102	302	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
								14	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								21	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									ND	ND	ND	ND	<0.0051

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
ばれいしょ	6.25% EC	Cache, UT, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	102	303	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								14	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								21	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Sacramento CA, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	99	296	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								14	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								21	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Payette, ID, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	6 8	102	301	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								14	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								21	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Washington ID, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	102	305	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								14	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								21	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
ばれいしょ	6.25% EC	Bingham, ID, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	6 7	103	308	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								10	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								15	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								21	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								28	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
		Power, ID, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	8 6	99	293	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								14	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
								21	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
		Benton, OR, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	102	300	塊茎	7	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
								14	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
								21	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									ND	ND	ND	ND	<0.0051
		Strathcona, AB, 米国	-	-	-	-	塊茎	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	104	308	塊茎	7	ND	ND	ND	ND	<0.0051
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
								14	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
								21	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI（日）	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
てんさい	6.25% EC	Freeborn, MN, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	101	302	根	7	0.06	ND	ND	ND	<0.0641
									0.06	ND	ND	ND	<0.0641
								13	0.05	ND	ND	ND	<0.0541
									0.03	<0.01	ND	ND	<0.0435
								21	0.03	<0.01	ND	ND	<0.0435
									0.03	ND	ND	ND	<0.0341
		Cass, ND, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	6 8	100	297	根	7	0.02	ND	ND	ND	<0.0241
									0.03	ND	ND	ND	<0.0341
								14	0.02	ND	ND	ND	<0.0241
									0.02	ND	ND	ND	<0.0241
								21	0.02	ND	ND	ND	<0.0241
									0.02	ND	ND	ND	<0.0241
		Jefferson, IA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	104	303	根	7	0.05	ND	ND	ND	<0.0541
									0.03	ND	ND	ND	<0.0341
								14	0.05	ND	ND	ND	<0.0541
									0.06	<0.01	ND	ND	<0.0735
								21	0.04	<0.01	ND	ND	<0.0535
									0.06	<0.01	ND	ND	<0.0735
		Strathcona, AB, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	103	308	根	7	0.01	ND	ND	ND	<0.0141
									0.01	ND	ND	ND	<0.0141
								14	0.03	ND	ND	ND	<0.0341
									0.04	ND	ND	ND	<0.0441
								21	0.03	ND	ND	ND	<0.0341
									0.03	ND	ND	ND	<0.0341

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI（日）	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
てんさい	6.25% EC	LaMoure, ND, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	102	304	根	7	0.02	ND	ND	ND	<0.0241
									0.02	ND	ND	ND	<0.0241
								13	0.06	ND	ND	ND	<0.0641
									0.02	ND	ND	ND	<0.0241
								21	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									0.01	ND	ND	ND	<0.0141
		Taber, AB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7 10	100	298	根	8	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
								15	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
								22	0.01	ND	ND	ND	<0.0141
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
		Hockley, TX, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	8 6	102	302	根	7	0.02	ND	ND	ND	<0.0241
									0.02	ND	ND	ND	<0.0241
								14	0.03	ND	ND	ND	<0.0341
									0.03	ND	ND	ND	<0.0341
								21	0.03	ND	ND	ND	<0.0341
									0.02	ND	ND	ND	<0.0241
		Cache, UT, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	103	307	根	8	0.01	ND	ND	ND	<0.0141
									<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
								15	<0.01	ND	ND	ND	<0.0091
									0.01	ND	ND	ND	<0.0141
								21	0.01	ND	ND	ND	<0.0141
									0.01	ND	ND	ND	<0.0141

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
てんさい	6.25% EC	Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	100	290	根	7	0.03	ND	ND	ND	<0.0341
									0.04	ND	ND	ND	<0.0441
								14	0.03	ND	ND	ND	<0.0341
									0.03	ND	ND	ND	<0.0341
								21	0.02	ND	ND	ND	<0.0241
									0.03	ND	ND	ND	<0.0341
		Power, ID, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	101	297	根	7	0.07	ND	ND	ND	<0.0741
									0.03	ND	ND	ND	<0.0341
								10	0.03	ND	ND	ND	<0.0341
									0.04	ND	ND	ND	<0.0441
								15	0.05	ND	ND	ND	<0.0541
									0.01	ND	ND	ND	<0.0141
								21	0.04	ND	ND	ND	<0.0441
									0.04	ND	ND	ND	<0.0441
								28	0.02	ND	ND	ND	<0.0241
									0.02	ND	ND	ND	<0.0241
		Bingham, ID, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	103	300	根	8	0.01	ND	ND	ND	<0.0141
									0.02	ND	ND	ND	<0.0241
								15	0.02	ND	ND	ND	<0.0241
									0.02	ND	ND	ND	<0.0241
								21	0.02	ND	ND	ND	<0.0241
									0.03	ND	ND	ND	<0.0341
		RM of Portage la Prairie, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	根	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	9 7	120	326	根	8	0.05	ND	ND	ND	<0.0541
									0.04	ND	ND	ND	<0.0441
								15	0.02	ND	ND	ND	<0.0241
									0.04	ND	ND	ND	<0.0441
								20	0.02	ND	ND	ND	<0.0241
									0.03	ND	ND	ND	<0.0341

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI（日）	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
てんさい	6.25% EC	LaMoure, ND, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	102	304	葉	7	0.70	ND	0.01	ND	0.71
									0.79	ND	0.01	ND	0.80
								13	0.59	ND	0.01	ND	0.60
									0.49	<0.01	0.02	ND	0.52
								21	0.38	<0.01	0.01	ND	0.40
									0.47	<0.01	0.01	ND	0.49
		Hockley, TX, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	86	102	302	葉	7	2.95	ND	0.03	ND	2.98
									3.00	ND	0.03	<0.01	3.04
								14	1.38	ND	0.04	ND	1.42
									1.29	ND	0.03	ND	1.32
								21	0.76	ND	0.02	ND	0.78
									0.75	<0.01	0.02	ND	0.78
		Cache, UT, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	103	307	葉	8	1.93	ND	0.03	ND	1.96
									1.69	ND	0.02	ND	1.71
								15	0.82	ND	0.03	ND	0.85
									0.81	ND	0.02	ND	0.83
								21	0.80	<0.01	0.03	ND	0.84
									0.72	ND	0.03	ND	0.75
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	100	290	葉	7	1.65	<0.01	0.05	ND	1.71
									2.57	<0.01	0.07	ND	2.66
								14	1.28	<0.01	0.05	ND	1.34
									1.66	<0.01	0.06	ND	1.73
								21	0.83	<0.01	0.03	ND	0.87
									0.73	<0.01	0.03	ND	0.77

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量 (g a.i./ha)		部位	PHI（日）	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関： BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
てんさい	6.25% EC	Power, ID, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	101	297	葉	7	2.37	ND	0.04	ND	2.41
									1.77	ND	0.03	ND	1.80
								10	1.28	ND	0.04	ND	1.32
									1.70	ND	0.04	ND	1.74
								15	0.98	<0.01	0.03	ND	1.02
									1.31	<0.01	0.04	ND	1.36
								21	0.90	<0.01	0.04	ND	0.95
									0.87	ND	0.03	ND	0.90
								28	0.79	<0.01	0.05	ND	0.85
									0.64	<0.01	0.04	ND	0.69
		Bingham, ID, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	7	103	300	葉	8	0.84	ND	<0.01	ND	0.85
									0.83	ND	<0.01	ND	0.84
								15	0.69	ND	0.01	ND	0.70
									0.69	ND	0.01	ND	0.70
								21	0.85	<0.01	0.02	ND	0.88
									0.60	ND	0.01	ND	0.61
		RM of Portage la Prairie, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	葉	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	-
			3	97	120	326	葉	8	3.89	ND	0.03	ND	3.92
									2.92	ND	0.02	ND	2.94
								15	2.32	ND	0.02	ND	2.34
									2.02	<0.01	0.02	ND	2.05
								20	2.05	<0.01	0.03	ND	2.09
									1.83	ND	0.02	ND	1.85

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
チェリー	6.25% EC	Allegan, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	<0.01	ND	ND	-
			3	6	129 *	377 *	果実	0	1.05	ND	0.21	0.05	1.31
								1	1.10	ND	0.24	0.04	1.38
								7	0.32	ND	0.25	0.07	0.63
								14	0.09	ND	0.18	0.07	0.33
					129 **	377 **	果実	0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16
								1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09
								7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63
								14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36
		Niagara, ON, ｶﾅﾀﾞ	-		-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	8 6	127 *	378 *	果実	0	0.43	ND	0.17	<0.01	0.61
								1	0.55	ND	0.16	<0.01	0.72
								7	0.40	ND	0.19	0.01	0.61
								14	0.14	ND	0.26	<0.01	0.42
					126 **	374 **	果実	0	0.05	ND	0.17	0.03	0.25
								1	0.20	ND	0.30	0.05	0.55
								7	0.02	ND	0.11	0.06	0.18
								14	0.06	ND	0.14	0.10	0.28
		Ottawa, MI, 米国	-		-	-	果実	-	<0.01	ND	<0.01	ND	-
			3	6 7	125 *	375 *	果実	0	0.53	ND	0.17	<0.01	0.71
								1	0.51	ND	0.17	<0.01	0.69
								7	0.18	ND	0.23	<0.01	0.42
								14	0.59	ND	0.18	<0.01	0.78
				7	125 **	371 **	果実	0	0.34	ND	0.19	<0.01	0.54
								1	0.36	ND	0.17	<0.01	0.54
								7	0.12	ND	0.19	<0.01	0.32
								14	0.02	ND	0.16	<0.01	0.19

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

**：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
チェリー	6.25% EC	Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	<0.01	ND	-
			3	7	124 *	371 *	果実	0	0.82	<0.01	0.30	<0.01	1.15
								1	0.37	ND	0.24	<0.01	0.63
								7	0.12	ND	0.30	<0.01	0.44
								14	0.07	ND	0.28	<0.01	0.37
					125 **	373 **	果実	0	0.39	ND	0.22	<0.01	0.62
								1	0.41	<0.01	0.23	<0.01	0.66
								7	0.16	<0.01	0.29	<0.01	0.48
								14	0.14	<0.01	0.29	<0.01	0.46
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			3	7	125 *	374 *	果実	0	0.49	ND	0.16	0.08	0.72
								1	0.38	<0.01	0.17	0.07	0.62
								7	0.19	ND	0.23	0.08	0.49
								13	0.10	ND	0.16	0.11	0.35
					123 **	370 **	果実	0	0.56	ND	0.13	0.05	0.73
								1	0.49	ND	0.15	0.05	0.68
								7	0.33	ND	0.19	0.08	0.59
								13	0.30	ND	0.15	0.10	0.53
		Wasco, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			3	8 6	127 *	378 *	果実	0	0.19	ND	0.16	<0.01	0.36
								1	0.19	ND	0.18	ND	0.38
								7	0.08	ND	0.21	<0.01	0.30
								10	0.06	ND	0.26	<0.01	0.34
								14	0.04	ND	0.13	<0.01	0.18
					128 **	374 **	果実	0	0.31	ND	0.18	<0.01	0.50
								1	0.20	ND	0.19	<0.01	0.40
								7	0.18	ND	0.22	<0.01	0.41
								10	0.11	ND	0.22	<0.01	0.34
								14	0.05	ND	0.11	<0.01	0.17

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume，水 463-930 L/ha

**：dilute spray volume，水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
もも	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			3	8 6	125 *	374 *	果実	0	0.37	ND	0.01	ND	0.38
								1	0.29	<0.01	0.02	ND	0.32
								7	0.07	ND	0.01	<0.01	0.09
								14	0.05	ND	0.01	ND	0.06
					126 **	375 **	果実	0	0.43	ND	0.01	ND	0.44
								1	0.43	ND	0.02	ND	0.45
								7	0.10	ND	0.02	ND	0.12
								14	0.08	ND	0.03	ND	0.11
		Tift, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	<0.01	ND	-
			3	7	124 *	372 *	果実	0	0.55	ND	0.02	0.01	0.58
								1	0.43	ND	0.03	0.01	0.47
								7	0.31	ND	0.04	0.03	0.38
								14	0.29	ND	0.03	0.04	0.35
					126 **	376 **	果実	0	0.42	ND	0.02	<0.01	0.45
								1	0.37	ND	0.02	<0.01	0.40
								7	0.29	<0.01	0.10	0.02	0.42
								14	0.30	ND	0.05	0.04	0.38
		Brooks, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7	126 *	376 *	果実	0	0.55	ND	0.06	ND	0.62
								1	0.29	ND	0.04	ND	0.33
								7	0.22	ND	0.08	<0.01	0.31
								14	0.11	ND	0.09	<0.01	0.21
					125 **	373 **	果実	0	0.18	ND	0.04	ND	0.22
								1	0.47	ND	0.06	ND	0.54
								7	0.57	ND	0.05	ND	0.62
								14	0.12	ND	0.05	<0.01	0.18

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

**：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
もも	6.25% EC	Lenawee, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7	126 *	374 *	果実	0	0.39	ND	0.02	<0.01	0.42
								1	0.45	ND	0.03	<0.01	0.49
								7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19
								14	0.16	ND	0.03	<0.01	0.20
					128 **	375 **	果実	0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36
								1	0.26	ND	0.02	ND	0.28
								7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19
								14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16
		Niagara, ON, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	果実	-	ND	<0.01	ND	ND	-
			3	7	129 *	378 *	果実	0	0.10	ND	<0.01	<0.01	0.11
								1	0.19	<0.01	<0.01	ND	0.21
								6	0.08	ND	0.01	ND	0.09
								13	0.07	<0.01	0.02	<0.01	0.11
					125 **	369 **	果実	0	0.26	<0.01	0.03	<0.01	0.31
								1	0.28	ND	0.02	<0.01	0.31
								6	0.26	<0.01	0.03	<0.01	0.31
								13	0.19	ND	0.04	<0.01	0.24
		Ottawa, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7	125 *	373 *	果実	0	0.29	ND	0.01	ND	0.30
								1	0.28	ND	0.01	<0.01	0.30
								7	0.21	ND	0.02	<0.01	0.24
								14	0.19	ND	0.02	<0.01	0.22
					125 **	373 **	果実	0	0.34	ND	<0.01	<0.01	0.35
								1	0.28	ND	0.01	<0.01	0.30
								7	0.15	ND	0.01	<0.01	0.17
								14	0.17	ND	0.02	<0.01	0.20

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

**：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
もも	6.25% EC	Marion, IL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			3	7	133 *	388 *	果実	0	0.17	<0.01	<0.01	ND	0.19
								1	0.24	ND	<0.01	ND	0.25
								7	0.08	<0.01	<0.01	ND	0.10
								14	0.08	ND	<0.01	ND	0.09
					128 **	378 **	果実	0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34
								1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23
								7	0.15	ND	0.01	ND	0.16
								14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11
		Pontotoc, OK, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	6 7	126 *	368 *	果実	0	0.44	ND	0.04	ND	0.48
								1	0.50	ND	0.04	ND	0.54
								7	0.33	ND	0.05	ND	0.38
								14	0.25	ND	0.06	<0.01	0.32
					124 **	365 **	果実	0	0.58	ND	0.08	ND	0.67
								1	0.42	ND	0.04	ND	0.46
								7	0.33	ND	0.04	ND	0.37
								14	0.26	ND	0.06	<0.01	0.33
		Kings, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	6 7	141 *	421 *	果実	0	0.59	ND	0.02	ND	0.61
								1	0.22	ND	0.02	ND	0.24
								7	0.13	ND	0.02	ND	0.15
								10	0.26	ND	0.02	ND	0.28
								14	0.08	ND	0.02	ND	0.10
					141 **	423 **	果実	0	0.63	ND	0.03	ND	0.66
								1	0.39	ND	0.03	ND	0.42
								7	0.23	ND	0.03	ND	0.26
								10	0.13	ND	0.03	ND	0.16
								14	0.14	ND	0.04	ND	0.18

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

**：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			フルキサピロキサド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
もも	6.25% EC	Stanislaus, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	<0.01	-
			3	7	125 *	371 *	果実	0	0.30	ND	0.01	ND	0.31
								1	0.24	ND	0.01	ND	0.25
								7	0.20	ND	0.02	ND	0.22
								14	0.14	<0.01	0.02	<0.01	0.18
					125 **	374 **	果実	0	0.24	ND	0.01	ND	0.25
								1	0.33	ND	0.02	ND	0.35
								7	0.18	ND	0.01	<0.01	0.20
								14	0.14	ND	0.02	ND	0.16
		Madera, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7	125 *	375 *	果実	0	0.30	ND	0.01	<0.01	0.32
								1	0.18	ND	0.01	<0.01	0.20
								7	0.13	ND	0.02	<0.01	0.16
								10	0.08	ND	0.01	0.01	0.10
								14	0.09	ND	0.03	<0.01	0.13
					126 **	378 **	果実	0	0.26	ND	0.01	<0.01	0.28
								1	0.24	ND	0.01	<0.01	0.26
								7	0.24	ND	0.05	<0.01	0.30
								10	0.13	ND	0.02	<0.01	0.16
								14	0.12	ND	0.02	<0.01	0.15
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			3	7	125 *	375 *	果実	0	0.46	ND	0.03	<0.01	0.50
								1	0.55	ND	0.05	<0.01	0.61
								7	0.29	ND	0.03	<0.01	0.33
								14	0.19	ND	0.05	<0.01	0.25
					125 **	373 **	果実	0	0.57	ND	0.03	<0.01	0.61
								1	0.59	ND	0.04	<0.01	0.64
								7	0.34	ND	0.05	<0.01	0.40
								14	0.25	ND	0.06	0.01	0.32

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

**：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
プラム	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7 6	125 *	374 *	果実	0	0.95	ND	ND	ND	0.95
								1	0.32	ND	ND	ND	0.32
								7	0.46	ND	ND	ND	0.46
								14	0.43	ND	ND	ND	0.43
					129 **	382 **	果実	0	0.79	ND	ND	ND	0.79
								1	0.29	ND	ND	ND	0.29
								7	0.40	ND	ND	ND	0.40
								14	0.09	ND	ND	ND	0.09
		Allegan, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	6	131 *	379 *	果実	0	0.49	ND	ND	ND	0.49
								1	0.46	ND	ND	ND	0.46
								7	0.30	ND	<0.01	ND	0.31
								14	0.17	ND	ND	ND	0.17
					129 **	379 **	果実	0	0.42	ND	ND	ND	0.42
								1	0.34	ND	ND	ND	0.34
								7	0.26	ND	ND	ND	0.26
								14	0.20	ND	ND	ND	0.20
		Niagara, ON, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7	123 *	364 *	果実	0	0.20	ND	ND	ND	0.20
								1	0.17	ND	ND	ND	0.17
								7	0.11	ND	ND	ND	0.11
								14	0.09	ND	ND	ND	0.09
					122 **	365 **	果実	0	0.24	ND	ND	ND	0.24
								1	0.24	ND	ND	ND	0.24
								7	0.14	ND	ND	ND	0.14
								14	0.10	ND	0.01	ND	0.11

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

**：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
プラム	6.25% EC	Ottawa, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			3	7	124 *	370 *	果実	0	0.64	ND	ND	ND	0.64
								1	0.62	ND	ND	ND	0.62
								7	0.59	ND	ND	ND	0.59
								14	0.49	ND	ND	ND	0.49
					125 **	373 **	果実	0	0.44	ND	ND	ND	0.44
								1	0.42	ND	ND	ND	0.42
								7	0.49	ND	0.02	ND	0.51
								14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			3	7	140 *	417 *	果実	0	0.37	ND	ND	ND	0.37
								1	0.38	ND	ND	ND	0.38
								7	0.29	ND	<0.01	ND	0.30
								10	0.26	ND	ND	ND	0.26
								14	0.26	ND	ND	ND	0.26
					140 **	420 **	果実	0	0.32	ND	ND	ND	0.32
								1	0.38	ND	ND	ND	0.38
								7	0.32	ND	ND	ND	0.32
								10	0.24	ND	ND	ND	0.24
								14	0.28	ND	ND	ND	0.28
		Stanislaus, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7	124 *	371 *	果実	0	0.48	ND	<0.01	ND	0.49
								1	0.47	ND	<0.01	ND	0.48
								7	0.53	ND	ND	ND	0.53
								14	0.51	ND	ND	ND	0.51
					124 **	372 **	果実	0	0.49	ND	ND	ND	0.49
								1	0.56	ND	<0.01	ND	0.57
								7	0.47	ND	ND	ND	0.47
								14	0.54	ND	ND	ND	0.54

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

**：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
プラム	6.25% EC	Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7	125 *	374 *	果実	0	0.20	ND	<0.01	ND	0.21
								1	0.18	ND	ND	ND	0.18
								7	0.23	ND	ND	ND	0.23
								14	0.09	ND	ND	ND	0.09
					126 **	378 **	果実	0	0.18	ND	ND	ND	0.18
								1	0.17	ND	ND	ND	0.17
								7	0.17	ND	ND	ND	0.17
								14	0.08	ND	ND	ND	0.08
		Madera, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7	128 *	379 *	果実	0	0.24	ND	<0.01	ND	0.25
								1	0.27	ND	ND	ND	0.27
								7	0.16	ND	ND	ND	0.16
								14	0.12	ND	<0.01	<0.01	0.13
					125 **	370 **	果実	0	0.14	ND	ND	ND	0.14
								1	0.13	ND	ND	ND	0.13
								7	0.13	ND	ND	ND	0.13
								14	0.12	ND	ND	ND	0.12
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7	125 *	373 *	果実	0	0.30	ND	<0.01	ND	0.31
								1	0.37	ND	0.02	ND	0.39
								7	0.15	ND	<0.01	ND	0.16
								14	0.20	ND	<0.01	<0.01	0.21
					125 **	371 **	果実	0	0.27	ND	<0.01	ND	0.28
								1	0.15	ND	<0.01	ND	0.16
								7	0.17	ND	<0.01	ND	0.18
								14	0.13	ND	<0.01	ND	0.14

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

**：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
プラム	6.25% EC	Polk, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	<0.01	ND	-
			3	7	127 *	377 *	果実	0	0.30	ND	<0.01	ND	0.31
								1	0.39	ND	ND	ND	0.39
								7	0.37	ND	ND	ND	0.37
								14	0.27	ND	<0.01	ND	0.28
					129 **	381 **	果実	0	0.31	ND	ND	ND	0.31
								1	0.55	ND	ND	ND	0.55
								7	0.48	ND	<0.01	ND	0.49
								14	0.29	ND	<0.01	ND	0.30

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

**：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
りんご	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	8 7 7	100*	399*	果実	0	0.16	ND	ND	ND	0.16
								1	0.16	ND	ND	ND	0.16
								7	0.11	ND	ND	<0.01	0.12
								14	0.08	ND	ND	ND	0.08
					101**	401**	果実	0	0.15	ND	ND	<0.01	0.16
								1	0.14	ND	ND	<0.01	0.15
								7	0.12	ND	ND	ND	0.12
								14	0.10	ND	ND	ND	0.10
		Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	<0.01	-
			4	7	101*	400*	果実	0	0.28	ND	0.08	ND	0.37
								1	0.13	ND	ND	ND	0.13
								7	0.14	ND	ND	<0.01	0.15
								14	0.09	ND	ND	<0.01	0.10
					101**	400**	果実	0	0.18	ND	ND	<0.01	0.19
								1	0.15	ND	ND	ND	0.15
								7	0.12	ND	ND	ND	0.12
								14	0.10	ND	ND	<0.01	0.11
		Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7	100*	397*	果実	0	0.08	ND	ND	ND	0.08
								1	0.06	ND	ND	ND	0.06
								7	0.06	ND	ND	ND	0.06
								10	0.05	ND	ND	ND	0.05
								14	0.05	ND	ND	ND	0.05
					101**	402**	果実	0	0.08	ND	ND	ND	0.08
								1	0.07	ND	ND	ND	0.07
								7	0.06	ND	ND	ND	0.06
								10	0.06	ND	ND	ND	0.06
								14	0.05	ND	ND	ND	0.05

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

**：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
りんご	6.25% EC	Lenawee, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			4	7	102*	401*	果実	0	0.18	ND	ND	ND	0.18
								1	0.24	ND	ND	ND	0.24
								7	0.23	ND	ND	<0.01	0.23
								14	0.15	ND	ND	ND	0.15
					103**	406**	果実	0	0.15	ND	ND	<0.01	0.16
								1	0.12	ND	ND	ND	0.12
								7	0.12	ND	ND	<0.01	0.13
								14	0.10	ND	ND	ND	0.10
		Marion, IL, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	<0.01	-
			4	7	102*	401*	果実	0	0.21	ND	ND	ND	0.21
								1	0.20	ND	ND	ND	0.20
								7	0.15	ND	ND	ND	0.15
								14	0.07	ND	ND	ND	0.07
					107**	406**	果実	0	0.19	ND	0.01	0.01	0.21
								1	0.21	ND	ND	ND	0.21
								7	0.13	ND	ND	ND	0.13
								14	0.06	ND	ND	ND	0.06
		Simcoe, ON, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7 7 6	103*	399*	果実	0	0.15	ND	<0.01	ND	0.16
								1	0.08	ND	ND	ND	0.08
								7	0.06	ND	ND	ND	0.06
								14	0.08	ND	ND	ND	0.08
					102**	396**	果実	0	0.08	ND	ND	ND	0.08
								1	0.09	ND	ND	ND	0.09
								7	0.07	ND	ND	ND	0.07
								14	0.07	ND	ND	ND	0.07

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

**：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形)	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
りんご	6.25% EC	Brant, ON, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7	101*	396*	果実	0	0.12	ND	ND	ND	0.12
								1	0.14	ND	ND	ND	0.14
								7	0.10	ND	ND	ND	0.10
								12	0.09	ND	ND	ND	0.09
					102**	397**	果実	0	0.14	ND	ND	ND	0.14
								1	0.14	ND	<0.01	ND	0.15
								7	0.11	ND	<0.01	ND	0.12
								12	0.08	ND	ND	ND	0.08
		Ottawa, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7 8 6	100*	398*	果実	0	0.27	ND	ND	ND	0.27
								1	0.36	ND	ND	ND	0.36
								7	0.10	ND	ND	ND	0.10
								14	0.15	ND	<0.01	ND	0.16
					101**	401**	果実	0	0.21	ND	ND	ND	0.21
								1	0.13	ND	ND	ND	0.13
								7	0.10	ND	ND	ND	0.10
								14	0.15	ND	ND	ND	0.15
		Cache, UT, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7	103*	400*	果実	0	0.31	ND	ND	ND	0.31
								1	0.24	ND	ND	ND	0.25
								7	0.08	ND	<0.01	ND	0.09
								14	0.03	ND	ND	ND	0.03
					103**	401**	果実	0	0.22	ND	ND	ND	0.22
								1	0.15	ND	ND	ND	0.15
								7	0.05	ND	ND	ND	0.05
								14	0.04	ND	ND	ND	0.04

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume，水 693-824 L/ha

**：dilute spray volume，水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
りんご	6.25% EC	Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7 7 6	102*	402*	果実	0	0.18	ND	ND	ND	0.18
									0.17	<0.01	ND	ND	0.18
								1	0.08	ND	ND	ND	0.08
									0.09	ND	ND	ND	0.09
								7	0.20	ND	ND	ND	0.20
									0.23	ND	ND	ND	0.23
								14	0.22	ND	ND	ND	0.22
									0.13	ND	ND	ND	0.13
			-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			4	7 7 6	101 **	398 **	果実	0	0.11	ND	ND	<0.01	0.12
									0.11	ND	ND	ND	0.11
								1	0.08	ND	ND	ND	0.08
									0.09	ND	ND	ND	0.09
								7	0.26	<0.01	ND	ND	0.27
									0.25	ND	ND	ND	0.25
								14	0.20	ND	ND	ND	0.20
									0.17	<0.01	ND	ND	0.18
		Power, ID, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7	103*	404*	果実	0	0.19	ND	ND	<0.01	0.20
								1	0.21	ND	ND	ND	0.21
								7	0.16	ND	ND	ND	0.16
								14	0.09	ND	ND	ND	0.09
					103 **	400 **	果実	0	0.24	ND	ND	ND	0.24
								1	0.25	ND	ND	<0.01	0.26
								7	0.18	ND	ND	ND	0.18
								14	0.14	ND	ND	<0.01	0.15

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

**：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
りんご	6.25% EC	Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7	100*	391*	果実	0	0.3	ND	ND	ND	0.30
								1	0.29	ND	ND	ND	0.29
								7	0.27	ND	ND	ND	0.27
								14	0.19	ND	ND	ND	0.19
					99**	396**	果実	0	0.23	ND	ND	ND	0.23
								1	0.26	ND	ND	ND	0.26
								7	0.23	ND	ND	ND	0.23
								14	0.19	ND	ND	ND	0.19
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7	102*	400*	果実	0	0.32	ND	ND	ND	0.32
								1	0.35	ND	ND	ND	0.35
								7	0.29	ND	ND	ND	0.29
								14	0.18	ND	ND	ND	0.18
					99**	395**	果実	0	0.21	ND	ND	ND	0.21
								1	0.22	ND	ND	ND	0.22
								7	0.16	ND	ND	ND	0.16
								14	0.19	ND	ND	ND	0.19
		Washington ID, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	6 7 7	104*	408*	果実	0	0.37	ND	ND	ND	0.37
								1	0.31	ND	ND	ND	0.31
								7	0.25	ND	ND	ND	0.25
								10	0.27	ND	ND	ND	0.27
								14	0.24	ND	ND	ND	0.24
					101**	400**	果実	0	0.27	ND	ND	ND	0.27
								1	0.24	ND	ND	ND	0.24
								7	0.19	ND	ND	ND	0.19
								10	0.30	ND	ND	ND	0.30
								14	0.19	ND	ND	ND	0.19

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

**：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
なし	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	9 6 8	100*	398*	果実	0	0.21	ND	<0.01	ND	0.22
								1	0.17	ND	<0.01	ND	0.18
								7	0.15	ND	0.01	ND	0.16
								14	0.10	ND	<0.01	ND	0.11
				8 6 8	100 **	400 **	果実	0	0.18	ND	<0.01	ND	0.19
								1	0.16	ND	<0.01	ND	0.17
								7	0.11	ND	<0.01	ND	0.12
								14	0.09	ND	<0.01	ND	0.10
		Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7	102*	406*	果実	0	0.26	ND	<0.01	ND	0.27
								1	0.24	ND	<0.01	<0.01	0.25
								7	0.27	ND	<0.01	ND	0.28
								14	0.19	ND	<0.01	ND	0.20
					103 **	405 **	果実	0	0.34	ND	<0.01	ND	0.35
								1	0.34	ND	<0.01	ND	0.35
								7	0.31	ND	<0.01	ND	0.32
								14	0.19	ND	<0.01	ND	0.20
		Allegan, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7	103*	405*	果実	0	0.18	ND	<0.01	ND	0.19
								1	0.17	ND	<0.01	ND	0.18
								7	0.19	ND	<0.01	ND	0.20
								14	0.11	ND	0.01	ND	0.12
					102 **	404 **	果実	0	0.21	ND	<0.01	ND	0.22
								1	0.29	ND	0.01	ND	0.30
								7	0.14	ND	<0.01	ND	0.15
								14	0.06	ND	<0.01	ND	0.07

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume，水 693-824 L/ha

**：dilute spray volume，水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
なし	6.25% EC	Simcoe, ON, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7 7 6	99*	388*	果実	0	0.13	ND	<0.01	ND	0.14
								1	0.16	ND	<0.01	ND	0.17
								7	0.05	ND	<0.01	ND	0.06
								14	0.04	ND	<0.01	ND	0.05
					101**	397**	果実	0	0.17	ND	<0.01	ND	0.18
								1	0.18	ND	<0.01	ND	0.19
								7	0.12	ND	<0.01	ND	0.13
								14	0.05	ND	<0.01	ND	0.06
		Ottawa, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7	101*	400*	果実	0	0.38	ND	<0.01	ND	0.39
								1	0.29	ND	0.01	ND	0.30
								7	0.21	ND	<0.01	ND	0.22
								14	0.18	ND	0.01	ND	0.19
					100**	400**	果実	0	0.29	ND	<0.01	ND	0.30
								1	0.20	ND	<0.01	ND	0.21
								7	0.19	ND	<0.01	ND	0.20
								14	0.17	ND	0.01	ND	0.18

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha

**：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			フルキサピロキサド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
なし	6.25% EC	Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7	100*	400*	果実	0	0.13	ND	<0.01	ND	0.14
									0.11	ND	ND	ND	0.11
								1	0.08	ND	ND	ND	0.08
									0.08	ND	ND	ND	0.08
								7	0.05	ND	ND	ND	0.05
									0.07	ND	ND	ND	0.07
								14	0.05	ND	ND	ND	0.05
									0.04	ND	<0.01	ND	0.05
			-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7	101**	397**	果実	0	0.19	ND	<0.01	ND	0.20
									0.21	ND	<0.01	ND	0.22
								1	0.15	ND	ND	ND	0.15
									0.14	ND	ND	ND	0.14
								7	0.15	ND	ND	ND	0.15
									0.12	ND	ND	ND	0.12
								14	0.11	ND	ND	ND	0.11
									0.09	ND	ND	ND	0.09
		Madera, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7	101*	404*	果実	0	0.23	ND	<0.01	ND	0.24
								1	0.14	ND	ND	ND	0.14
								7	0.11	ND	<0.01	ND	0.12
								10	0.12	ND	<0.01	ND	0.13
								14	0.10	ND	<0.01	ND	0.11
					100**	399**	果実	0	0.22	ND	ND	ND	0.22
								1	0.19	ND	ND	ND	0.19
								7	0.04	ND	ND	ND	0.04
								10	0.14	ND	<0.01	ND	0.15
								14	0.06	ND	<0.01	ND	0.07

EC：乳剤
－：該当なし
全て地上散布。
*：concentrated spray volume, 水 693-824 L/ha
**：dilute spray volume, 水 1405-2065 L/ha
ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
なし	6.25% EC	Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7	100*	398*	果実	0	0.47	ND	ND	ND	0.47
								1	0.36	ND	ND	ND	0.36
								7	0.41	ND	<0.01	ND	0.42
								14	0.31	ND	<0.01	ND	0.32
					99**	395 **	果実	0	0.4	ND	ND	ND	0.40
								1	0.42	ND	ND	0.04	0.45
								7	0.42	ND	<0.01	ND	0.43
								14	0.26	ND	ND	ND	0.26
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			4	7	101*	400*	果実	0	0.22	ND	0.01	ND	0.23
								1	0.17	ND	<0.01	ND	0.18
								7	0.17	ND	0.02	ND	0.19
								14	ND	ND	<0.01	ND	0.01
					100 **	397 **	果実	0	0.23	ND	<0.01	ND	0.24
								1	0.2	ND	0.01	ND	0.21
								7	0.13	ND	0.01	ND	0.14
								14	0.09	ND	0.02	ND	0.11
		Hood River, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			4	7	109*	410*	果実	0	0.1	ND	0.01	ND	0.11
								1	0.09	ND	<0.01	ND	0.10
								7	0.04	ND	<0.01	ND	0.05
								14	0.03	ND	<0.01	ND	0.04
					111 **	414 **	果実	0	0.45	ND	0.01	ND	0.46
								1	0.09	ND	0.01	ND	0.10
								7	0.05	ND	0.01	ND	0.06
								14	0.02	ND	0.01	ND	0.03

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume，水 693-824 L/ha,

**：dilute spray volume，水 1405-2065 L/ha

ND:<0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
なたね	6.25% EC	Macon, GA, 米国	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	14	105	208	種子	21	0.11	ND	0.02	0.01	0.14
							種子	21	0.07	ND	0.01	<LOQ	0.09
		Portage la Prairie, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	14	100	198	種子	22	0.04	ND	<LOQ	<LOQ	0.05
							種子	22	0.03	ND	<LOQ	<LOQ	0.04
		RM 314, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	14	100	199	種子	21	0.13	<LOQ	0.02	<LOQ	0.17
							種子	21	0.18	ND	0.03	<LOQ	0.22
		Power, ID, 米国	-	-	-	-	種子	(14)	0.01	ND	ND	ND	-
			-	-	-	-	種子	(21)	ND	ND	ND	ND	-
			2	13	104	202	種子	14	0.29	ND	0.10	0.10	0.47
							種子	14	0.20	ND	0.08	0.04	0.31
							種子	18	0.27	ND	0.10	0.12	0.46
							種子	18	0.26	ND	0.10	0.10	0.44
							種子	21	0.11	ND	0.03	0.02	0.16
							種子	21	0.11	ND	ND	<LOQ	0.12
							種子	24	0.12	ND	0.02	0.02	0.16
							種子	24	0.12	ND	0.03	0.02	0.17
							種子	28	0.18	ND	0.04	0.03	0.25
							種子	28	0.19	ND	0.04	0.04	0.26
		RM 404, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	15	99	197	種子	14	0.21	ND	0.03	0.01	0.25
							種子	14	0.08	ND	0.01	<LOQ	0.10
							種子	19	0.15	ND	0.02	0.01	0.18
							種子	19	0.11	ND	0.01	<LOQ	0.13
							種子	21	0.14	ND	0.01	<LOQ	0.16
							種子	21	0.24	ND	0.02	0.01	0.27
							種子	25	0.81	ND	0.09	0.05	0.94
							種子	25	0.64	<LOQ	0.05	0.04	0.73
							種子	27	0.11	ND	0.02	0.01	0.14
							種子	27	0.18	ND	0.02	0.01	0.21

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

ND:<0.002 ppm

<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
なたね	6.25% EC	Franklin, ID, 米国	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	<0.01	-
			2	14	102	202	種子	21	0.02	ND	<LOQ	<LOQ	0.03
							種子	21	0.02	ND	<LOQ	<LOQ	0.03
		North Cypress, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	15	100	198	種子	22	0.02	ND	<LOQ	<LOQ	0.03
							種子	22	0.02	ND	<LOQ	<LOQ	0.03
		North Cypress, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	15	99	198	種子	22	0.02	ND	<LOQ	ND	0.03
							種子	22	0.01	ND	<LOQ	ND	0.02
		RM 404, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	15	99	198	種子	21	0.27	ND	0.02	0.02	0.31
							種子	21	0.18	ND	0.02	0.01	0.21
		RM 402, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	15	100	199	種子	21	0.19	ND	0.04	0.02	0.25
							種子	21	0.24	ND	0.04	0.02	0.30
		RM 402, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	15	100	199	種子	21	0.20	ND	0.03	0.03	0.26
							種子	21	0.24	ND	0.03	0.02	0.29
		Strathcona, AB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	種子	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			2	14	101	197	種子	21	0.09	ND	0.01	0.01	0.11
							種子	21	0.09	ND	0.01	<LOQ	0.11
		Strathcona, AB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	種子	-	0.06	ND	ND	ND	-
			2	15	103	200	種子	21	0.04	ND	<LOQ	<LOQ	0.05
							種子	21	0.12	ND	<LOQ	<LOQ	0.13
		Lamont, AB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	種子	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			2	14	101	202	種子	21	0.06	ND	<LOQ	<LOQ	0.07
							種子	21	0.04	ND	<LOQ	<LOQ	0.05
		Lamont, AB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	種子	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			2	14	103	205	種子	21	0.05	ND	<LOQ	<LOQ	0.06
							種子	21	0.05	<LOQ	<LOQ	<LOQ	0.07
		RM 434, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	14	100	200	種子	21	0.12	<LOQ	0.02	0.02	0.17
							種子	21	0.11	ND	0.02	0.01	0.14

EC：乳剤

－：該当なし

ND:<0.002 ppm

<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
ひまわり	6.25% EC	Portage la Prairie, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	<0.01	ND	-
			2	15	102	204	種子	21	0.02	ND	ND	ND	0.02
							種子	21	<LOQ	ND	ND	ND	0.01
		Rice, KS, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	種子	(14)	ND	ND	ND	ND	-
			-	-	-	-	種子	(21)	0.01	ND	ND	ND	-
			2	14	102	203	種子	14	0.06	ND	ND	ND	0.06
							種子	14	0.06	ND	ND	ND	0.06
							種子	18	0.02	ND	ND	ND	0.02
							種子	18	0.04	ND	ND	ND	0.04
							種子	21	<LOQ	ND	ND	ND	0.01
							種子	21	0.01	ND	ND	ND	0.01
							種子	24	0.04	ND	ND	ND	0.04
							種子	24	0.05	ND	ND	ND	0.05
							種子	28	0.03	ND	ND	ND	0.03
							種子	28	0.02	ND	ND	ND	0.02
		RM 314, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	種子	-	0.02	ND	ND	ND	-
			2	14	100	199	種子	21	0.15	ND	ND	ND	0.15
							種子	21	0.10	ND	ND	ND	0.10
		RM 314, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	種子	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			2	14	101	199	種子	21	0.09	ND	ND	ND	0.09
							種子	21	0.09	ND	ND	ND	0.09
		RM 283, SK, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	13	100	199	種子	21	0.06	ND	ND	ND	0.06
							種子	21	0.06	ND	ND	ND	0.06
		Hockley, TX, 米国	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	14	99	197	種子	21	0.10	ND	ND	ND	0.10
							種子	21	0.12	ND	ND	ND	0.12
		North Cypress, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	15	101	201	種子	21	0.01	ND	ND	ND	0.01
							種子	21	0.01	ND	ND	ND	0.01
		North Cypress, MB, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	種子	-	ND	ND	ND	ND	-
			2	15	101	202	種子	21	0.02	ND	ND	ND	0.02
							種子	21	0.02	ND	ND	ND	0.02

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
ND:<0.002 ppm
<LOQ:<0.01 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関：ABC Laboratories, Inc.（米国 ミズーリ州）												
稲	30% SC	Prairie, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	7	149-152	302	穀粒	28	0.62	<0.005	<0.01	<0.001
									0.59	<0.005	<0.01	<0.001
		Lonoke, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
			2	7	152-156	308	穀粒	28	0.34	<0.005	0.01	<0.01
									0.34	<0.005	<0.01	<0.01
		St. Landry Parish, LA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	7	151-157	308	穀粒	28	1.63	<0.005	0.02	<0.01
									1.71	<0.005	0.02	<0.01
		Rapides Parish, LA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	7	140-148	288	穀粒	28	1.32	<0.005	0.02	<0.01
									0.84	<0.005	0.03	<0.01
		Randolph, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	8	150-151	302	穀粒	28	0.80	<0.005	0.03	<0.01
									0.79	<0.005	0.03	<0.01
		Greene, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	8	147-156	302	穀粒	28	0.48	<0.005	0.02	<0.01
									0.46	<0.005	0.02	<0.01
		Clay, AR, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.01/<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	6	148-149	297	穀粒	0	5.36	<0.005	<0.01	<0.001
									5.20	<0.005	<0.01	<0.001
								14	0.56	<0.005	<0.01	<0.001
									0.65	<0.005	<0.01	<0.001
								28	0.46	<0.005	<0.01	<0.001
									0.71	<0.005	<0.01	<0.001
								30	0.55	<0.005	<0.01	<0.001
									0.56	<0.005	<0.01	<0.001
								36	0.61	<0.005	<0.01	<0.001
									0.46	<0.005	<0.01	<0.001
		Dunklin, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	8	148-149	297	穀粒	28	0.34	<0.005	<0.01	<0.001
									0.40	<0.005	<0.01	<0.001

SC：フロアブル剤

－：該当なし

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関：ABC Laboratories, Inc.（米国 ミズーリ州）												
稲	30% SC	Butler, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	8	150-151	302	穀粒	0	4.26	<0.005	<0.01	<0.001
									3.98	<0.005	<0.01	<0.001
								14	1.04	<0.005	<0.01	<0.001
									0.92	<0.005	<0.01	<0.001
								28	0.88	<0.005	<0.01	<0.001
									0.83	<0.005	<0.01	<0.001
								30	1.00	<0.005	<0.01	<0.001
									0.88	<0.005	<0.01	<0.001
								35	0.81	<0.005	0.01	<0.01
									0.74	<0.005	<0.01	<0.001
		Butler, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	7	151-155	306	穀粒	29	0.62	<0.005	0.01	<0.001
									0.58	<0.005	0.02	<0.001
		Dunklin, MO, 米国	-		-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	6	147-154	300	穀粒	28	0.29	<0.005	0.01	<0.001
									0.22	<0.005	0.01	<0.01
		Stoddard, MO, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	7	151-152	304	穀粒	28	0.91	<0.005	0.03	<0.01
									0.93	<0.005	0.03	<0.01
		Metagorda, TX, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	7	154-156	309	穀粒	28	0.93	<0.005	0.04	<0.01
									0.91	<0.005	0.04	<0.01
		Wharton, TX, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	7	148-154	302	穀粒	28	1.28	<0.005	0.03	<0.01
									1.04	<0.005	0.03	<0.01
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	6	147-148	296	穀粒	29	1.19	<0.005	0.02	<0.001
									1.24	<0.005	0.03	<0.001
		Sutter, CA, 米国	-	-	-	-	穀粒	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			2	7	148-149	297	穀粒	29	3.84	<0.005	<0.01	<0.001
									3.61	<0.005	<0.01	<0.001

SC：フロアブル剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

農作物	濃度、剤形)	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			フルキサピロキサド	F002	F008	F048
試験実施機関：GLP Technologies, Inc.（米国 テキサス州）、BASF S.A.（ブラジル　サンパウロ州）												
さとうきび	6.25% EC	Washington, LA, 米国	-	-	-	-	cane	-	<0.01	ND	ND	ND
			2	14	123	246	cane	14	0.05	<0.005	<0.002	<0.001
									0.05	<0.005	<0.002	<0.001
		Washington, LA, 米国	-	-	-	-	cane	-	ND	ND	ND	ND
			2	14	123	246	cane	14	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
									0.09	<0.005	<0.002	<0.001
		Washington, LA, 米国	-	-	-	-	cane	-	ND	ND	ND	ND
			2	14	123	246	cane	14	0.05	<0.005	<0.002	<0.001
									0.03	<0.005	<0.002	<0.001
		Raymondville, TX, 米国	-	-	-	-	cane	-	ND	ND	ND	ND
			2	14	123	246	cane	14	0.19	<0.005	<0.002	<0.001
									0.33	<0.005	<0.01	<0.001
		Homestead, FL, 米国	-	-	-	-	cane	-	ND	ND	ND	ND
			2	14	123	246	cane	14	0.30	<0.005	0.01	<0.001
									0.82	<0.005	0.02	<0.01
		Belle Glade, FL, 米国	-	-	-	-	cane	-	<0.01	ND	ND	ND
			2	14	123	246	cane	14	2.17	<0.005	<0.01	<0.001
									0.50	<0.005	0.02	<0.01
		Belle Glade, FL, 米国	-	-	-	-	cane	-	ND	ND	ND	ND
			2	14	123	246	cane	14	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
									<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
		Belle Glade, FL, 米国	-	-	-	-	cane	-	<0.01	ND	ND	ND
			2	14	123	246	cane	14	1.14	<0.005	0.04	<0.01
									0.32	<0.005	0.02	<0.001
			-	-	-	-	cane	-	<0.01	ND	ND	ND
			2	14	627-639	1266	cane	14	1.50	<0.005	0.10	0.01
									2.67	<0.005	<0.01	<0.001

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

LOD = 0.002 ppm (F002: 0.005 ppm, F008: 0.002 ppm, F048: 0.001 ppm)

ND = <LOD

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：American Agricultural Services, Inc.（米国 ノースカロライナ州）													
ラディッシュ	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	97.72-100.28	295.82	根	7	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.04
									0.05	<0.01	<0.01	<0.01	0.05
		Martin, FL, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	99.26-100.39	299.75	根	7	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.04
									0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.04
		Palm Beach, FL, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	99.62-100.36	299.89	根	7	0.03	<0.01	<0.01	<0.01	0.03
									0.03	<0.01	<0.01	<0.01	0.03
		Clinton, IL, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	6 7	100.61-101.25	302.54	根	7	0.09	<0.01	<0.01	<0.01	0.09
									0.1	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	100.15-100.91	301.22	根	7	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
									0.1	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
		Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	-
			3	7	97.72-100.28	295.82	葉	7	0.7	<0.01	0.3	0.3	1.2
									0.6	<0.01	0.3	0.3	1.1
		Martin, FL, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	99.26-100.39	299.75	葉	7	0.2	<0.01	0.2	0.3	0.6
									0.2	<0.01	0.2	0.3	0.6
		Palm Beach, FL, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	99.62-100.36	299.89	葉	7	0.2	<0.01	0.2	0.1	0.5
									0.1	<0.01	0.1	0.1	0.3
		Clinton, IL, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	-	<0.002	<0.002	-
			3	6 7	100.61-101.25	302.54	葉	7	4	<0.01	0.8	0.7	4.8
									4	<0.01	0.9	0.8	5.4
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	-	-	-	-
			3	7	100.15-100.91	301.22	葉	7	1	<0.01	0.5	0.3	1.7
									1	<0.01	0.5	0.3	1.7

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：American Agricultural Services, Inc.（米国 ノースカロライナ州）													
にんじん	6.25% EC	Hillsborough, FL, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	-	-	-	-
			3	7	100.18-102.40	304.97	根	7	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
									0.1	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
		Jefferson, IA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	99.07-102.33	301.67	根	7	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.04
									0.05	<0.01	<0.01	<0.01	0.05
		Caddo, OK, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	76	96.83-100.82	297.18	根	7	0.06	<0.01	<0.01	<0.01	0.06
									0.06	<0.01	<0.01	<0.01	0.06
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	根	-	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	101.31-102.18	304.8	根	7	0.5	<0.01	<0.01	<0.01	0.5
									0.5	<0.01	<0.01	<0.01	0.5
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	97.63-100.67	298.58	根	7	0.1	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
									0.1	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	-	-	-	-
			3	7	100.46-100.52	301.47	根	0	0.2	<0.01	<0.01	<0.01	0.2
									0.2	<0.01	<0.01	<0.01	0.2
								3	0.3	<0.01	<0.01	<0.01	0.3
									0.4	<0.01	<0.01	<0.01	0.4
								7	0.3	<0.01	<0.01	<0.01	0.3
									0.3	<0.01	<0.01	<0.01	0.3
								10	0.3	<0.01	<0.01	<0.01	0.3
									0.4	<0.01	<0.01	<0.01	0.4
								14	0.4	<0.01	<0.01	<0.01	0.4
									0.3	<0.01	<0.01	<0.01	0.3
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	根	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
			3	7	101.03-101.20	303.36	根	7	0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.04
									0.04	<0.01	<0.01	<0.01	0.04

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

合計残留濃度（ppm）＝ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ（ppm）＋2.352×F002＋1.038×F008＋0.720×F048

2.352＝分子量ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ/F002（381.3/162.1）

1.038＝分子量ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ/F008（381.3/367.3）

0.720＝分子量ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ/F048（381.3/529.4）

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関：SGS North America Inc.（米国ジョージア州）、BASF Corporation（米国 ノースカロライナ州）												
ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ	6.25% EC	Lebanon, OK, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	98-103	300	花蕾	0	1.10	<0.005	0.03	0.04
									1.89	<0.005	0.05	0.19
								1	1.68	<0.005	0.09	0.15
									2.13	<0.02	0.08	0.14
								3	1.45	<0.02	0.09	0.16
									0.99	<0.02	0.08	0.14
								5	0.86	<0.02	0.06	0.14
									1.09	<0.005	0.06	0.18
								7	0.85	<0.02	0.05	0.17
									0.86	<0.02	0.05	0.09
		Lompoc, CA, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	201-204	607	花蕾	0	0.53	<0.005	<0.01	<0.01
									0.45	<0.005	<0.01	<0.01
								3	0.28	<0.005	0.01	<0.01
									0.27	<0.005	0.01	0.01
		Lompoc, CA, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	201-205	610	花蕾	0	0.53	<0.02	<0.01	<0.01
									0.39	<0.005	<0.01	<0.01
								3	0.44	<0.005	0.02	0.01
									0.70	<0.005	0.03	0.01
		Grants Pass, OR, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	102-105	309	花蕾	0	0.38	<0.005	<0.01	<0.01
									0.52	<0.005	<0.01	<0.01
								3	0.37	<0.005	0.02	<0.01
									0.27	<0.005	0.01	<0.01

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関： SGS North America Inc.（米国ジョージア州）、BASF Corporation（米国 ノースカロライナ州）												
ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ	30% SC	Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	100-104	306	花蕾	0	0.22	<0.005	<0.002	<0.001
									0.23	<0.005	<0.01	<0.001
								3	0.12	<0.005	<0.002	<0.001
									0.05	<0.005	<0.01	<0.001
		Santa Maria, CA, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	101-105	308	花蕾	0	0.47	<0.005	<0.01	<0.001
									0.27	<0.005	<0.01	<0.001
								3	0.12	<0.005	<0.002	<0.001
									0.21	<0.005	<0.01	<0.01
		Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	101-103	305	花蕾	0	0.10	<0.02	<0.01	<0.01
									0.08	<0.005	<0.01	<0.01
								3	0.28	<0.005	<0.01	<0.01
									0.42	<0.005	0.01	<0.01
		Santa Maria, CA, 米国	-	-	-	-	花蕾	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	101-102	305	花蕾	0	0.50	<0.005	<0.01	<0.01
									0.48	<0.005	<0.01	<0.01
								3	0.11	<0.005	<0.01	<0.01
									0.09	<0.005	<0.01	<0.001

SC：フロアブル剤
－：該当なし
全て茎葉処理。

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関：SGS North America Inc.（米国ジョージア州）、BASF Corporation（米国 ノースカロライナ州）												
キャベツ	6.25% EC	Germansville, PA, 米国	-	-	-	-	*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	101-104	308	外葉あり結球	0	0.20	<0.005	<0.002	<0.01
									0.21	<0.005	<0.002	<0.01
							外葉なし結球	0	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
									0.04	<0.005	<0.002	<0.001
							外葉あり結球	3	0.14	<0.005	<0.002	<0.01
									0.13	<0.005	<0.002	<0.01
							外葉なし結球	3	0.04	<0.005	<0.002	<0.001
									0.04	<0.005	<0.002	<0.001
		Sycamore, GA, 米国	-	-	-	-	*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	101	303	外葉あり結球	0	0.15	<0.005	<0.002	<0.01
									0.13	<0.005	<0.002	<0.01
							外葉なし結球	0	<0.01	<0.005	<0.002	<0.01
									<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
							外葉あり結球	1	0.16	<0.02	<0.002	<0.01
									0.19	<0.005	<0.002	<0.01
							外葉なし結球	1	0.05	<0.005	<0.002	<0.01
									0.03	<0.005	<0.002	<0.001
							外葉あり結球	3	0.12	<0.005	<0.002	<0.01
									0.10	<0.005	<0.002	<0.01
							外葉なし結球	3	0.01	<0.005	<0.002	<0.01
									0.01	<0.005	<0.002	<0.01
							外葉あり結球	5	0.13	<0.005	<0.002	0.01
									0.13	<0.005	<0.002	0.01
							外葉なし結球	5	0.01	<0.005	<0.002	<0.001
									<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
							外葉あり結球	7	0.12	<0.005	<0.002	0.01
									0.12	<0.005	<0.002	<0.01
							外葉なし結球	7	0.01	<0.005	<0.002	<0.001
									0.01	<0.005	<0.002	<0.001

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
*: 外葉あり/なし結球

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関：SGS North America Inc.（米国ジョージア州）、BASF Corporation（米国 ノースカロライナ州）												
キャベツ	6.25% EC	Belle Glade, FL, 米国	-	-	-	-	1*	-	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
							2*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	6, 7	101	303	外葉あり結球	0	0.13	<0.005	<0.002	<0.001
									0.17	<0.005	<0.002	<0.001
							外葉なし結球	0	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
									0.01	<0.005	<0.002	<0.001
							外葉あり結球	3	0.09	<0.005	<0.002	<0.001
									0.05	<0.005	<0.002	<0.001
							外葉なし結球	3	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
									<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
		Deerfield, MI, 米国	-	-	-	-	*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	6, 7	101	303	外葉あり結球	0	0.34	<0.005	<0.01	<0.01
									0.43	<0.005	<0.01	<0.01
							外葉なし結球	0	0.04	<0.005	<0.002	<0.001
									0.04	<0.005	<0.002	<0.001
							外葉あり結球	3	0.12	<0.005	<0.01	<0.001
									0.09	<0.005	<0.002	<0.001
							外葉なし結球	3	0.04	<0.005	<0.002	<0.001
									0.05	<0.005	<0.002	<0.001
		Lebanon, OK, 米国	-	-	-	-	2*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	100-104	306	外葉あり結球	0	1.86	<0.005	0.02	0.02
									1.13	<0.005	0.02	0.02
							外葉なし結球	0	0.18	<0.005	<0.01	<0.01
									0.22	<0.005	<0.01	<0.01
							外葉あり結球	3	1.24	<0.005	0.02	0.02
									1.22	<0.005	0.02	0.02
							外葉なし結球	3	0.07	<0.005	<0.01	<0.001
									0.07	<0.005	<0.01	<0.001

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
1*: 外葉あり結球
2*: 外葉なし結球
*: 外葉あり/なし結球

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			フルキサピロキサド	F002	F008	F048
試験実施機関：SGS North America Inc. （米国ジョージア州）、BASF Corporation（米国 ノースカロライナ州）												
キャベツ	6.25% EC	Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	1*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
							2*		<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	203-204	610	外葉あり結球	0	0.13	<0.005	<0.01	<0.01
									0.18	<0.005	<0.002	<0.01
							外葉なし結球	0	0.02	<0.005	<0.002	<0.001
									0.03	<0.005	<0.002	<0.001
							外葉あり結球	3	0.07	<0.005	<0.002	<0.01
									0.07	<0.005	<0.002	<0.01
							外葉なし結球	3	0.01	<0.005	<0.002	<0.001
									0.01	<0.005	<0.002	<0.001
	30% SC	Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	1*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
							2*		<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	100-104	306	外葉あり結球	0	0.35	<0.005	<0.01	<0.01
								0	0.43	<0.005	<0.01	<0.01
							外葉なし結球	0	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
								0	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
							外葉あり結球	3	0.28	<0.005	<0.01	<0.01
								3	0.16	<0.005	<0.01	<0.01
							外葉なし結球	3	0.04	<0.005	<0.01	<0.001
								3	0.04	<0.005	<0.002	<0.001

EC：乳剤
SC；フロアブル剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
1*: 外葉あり結球
2*: 外葉なし結球

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関：SGS North America Inc.（米国ジョージア州）、BASF Corporation（米国ノースカロライナ州）												
ﾏｽﾀｰﾄﾞｸﾞﾘｰﾝ	6.25% EC	Sycamore, GA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	101	303	葉	0	4.80	<0.005	0.28	0.65
									4.29	<0.005	0.26	0.63
								1	3.10	<0.005	0.28	0.75
									2.37	<0.005	0.30	0.53
								3	1.80	<0.005	0.41	0.90
									1.63	<0.005	0.43	1.02
								5	1.04	<0.005	0.33	0.86
									0.95	<0.005	0.26	0.87
								7	0.80	<0.005	0.23	0.89
									0.85	<0.02	0.23	0.88
		Fisk, MO, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	101	303	葉	0	4.37	<0.02	0.10	0.38
									3.34	<0.02	0.10	0.41
								3	1.87	<0.005	0.34	0.44
									1.87	<0.02	0.38	0.45
		York, NE, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	102-106	310	葉	0	3.50	<0.005	0.12	0.10
									3.97	<0.005	0.12	0.07
								3	0.55	<0.005	0.19	0.19
									0.58	<0.005	0.18	0.17
		Pilot Point, TX, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	103-106	314	葉	0	7.08	<0.005	0.54	1.50
									6.54	<0.005	0.59	1.12
								3	0.51	<0.02	0.27	0.93
									0.44	<0.02	0.22	1.00
		Yuba City, CA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.005	<0.01	<0.001
			3	7, 8	101-102	305	葉	0	2.19	<0.005	0.09	0.14
									1.82	<0.005	0.07	0.13
								3	0.84	<0.005	0.21	0.21
									0.95	<0.005	0.24	0.23

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)		
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F008	F048
試験実施機関： SGS North America Inc.（米国ジョージア州）、BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）											
セロリ	6.25% EC	Gregory, MI, 米国	-	-	-	-	茎葉	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	202	606	茎葉	0	1.01	<0.002	<0.001
									1.36	<0.002	<0.001
								1	1.42	<0.002	<0.001
									1.45	<0.002	<0.001
		Belle Glade, FL, 米国	-	-	-	-	茎葉	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	6, 7	202	606	茎葉	0	1.81	<0.002	<0.001
									2.56	<0.002	<0.001
								1	1.02	<0.002	<0.001
									1.64	<0.002	<0.001
		Lompoc, CA, 米国	-	-	-	-	茎葉	-	<0.01	<0.002	<0.001
			3	7	202-205	611	茎葉	0	1.78	<0.002	<0.001
									3.16	<0.002	<0.001
								1	2.72	<0.002	<0.001
									2.64	<0.002	<0.001
		Lompoc, CA, 米国	-	-	-	-	茎葉	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	203-205	611	茎葉	0	4.39	<0.01	<0.001
									6.08	<0.01	<0.001
								1	4.78	<0.01	<0.001
									5.52	<0.01	<0.001
		Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	茎葉	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	202-204	609	茎葉	0	1.78	<0.002	<0.001
									1.20	<0.01	<0.001
								1	1.13	<0.01	<0.001
									1.85	<0.01	<0.001

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)		
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F008	F048
試験実施機関： SGS North America Inc.（米国ジョージア州）、BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）											
セロリ	6.25% EC	Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	茎葉	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	202-205	609	茎葉	0	1.85	<0.01	<0.001
									2.07	<0.01	<0.001
								1	1.70	<0.01	<0.001
									1.99	<0.01	<0.001
								3	1.35	<0.01	<0.001
									1.37	<0.01	<0.001
								5	1.14	<0.01	<0.001
									1.14	<0.002	<0.001
								7	1.09	<0.01	<0.001
									0.97	<0.01	<0.001
結球レタス	30% SC	Sycamore, GA, 米国	-	-	-	-	結球*	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	202	606	結球*	0	0.46	<0.002	<0.001
									0.43	<0.002	<0.001
								1	0.56	<0.002	<0.001
									0.45	<0.002	<0.001
		Belle Glade, FL, 米国	-	-	-	-	結球*	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	6, 7	202	606	結球*	0	0.38	<0.002	<0.001
									0.28	<0.002	<0.001
								1	0.10	<0.002	<0.001
									0.18	<0.002	<0.001
	6.25% EC	Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	結球*	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	202-203	608	結球*	0	1.87	<0.002	<0.001
									1.47	<0.01	<0.001
								1	0.74	<0.002	<0.001
									1.47	<0.002	<0.001
		Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	結球*	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	201-203	606	結球*	0	3.42	<0.01	<0.001
									3.58	<0.01	<0.001
								1	1.95	<0.01	<0.001
									1.89	<0.01	<0.001

EC：乳剤
SD：フロアブル剤
－：該当なし
全て茎葉処理。

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)		
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F008	F048
試験実施機関： SGS North America Inc.（米国ジョージア州）、BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）											
結球レタス	6.25% EC	Lompoc, CA, 米国	-	-	-	-	結球*	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	201-204	609	結球*	0	0.75	<0.002	<0.001
									0.82	<0.002	<0.001
								1	0.38	<0.002	<0.001
									0.55	<0.002	<0.001
		Orcutt, CA, 米国	-	-	-	-	結球*	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	202-203	608	結球*	0	2.57	<0.01	<0.001
									2.72	<0.01	<0.001
								1	1.90	<0.01	<0.001
									2.01	<0.01	<0.001
								3	0.48	<0.002	<0.001
									0.60	<0.01	<0.001
								5	0.46	<0.01	<0.001
									0.86	<0.01	<0.001
								7	0.15	<0.002	<0.001
									0.40	<0.01	<0.001
非結球レタス	30% SC	Sycamore, GA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	202	606	葉	0	9.20	0.05	<0.001
									9.53	0.07	<0.01
								1	6.46	0.05	<0.001
									5.90	0.03	<0.001
		Belle Glade, FL, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	6, 7	202	606	葉	0	3.79	0.10	<0.01
									4.12	0.12	<0.01
								1	4.21	0.11	<0.01
									2.42	0.08	<0.01
		Santa Maria, CA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	204	612	葉	0	4.35	0.04	<0.001
									4.33	0.04	<0.001
								1	2.76	0.04	<0.001
									4.24	0.04	<0.001

EC：乳剤
SC：フロアブル剤
－：該当なし
全て茎葉処理。　*: 外葉あり結球

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)		
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F008	F048
試験実施機関： SGS North America Inc.（米国ジョージア州）、BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）											
非結球レタス	30% SC	Santa Maria, CA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.01, <0.002	<0.002	<0.001
			3	7	201-203	604	葉	0	4.12	0.02	<0.001
									4.79	0.02	<0.001
								1	4.85	0.02	<0.001
									3.96	0.02	<0.001
		Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	7	201-205	609	葉	0	3.35	<0.01	<0.001
									3.01	<0.01	<0.001
								1	2.69	0.01	<0.001
									2.64	0.01	<0.001
								3	0.44	0.01	<0.001
									0.44	0.02	<0.001
								5	0.35	0.02	<0.001
									0.31	0.01	<0.001
								7	0.26	0.01	<0.001
									0.22	0.02	<0.001
		Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	葉	-	<0.002	<0.002	<0.001
			3	6, 7	202-211	616	葉	0	2.15	<0.01	<0.001
									2.11	<0.01	<0.001
								1	2.01	<0.01	<0.001
									1.91	<0.01	<0.001

SC：フロアブル剤
－：該当なし
全て茎葉処理。
*: 外葉あり結球

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）												
ｸﾞﾘｰﾝｵﾆｵﾝ	6.25% EC	Pilot Point, TX, 米国	-	-	-	-	全体*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	204-212	624	全体*	7	0.24	<0.005	<0.002	<0.001
									0.23	<0.005	<0.002	<0.001
		Yuba City, CA, 米国	-	-	-	-	全体*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	6, 7	202-204	609	全体*	7	0.38	<0.005	<0.002	<0.001
									0.73	<0.005	<0.002	<0.001
		Yuba City, CA, 米国	-	-	-	-	全体*	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	201-203	607	全体*	0	0.33	<0.005	<0.002	<0.001
									0.33	<0.005	<0.002	<0.001
								3	0.31	<0.005	<0.002	<0.001
									0.34	<0.005	<0.002	<0.001
								7	0.29	<0.005	<0.002	<0.001
									0.29	<0.005	<0.002	<0.001
								10	0.21	<0.005	<0.002	<0.001
									0.28	<0.005	<0.002	<0.001
								14	0.34	<0.005	<0.002	<0.001
									0.37	<0.005	<0.002	<0.001

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

*:根を除く全体。

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）												
たまねぎ	6.25% EC	Germansville, PA, 米国	-	-	-	-	鱗茎	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7, 6	208-210	628	鱗茎	7	0.19	<0.005	<0.002	<0.001
									0.13	<0.005	<0.01	<0.001
		Lebanon, OK, 米国	-	-	-	-	鱗茎	(0)	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
								(3)	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
								(7)	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
								(10)	0.01	<0.005	<0.002	<0.001
								(14)	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	208-212	628	鱗茎	0	0.18	<0.005	<0.002	<0.001
									0.21	<0.005	<0.002	<0.001
								3	0.17	<0.005	<0.002	<0.001
									0.15	<0.005	<0.002	<0.001
								7	0.21	<0.005	<0.002	<0.001
									0.25	<0.005	<0.002	<0.001
								10	0.09	<0.005	<0.002	<0.001
									0.06	<0.005	<0.002	<0.001
								14	0.13	<0.005	<0.002	<0.001
									0.14	<0.005	<0.002	<0.001
		Claude, TX, 米国	-	-	-	-	鱗茎	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	8, 7	202-277	685	鱗茎	7	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
									0.03	<0.005	<0.002	<0.001
		Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	鱗茎	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	199-202	602	鱗茎	7	0.16	<0.005	<0.002	<0.001
									0.16	<0.005	<0.002	<0.001
		Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	鱗茎	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	202-203	607	鱗茎	7	0.23	<0.005	<0.002	<0.001
									0.22	<0.005	<0.002	<0.001
		Malin, OR, 米国	-	-	-	-	鱗茎	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	203-206	613	鱗茎	7	0.28	<0.005	<0.002	<0.001
									0.26	<0.005	<0.002	<0.001

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）												
きゅうり	6.25% EC	Sycamore, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	202	606	果実	0	0.20	<0.005	<0.002	<0.001
									0.13	<0.005	<0.002	<0.001
								1	0.10	<0.005	<0.002	<0.001
									0.08	<0.02	<0.002	<0.001
								3	0.09	<0.005	<0.002	<0.001
									0.09	<0.02	<0.002	<0.001
								5	0.07	<0.005	<0.002	<0.001
									0.07	<0.02	<0.002	<0.001
								7	0.09	<0.02	<0.002	<0.001
									0.05	<0.02	<0.002	<0.001
		Sycamore, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	202	606	果実	0	0.10	<0.005	<0.002	<0.001
									0.06	<0.005	<0.002	<0.001
		Gainesville, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	202-224	606	果実	0	0.02	<0.005	<0.002	<0.001
									0.03	<0.005	<0.002	<0.001
		Deerfield, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7, 6	202	606	果実	0	0.12	<0.005	<0.002	<0.001
									0.19	<0.005	<0.002	<0.001
		Deerfield, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7, 6	202	606	果実	0	0.18	<0.005	<0.002	<0.001
									0.16	<0.005	<0.002	<0.001
		Madill, OK, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	6, 7	205-211	621	果実	0	0.25	<0.005	<0.002	<0.001
									0.22	<0.005	<0.002	<0.001

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）												
ｶﾝﾀﾛｰﾌﾟ	6.25% EC	Chula, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	202	606	果実	0	0.08	<0.005	<0.002	<0.001
									0.08	<0.005	<0.002	<0.001
		Deerfield, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	6, 7	202	606	果実	0	0.05	<0.005	<0.002	<0.001
									0.04	<0.005	<0.002	<0.001
		Madill, OK, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	6, 7	204-206	615	果実	0	0.25	<0.005	<0.002	<0.001
									0.22	<0.005	<0.002	<0.001
		Guadalupe, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	200-224	601	果実	0	0.18	<0.005	<0.002	<0.001
									0.24	<0.005	<0.002	<0.001
		Yuba City, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	203-204	610	果実	0	0.10	<0.005	<0.002	<0.001
									<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
		Yuba city, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	203-205	612	果実	0	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
									0.03	<0.005	<0.002	<0.001
								1	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
									0.03	<0.005	<0.002	<0.001
								3	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
									0.02	<0.005	<0.002	<0.001
								5	0.02	<0.005	<0.002	<0.001
									0.03	<0.005	<0.002	<0.001
								7	0.04	<0.005	<0.002	<0.001
									0.02	<0.005	<0.002	<0.001

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）												
ｻﾏｰｽｶｯｼｭ	6.25% EC	Germansville, PA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	8, 6	205-210	624	果実	0	0.11	<0.005	<0.002	<0.001
									0.16	<0.005	<0.002	<0.001
		Sycamore, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	202	606	果実	0	0.13	<0.005	<0.002	<0.001
									0.09	<0.005	<0.002	<0.001
								1	0.08	<0.005	<0.002	<0.001
									0.09	<0.005	<0.002	<0.001
								3	0.08	<0.005	<0.002	<0.001
									0.06	<0.005	<0.002	<0.001
								5	0.06	<0.005	<0.002	<0.001
									0.07	<0.005	<0.002	<0.001
								7	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
									0.02	<0.005	<0.002	<0.001
		Gainesville, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	202	606	果実	0	0.05	<0.005	<0.002	<0.001
									0.05	<0.005	<0.002	<0.001
		Deerfield, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7, 6	202	606	果実	0	0.05	<0.005	<0.002	<0.001
									0.08	<0.005	<0.002	<0.001
		Yuba City, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	202-204	606	果実	0	0.07	<0.005	<0.002	<0.001
									0.12	<0.005	<0.002	<0.001

EC：乳剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
チェリー	6.25% EC	Allegan, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	<0.01	ND	ND	-
			3	6	121-129 *	377 *	果実	0	1.05	ND	0.21	0.05	1.31
								1	1.10	ND	0.24	0.04	1.38
								7	0.32	ND	0.25	0.07	0.63
								14	0.09	ND	0.18	0.07	0.33
					119-129 **	377 **	果実	0	0.86	ND	0.25	0.05	1.16
								1	0.78	ND	0.25	0.06	1.09
								7	0.32	ND	0.23	0.09	0.63
								14	0.12	ND	0.16	0.10	0.36
		Niagara, ON, ｶﾅﾀﾞ	-		-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	8 6	125-127 *	378 *	果実	0	0.43	ND	0.17	<0.01	0.61
								1	0.55	ND	0.16	<0.01	0.72
								7	0.40	ND	0.19	0.01	0.61
								14	0.14	ND	0.26	<0.01	0.42
					124-126 **	374 **	果実	0	0.05	ND	0.17	0.03	0.25
								1	0.20	ND	0.30	0.05	0.55
								7	0.02	ND	0.11	0.06	0.18
								14	0.06	ND	0.14	0.10	0.28
		Ottawa, MI, 米国	-		-	-	果実	-	<0.01	ND	<0.01	ND	-
			3	6 7	125 *	375 *	果実	0	0.53	ND	0.17	<0.01	0.71
								1	0.51	ND	0.17	<0.01	0.69
								7	0.18	ND	0.23	<0.01	0.42
								14	0.59	ND	0.18	<0.01	0.78
				7	123-125 **	371 **	果実	0	0.34	ND	0.19	<0.01	0.54
								1	0.36	ND	0.17	<0.01	0.54
								7	0.12	ND	0.19	<0.01	0.32
								14	0.02	ND	0.16	<0.01	0.19

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume，水 463-930 L/ha

**：dilute spray volume，水 1116-2005 L/ha

ND: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI（日）	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			フルキサピロキサド	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
チェリー	6.25% EC	Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	<0.01	ND	-
			3	7	123-124 *	371 *	果実	0	0.82	<0.01	0.30	<0.01	1.15
								1	0.37	ND	0.24	<0.01	0.63
								7	0.12	ND	0.30	<0.01	0.44
								14	0.07	ND	0.28	<0.01	0.37
					124-125 **	373 **	果実	0	0.39	ND	0.22	<0.01	0.62
								1	0.41	<0.01	0.23	<0.01	0.66
								7	0.16	<0.01	0.29	<0.01	0.48
								14	0.14	<0.01	0.29	<0.01	0.46
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			3	7	125 *	374 *	果実	0	0.49	ND	0.16	0.08	0.72
								1	0.38	<0.01	0.17	0.07	0.62
								7	0.19	ND	0.23	0.08	0.49
								13	0.10	ND	0.16	0.11	0.35
					123 **	370 **	果実	0	0.56	ND	0.13	0.05	0.73
								1	0.49	ND	0.15	0.05	0.68
								7	0.33	ND	0.19	0.08	0.59
								13	0.30	ND	0.15	0.10	0.53
		Wasco, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			3	8 6	125-127 *	378 *	果実	0	0.19	ND	0.16	<0.01	0.36
								1	0.19	ND	0.18	ND	0.38
								7	0.08	ND	0.21	<0.01	0.30
								10	0.06	ND	0.26	<0.01	0.34
								14	0.04	ND	0.13	<0.01	0.18
					121-128 **	374 **	果実	0	0.31	ND	0.18	<0.01	0.50
								1	0.20	ND	0.19	<0.01	0.40
								7	0.18	ND	0.22	<0.01	0.41
								10	0.11	ND	0.22	<0.01	0.34
								14	0.05	ND	0.11	<0.01	0.17

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume，水 463-930 L/ha

**：dilute spray volume，水 1116-2005 L/ha

ND: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
もも	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			3	8 6	124-125 *	374 *	果実	0	0.37	ND	0.01	ND	0.38
								1	0.29	<0.01	0.02	ND	0.32
								7	0.07	ND	0.01	<0.01	0.09
								14	0.05	ND	0.01	ND	0.06
					124-126 **	375 **	果実	0	0.43	ND	0.01	ND	0.44
								1	0.43	ND	0.02	ND	0.45
								7	0.10	ND	0.02	ND	0.12
								14	0.08	ND	0.03	ND	0.11
		Tift, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	<0.01	ND	-
			3	7	124 *	372 *	果実	0	0.55	ND	0.02	0.01	0.58
								1	0.43	ND	0.03	0.01	0.47
								7	0.31	ND	0.04	0.03	0.38
								14	0.29	ND	0.03	0.04	0.35
					125-126 **	376 **	果実	0	0.42	ND	0.02	<0.01	0.45
								1	0.37	ND	0.02	<0.01	0.40
								7	0.29	<0.01	0.10	0.02	0.42
								14	0.30	ND	0.05	0.04	0.38
		Brooks, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7	124-126 *	376 *	果実	0	0.55	ND	0.06	ND	0.62
								1	0.29	ND	0.04	ND	0.33
								7	0.22	ND	0.08	<0.01	0.31
								14	0.11	ND	0.09	<0.01	0.21
					124-125 **	373 **	果実	0	0.18	ND	0.04	ND	0.22
								1	0.47	ND	0.06	ND	0.54
								7	0.57	ND	0.05	ND	0.62
								14	0.12	ND	0.05	<0.01	0.18

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

**：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
もも	6.25% EC	Lenawee, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7	123-126 *	374 *	果実	0	0.39	ND	0.02	<0.01	0.42
								1	0.45	ND	0.03	<0.01	0.49
								7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19
								14	0.16	ND	0.03	<0.01	0.20
					123-128 **	375 **	果実	0	0.33	ND	0.02	<0.01	0.36
								1	0.26	ND	0.02	ND	0.28
								7	0.15	ND	0.03	<0.01	0.19
								14	0.12	ND	0.03	<0.01	0.16
		Niagara, ON, ｶﾅﾀﾞ	-	-	-	-	果実	-	ND	<0.01	ND	ND	-
			3	7	120-129 *	378 *	果実	0	0.10	ND	<0.01	<0.01	0.11
								1	0.19	<0.01	<0.01	ND	0.21
								6	0.08	ND	0.01	ND	0.09
								13	0.07	<0.01	0.02	<0.01	0.11
					119-125 **	369 **	果実	0	0.26	<0.01	0.03	<0.01	0.31
								1	0.28	ND	0.02	<0.01	0.31
								6	0.26	<0.01	0.03	<0.01	0.31
								13	0.19	ND	0.04	<0.01	0.24
		Ottawa, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7	124-125 *	373 *	果実	0	0.29	ND	0.01	ND	0.30
								1	0.28	ND	0.01	<0.01	0.30
								7	0.21	ND	0.02	<0.01	0.24
								14	0.19	ND	0.02	<0.01	0.22
					124-125 **	373 **	果実	0	0.34	ND	<0.01	<0.01	0.35
								1	0.28	ND	0.01	<0.01	0.30
								7	0.15	ND	0.01	<0.01	0.17
								14	0.17	ND	0.02	<0.01	0.20

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

**：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
もも	6.25% EC	Marion, IL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			3	7	126-133 *	388 *	果実	0	0.17	<0.01	<0.01	ND	0.19
								1	0.24	ND	<0.01	ND	0.25
								7	0.08	<0.01	<0.01	ND	0.10
								14	0.08	ND	<0.01	ND	0.09
					125-128 **	378 **	果実	0	0.32	<0.01	0.01	ND	0.34
								1	0.21	<0.01	0.01	ND	0.23
								7	0.15	ND	0.01	ND	0.16
								14	0.08	<0.01	0.02	ND	0.11
		Pontotoc, OK, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	6 7	119-126 *	368 *	果実	0	0.44	ND	0.04	ND	0.48
								1	0.50	ND	0.04	ND	0.54
								7	0.33	ND	0.05	ND	0.38
								14	0.25	ND	0.06	<0.01	0.32
					118-124 **	365 **	果実	0	0.58	ND	0.08	ND	0.67
								1	0.42	ND	0.04	ND	0.46
								7	0.33	ND	0.04	ND	0.37
								14	0.26	ND	0.06	<0.01	0.33
		Kings, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	6 7	140-141 *	421 *	果実	0	0.59	ND	0.02	ND	0.61
								1	0.22	ND	0.02	ND	0.24
								7	0.13	ND	0.02	ND	0.15
								10	0.26	ND	0.02	ND	0.28
								14	0.08	ND	0.02	ND	0.10
					140-141 **	423 **	果実	0	0.63	ND	0.03	ND	0.66
								1	0.39	ND	0.03	ND	0.42
								7	0.23	ND	0.03	ND	0.26
								10	0.13	ND	0.03	ND	0.16
								14	0.14	ND	0.04	ND	0.18

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume，水 463-930 L/ha

**：dilute spray volume，水 1116-2005 L/ha

ND: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
もも	6.25% EC	Stanislaus, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	<0.01	-
			3	7	123-125 *	371 *	果実	0	0.30	ND	0.01	ND	0.31
								1	0.24	ND	0.01	ND	0.25
								7	0.20	ND	0.02	ND	0.22
								14	0.14	<0.01	0.02	<0.01	0.18
					124-125 **	374 **	果実	0	0.24	ND	0.01	ND	0.25
								1	0.33	ND	0.02	ND	0.35
								7	0.18	ND	0.01	<0.01	0.20
								14	0.14	ND	0.02	ND	0.16
		Madera, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7	125 *	375 *	果実	0	0.30	ND	0.01	<0.01	0.32
								1	0.18	ND	0.01	<0.01	0.20
								7	0.13	ND	0.02	<0.01	0.16
								10	0.08	ND	0.01	0.01	0.10
								14	0.09	ND	0.03	<0.01	0.13
					125-126 **	378 **	果実	0	0.26	ND	0.01	<0.01	0.28
								1	0.24	ND	0.01	<0.01	0.26
								7	0.24	ND	0.05	<0.01	0.30
								10	0.13	ND	0.02	<0.01	0.16
								14	0.12	ND	0.02	<0.01	0.15
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			3	7	125 *	375 *	果実	0	0.46	ND	0.03	<0.01	0.50
								1	0.55	ND	0.05	<0.01	0.61
								7	0.29	ND	0.03	<0.01	0.33
								14	0.19	ND	0.05	<0.01	0.25
					124-125 **	373 **	果実	0	0.57	ND	0.03	<0.01	0.61
								1	0.59	ND	0.04	<0.01	0.64
								7	0.34	ND	0.05	<0.01	0.40
								14	0.25	ND	0.06	0.01	0.32

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

**：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
プラム	6.25% EC	Wayne, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7 6	124-125 *	374 *	果実	0	0.95	ND	ND	ND	0.95
								1	0.32	ND	ND	ND	0.32
								7	0.46	ND	ND	ND	0.46
								14	0.43	ND	ND	ND	0.43
					126-129 **	382 **	果実	0	0.79	ND	ND	ND	0.79
								1	0.29	ND	ND	ND	0.29
								7	0.40	ND	ND	ND	0.40
								14	0.09	ND	ND	ND	0.09
		Allegan, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	6	121-131 *	379 *	果実	0	0.49	ND	ND	ND	0.49
								1	0.46	ND	ND	ND	0.46
								7	0.30	ND	<0.01	ND	0.31
								14	0.17	ND	ND	ND	0.17
					120-129 **	379 **	果実	0	0.42	ND	ND	ND	0.42
								1	0.34	ND	ND	ND	0.34
								7	0.26	ND	ND	ND	0.26
								14	0.20	ND	ND	ND	0.20
		Niagara, ON, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7	120-123 *	364 *	果実	0	0.20	ND	ND	ND	0.20
								1	0.17	ND	ND	ND	0.17
								7	0.11	ND	ND	ND	0.11
								14	0.09	ND	ND	ND	0.09
					121-122 **	365 **	果実	0	0.24	ND	ND	ND	0.24
								1	0.24	ND	ND	ND	0.24
								7	0.14	ND	ND	ND	0.14
								14	0.10	ND	0.01	ND	0.11

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

**：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
プラム	6.25% EC	Ottawa, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			3	7	123-124 *	370 *	果実	0	0.64	ND	ND	ND	0.64
								1	0.62	ND	ND	ND	0.62
								7	0.59	ND	ND	ND	0.59
								14	0.49	ND	ND	ND	0.49
					124-125 **	373 **	果実	0	0.44	ND	ND	ND	0.44
								1	0.42	ND	ND	ND	0.42
								7	0.49	ND	0.02	ND	0.51
								14	0.37	ND	<0.01	ND	0.38
		Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	ND	ND	-
			3	7	138-140 *	417 *	果実	0	0.37	ND	ND	ND	0.37
								1	0.38	ND	ND	ND	0.38
								7	0.29	ND	<0.01	ND	0.30
								10	0.26	ND	ND	ND	0.26
								14	0.26	ND	ND	ND	0.26
					140 **	420 **	果実	0	0.32	ND	ND	ND	0.32
								1	0.38	ND	ND	ND	0.38
								7	0.32	ND	ND	ND	0.32
								10	0.24	ND	ND	ND	0.24
								14	0.28	ND	ND	ND	0.28
		Stanislaus, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7	123-124 *	371 *	果実	0	0.48	ND	<0.01	ND	0.49
								1	0.47	ND	<0.01	ND	0.48
								7	0.53	ND	ND	ND	0.53
								14	0.51	ND	ND	ND	0.51
					124 **	372 **	果実	0	0.49	ND	ND	ND	0.49
								1	0.56	ND	<0.01	ND	0.57
								7	0.47	ND	ND	ND	0.47
								14	0.54	ND	ND	ND	0.54

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume，水 463-930 L/ha

**：dilute spray volume，水 1116-2005 L/ha

ND: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
プラム	6.25% EC	Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7	124-125 *	374 *	果実	0	0.20	ND	<0.01	ND	0.21
								1	0.18	ND	ND	ND	0.18
								7	0.23	ND	ND	ND	0.23
								14	0.09	ND	ND	ND	0.09
					125-126 **	378 **	果実	0	0.18	ND	ND	ND	0.18
								1	0.17	ND	ND	ND	0.17
								7	0.17	ND	ND	ND	0.17
								14	0.08	ND	ND	ND	0.08
		Madera, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7	125-128 *	379 *	果実	0	0.24	ND	<0.01	ND	0.25
								1	0.27	ND	ND	ND	0.27
								7	0.16	ND	ND	ND	0.16
								14	0.12	ND	<0.01	<0.01	0.13
					122-125 **	370 **	果実	0	0.14	ND	ND	ND	0.14
								1	0.13	ND	ND	ND	0.13
								7	0.13	ND	ND	ND	0.13
								14	0.12	ND	ND	ND	0.12
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	ND	ND	ND	ND	-
			3	7	123-125 *	373 *	果実	0	0.30	ND	<0.01	ND	0.31
								1	0.37	ND	0.02	ND	0.39
								7	0.15	ND	<0.01	ND	0.16
								14	0.20	ND	<0.01	<0.01	0.21
					123-125 **	371 **	果実	0	0.27	ND	<0.01	ND	0.28
								1	0.15	ND	<0.01	ND	0.16
								7	0.17	ND	<0.01	ND	0.18
								14	0.13	ND	<0.01	ND	0.14

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

**：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND: <0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）													
プラム	6.25% EC	Polk, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.01	ND	<0.01	ND	-
			3	7	124 - 127 *	377 *	果実	0	0.30	ND	<0.01	ND	0.31
								1	0.39	ND	ND	ND	0.39
								7	0.37	ND	ND	ND	0.37
								14	0.27	ND	<0.01	ND	0.28
					124 - 129 **	381 **	果実	0	0.31	ND	ND	ND	0.31
								1	0.55	ND	ND	ND	0.55
								7	0.48	ND	<0.01	ND	0.49
								14	0.29	ND	<0.01	ND	0.30

EC：乳剤

－：該当なし

全て地上散布。

*：concentrated spray volume, 水 463-930 L/ha

**：dilute spray volume, 水 1116-2005 L/ha

ND：<0.002 ppm

合計残留濃度（ppm）＝ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ（ppm）＋2.352×F002＋1.038×F008＋0.720×F048

2.352＝分子量ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ/F002（381.3/162.1）

1.038＝分子量ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ/F008（381.3/367.3）

0.720＝分子量ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ/F048（381.3/529.4）

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)				
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048	合計
試験実施機関：SGS Northe America Inc.（米国　ジョージア州）、BASF Agricultural Research Center（米国ノースカロライナ州）													
チェリー	6.25% EC	Fennville, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			3	7	124	372	果実	0	0.255	<LOQ	0.100	0.028	0.393
									0.250	<LOQ	0.074	0.023	0.132
								1	0.286	<LOQ	0.098	0.030	0.424
									0.204	<LOQ	0.085	0.026	0.325
								7	0.145	<LOQ	0.132	0.048	0.335
									0.177	<LOQ	0.167	0.052	0.406
		Hotchkiss, CO, 米国	-	-	-	-	果実	-	<LOD	<LOD	<LOD	<LOD	-
			3	7, 6	123-126	373	果実	0	1.932	<LOQ	0.417	0.022	2.381
									1.796	<LOQ	0.433	0.021	2.260
								1	1.029	<LOQ	0.344	0.024	1.407
									1.443	<LOQ	0.382	0.027	1.862
								7	0.817	<LOQ	0.519	0.045	1.391
									0.746	<LOQ	0.644	0.046	1.446

EC：乳剤
－：該当なし
全てエアブラスト散布。
LOQ = 0.01 ppm,
LOD = 0.002 ppm

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関：Eurofins Agroscience Services, Inc.（米国 ジョージア州）												
イチゴ	6.25% EC	New Tripoli, PA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	201-210	615	果実	0	0.23	<0.005	<0.01	<0.001
									0.19	<0.01	0.01	0.01
		Winter Garden, FL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	198-202	601	果実	0	2.17	<0.005	0.01	<0.001
									2.51	<0.005	0.02	<0.001
		Sparta, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	197-200	597	果実	0	0.28	<0.005	<0.002	<0.001
									0.24	<0.005	<0.002	<0.001
		Guadalup, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	206-210	624	果実	0	0.80	<0.005	<0.01	<0.001
									0.72	<0.005	<0.01	<0.001
		Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	197-202	599	果実	0	0.89	<0.005	<0.01	<0.001
									0.84	<0.005	<0.01	<0.001
								1	0.80	<0.005	<0.01	<0.001
									0.87	<0.005	<0.01	<0.001
								3	0.80	<0.005	<0.01	<0.001
									0.81	<0.005	<0.01	<0.001
								5	0.63	<0.005	<0.01	<0.001
									0.65	<0.005	<0.01	<0.001
								7	0.34	<0.005	<0.01	<0.001
									0.61	<0.005	<0.01	<0.001
		Hillsboro, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	199-202	603	果実	0	1.03	<0.005	<0.01	<0.001
									0.90	<0.005	<0.01	<0.001

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関：Eurofins Agroscience Services, Inc.（米国 ジョージア州）												
イチゴ	6.25% EC	Sorrento, FL, 米国					果実		<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	201-215	618	果実	0	0.67	<0.005	<0.01	<0.001
									0.85	<0.005	<0.01	<0.001
								1	0.64	<0.005	<0.01	<0.001
									0.59	<0.005	<0.01	<0.001
		Sanger, CA, 米国					果実		<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	195-204	600	果実	0	0.87	<0.005	<0.01	<0.001
									1.01	<0.005	<0.01	<0.001
								1	0.91	<0.005	<0.01	<0.001
									1.10	<0.005	0.0111	<0.01

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関： Eurofins Agroscience Services, Inc.（米国 ジョージア州）												
ﾌﾞﾙｰﾍﾞﾘｰ	6.25% EC	New Tripoli, PA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	195-203	599	果実	0	1.71	<0.005	<0.01	<0.001
									1.71	<0.005	<0.01	<0.001
		Oglethorpe, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	197-202	600	果実	0	2.17	<0.005	0.01	<0.001
									2.60	<0.005	0.02	<0.01
		Oglethorpe, GA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	199-202	601	果実	0	1.74	<0.005	<0.01	<0.001
									1.52	<0.005	<0.01	<0.001
								1	1.84	<0.005	<0.01	<0.01
									1.58	<0.005	<0.01	<0.01
								3	1.02	<0.005	<0.01	<0.01
									1.33	<0.005	0.01	<0.01
								5	0.80	<0.005	<0.01	<0.01
									1.01	<0.005	<0.01	<0.01
								7	0.59	<0.02	0.01	<0.01
									0.63	<0.005	<0.01	<0.01
		White Heath, IL, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	202-206	611	果実	0	3.90	<0.02	0.01	<0.01
									3.63	<0.005	<0.01	<0.01
		Fremont, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	199-201	600	果実	0	1.16	<0.005	<0.01	<0.001
									1.38	<0.005	<0.01	<0.001
		Hillsboro, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	199-203	604	果実	0	2.51	<0.005	0.02	<0.001
									2.32	<0.005	0.02	<0.001

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔(日)	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関： Eurofins Agroscience Services, Inc.（米国 ジョージア州）												
ﾌﾞﾗｯｸﾍﾞﾘｰ	6.25% EC	Hillsboro, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	198-203	600	果実	0	1.23	<0.005	<0.01	<0.001
									1.53	<0.005	<0.01	<0.001
ﾗｽﾞﾍﾞﾘｰ	6.25% EC	Conklin, MI, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	200-201	602	果実	0	1.25	<0.005	<0.01	<0.001
									0.86	<0.005	<0.002	<0.001
		Hillsboro, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	200-207	609	果実	0	2.05	<0.005	<0.01	<0.001
									1.91	<0.005	<0.01	<0.001
								1	1.42	<0.005	<0.01	<0.001
									1.84	<0.005	<0.01	<0.001
								3	1.07	<0.005	<0.01	<0.001
									1.08	<0.005	<0.01	<0.001
								5	1.03	<0.005	<0.01	<0.001
									1.09	<0.005	<0.01	<0.001
								7	0.59	<0.005	<0.01	<0.001
									0.73	<0.005	<0.01	<0.01

EC：乳剤
－：該当なし
全て茎葉処理。

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関：Eurofins Agroscience Services, Inc.（米国 ジョージア州）												
ぶどう	30% SC	Lehigh, PA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	10	199.5-204.3	606.6*	果実	0	0.29	<0.005	<0.002	<0.001
									0.24	<0.005	<0.002	<0.001
								1	0.21	<0.005	<0.002	<0.001
									0.28	<0.005	<0.002	<0.001
								7	0.18	<0.005	<0.002	<0.001
									0.17	<0.005	<0.002	<0.001
								14	0.11	<0.005	<0.002	<0.001
									0.14	<0.005	<0.002	<0.001
		Yates, NY, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	10, 11	200.6-201.0	602.6**	果実	0	0.89	<0.005	<0.002	<0.001
									0.84	<0.005	<0.002	<0.001
								1	0.69	<0.005	<0.002	<0.001
									0.62	<0.005	<0.002	<0.001
								7	0.80	<0.005	<0.002	<0.001
									0.70	<0.005	<0.002	<0.001
								14	0.41	<0.005	<0.002	<0.001
									0.78	<0.005	<0.002	<0.001
								21	0.81	<0.005	<0.002	<0.01
									0.61	<0.005	<0.002	<0.01
		Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	10	199.4-208.9	611.5*	果実	0	0.22	<0.005	<0.002	<0.001
									0.18	<0.005	<0.002	<0.001
								1	0.24	<0.005	<0.002	<0.001
									0.26	<0.005	<0.002	<0.001
								7	0.19	<0.005	<0.002	<0.001
									0.19	<0.005	<0.002	<0.001
								14	0.20	<0.005	<0.002	<0.001
									0.34	<0.005	<0.002	<0.001
								21	0.24	<0.005	<0.002	<0.001
									0.28	<0.005	<0.002	<0.001

SC：フロアブル剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

*：low volume treatment (187-935 L/ha, “concentrate”)

**：high volume treatment (935-3741 L/ha, “dilute”)

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関：Eurofins Agroscience Services, Inc.（米国 ジョージア州）												
ぶどう	30% SC	Fresno, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	10	200.5-202.7	604.9**	果実	0	1.67	<0.005	<0.01	<0.001
									1.23	<0.005	<0.01	<0.001
								1	1.45	<0.005	<0.01	<0.001
									1.52	<0.005	<0.002	<0.001
								7	1.66	<0.005	<0.01	<0.001
									1.34	<0.005	<0.01	<0.001
								14	1.31	<0.005	<0.01	<0.001
									1.40	<0.005	<0.01	<0.001
		Madera, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	10	203.9-207.1	615.8*	果実	0	0.20	<0.005	<0.002	<0.001
									0.22	<0.005	<0.002	<0.001
								1	0.18	<0.005	<0.002	<0.001
									0.14	<0.005	<0.002	<0.001
								7	0.12	<0.005	<0.002	<0.001
									0.13	<0.005	<0.002	<0.001
								14	0.13	<0.005	<0.002	<0.001
									0.09	<0.005	<0.002	<0.001
		Fresono, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	10	201.4-202.4	605.4**	果実	0	0.82	<0.005	<0.01	<0.001
									0.81	<0.005	<0.01	<0.001
								1	0.90	<0.005	<0.01	<0.001
									0.80	<0.005	<0.01	<0.001
								7	0.64	<0.005	<0.01	<0.01
									0.60	<0.005	<0.01	<0.001
								14	0.73	<0.005	<0.01	<0.01
									0.78	<0.005	<0.01	<0.01

SC：フロアブル剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

*：low volume treatment (187-935 L/ha, “concentrate”)

**：high volume treatment (935-3741 L/ha, “dilute”)

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関：Eurofins Agroscience Services, Inc.（米国 ジョージア州）												
ぶどう	30% SC	San Luis Obispo, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	11, 10	200.7-210.7	613.6*	果実	0	0.27	<0.005	<0.002	<0.001
									0.18	<0.005	<0.002	<0.001
								1	0.19	<0.005	<0.002	<0.001
									0.21	<0.005	<0.002	<0.001
								7	0.15	<0.005	<0.002	<0.001
									0.18	<0.005	<0.002	<0.001
								14	0.18	<0.005	<0.002	<0.001
									0.08	<0.005	<0.002	<0.001
		San Luis Obispo, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	14, 13	201.7-204.3	609.9**	果実	0	0.66	<0.005	<0.002	<0.001
									0.64	<0.005	<0.002	<0.001
								1	0.75	<0.005	<0.002	<0.001
									0.66	<0.005	<0.002	<0.001
								7	0.30	<0.005	<0.002	<0.001
									0.48	<0.005	<0.01	<0.001
								14	0.34	<0.005	<0.002	<0.001
									0.11	<0.005	<0.002	<0.001
		Tulare, CA, 米国					果実		<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	10	198.3-200.5	598.1*	果実	0	0.63	<0.005	<0.01	<0.001
									0.54	<0.005	<0.002	<0.001
								1	0.57	<0.005	<0.002	<0.001
									0.48	<0.005	<0.002	<0.001
								7	0.50	<0.005	<0.002	<0.001
									0.39	<0.005	<0.002	<0.001
								14	0.43	<0.005	<0.002	<0.001
									0.59	<0.005	<0.01	<0.001

SC：フロアブル剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

*：low volume treatment (187-935 L/ha, “concentrate”)

**：high volume treatment (935-3741 L/ha, “dilute”)

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関：Eurofins Agroscience Services, Inc.（米国 ジョージア州）												
ぶどう	30% SC	Tulare, CA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	10	198.7-200.6	599.7**	果実	0	0.46	<0.005	<0.01	<0.001
									0.43	<0.005	<0.01	<0.001
								1	0.48	<0.005	<0.01	<0.001
									0.38	<0.005	<0.01	<0.001
								7	0.42	<0.005	<0.01	<0.001
									0.43	<0.005	<0.01	<0.001
								14	0.28	<0.005	<0.01	<0.001
									0.26	<0.005	<0.01	<0.001
		Grant, WA, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	10	206.5-207.3	620.9**	果実	0	0.59	<0.005	<0.002	<0.001
									0.54	<0.005	<0.002	<0.001
								1	0.50	<0.005	<0.002	<0.001
									0.44	<0.005	<0.002	<0.001
								7	0.56	<0.005	<0.002	<0.001
									0.39	<0.005	<0.002	<0.001
								14	0.43	<0.005	<0.002	<0.001
									0.42	<0.005	<0.002	<0.001
		Washington, OR, 米国	-	-	-	-	果実	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	201.4-204.2	608.0*	果実	0	0.79	<0.005	<0.002	<0.001
									0.91	<0.005	<0.002	<0.001
								1	0.92	<0.005	<0.002	<0.001
									0.79	<0.005	<0.002	<0.001
								7	0.71	<0.005	<0.002	<0.001
									1.10	<0.005	<0.002	<0.001
								14	0.63	<0.005	<0.002	<0.001
									0.61	<0.005	<0.002	<0.001

SC：フロアブル剤

－：該当なし

全て茎葉処理。

*：low volume treatment (187-935 L/ha, “concentrate”)

**：high volume treatment (935-3741 L/ha, “dilute”)

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）												
アーモンド	6.25% EC	Strathmore, CA, 米国	-	-	-	-	ﾅｯﾂ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7, 8	122-127	372	ﾅｯﾂ	14	0.01	<0.005	<0.002	<0.001
									0.01	<0.005	<0.002	<0.001
								22	0.01	<0.005	<0.002	<0.001
									0.02	<0.005	<0.002	<0.001
								27	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
									0.01	<0.005	<0.002	<0.001
								32	0.02	<0.005	<0.002	<0.001
									0.01	<0.005	<0.002	<0.001
								38	0.02	<0.005	<0.002	<0.001
									0.02	<0.005	<0.002	<0.001
		Dinuba, CA, 米国	-	-	-	-	ﾅｯﾂ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	123-126	373	ﾅｯﾂ	14	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
									<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
		Poplar, CA, 米国	-	-	-	-	ﾅｯﾂ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7, 8	124-126	375	ﾅｯﾂ	13	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
									<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
		Wasco, CA, 米国	-	-	-	-	ﾅｯﾂ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	8, 6	124-126	374	ﾅｯﾂ	14	0.01	<0.005	<0.002	<0.001
									0.01	<0.005	<0.002	<0.001
		Buttonwillow, CA, 米国	-	-	-	-	ﾅｯﾂ	-	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	124-126	375	ﾅｯﾂ	14	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
									<0.01	<0.005	<0.002	<0.001

EC：乳剤
－：該当なし
全てエアブラスト散布。

農作物	濃度、剤形	試験実施場所(市,州,国)	回数	散布間隔（日）	最大処理量(g a.i./ha)		部位	PHI(日)	残留濃度(ppm)			
					1回当り	1作付け当り			ﾌﾙｷｻﾋﾟﾛｷｻﾄﾞ	F002	F008	F048
試験実施機関：BASF Agricultural Research Center（米国 ノースカロライナ州）												
ペカン	6.25% EC	Bailey, NC, 米国	-	-	-	-	ﾅｯﾂ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7, 6	124-127	377	ﾅｯﾂ	14	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
									<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
		Mystic, GA, 米国	-	-	-	-	ﾅｯﾂ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	120-128	372	ﾅｯﾂ	14	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
									<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
		Alexandria, LA, 米国	-	-	-	-	ﾅｯﾂ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	129-135	396	ﾅｯﾂ	14	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
									<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
		Pearsall, TX, 米国	-	-	-	-	ﾅｯﾂ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	123-124	372	ﾅｯﾂ	14	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
									<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
								20	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
									<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
								29	<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
									<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
								30	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
									<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
								37	<0.01	<0.02	<0.01	<0.01
									<0.01	<0.005	<0.002	<0.001
		Anton, TX, 米国	-	-	-	-	ﾅｯﾂ	-	<0.002	<0.005	<0.002	<0.001
			3	7	124-127	377	ﾅｯﾂ	14	0.03	<0.005	<0.002	<0.001
									0.03	<0.005	<0.002	<0.001

EC：乳剤
－：該当なし
全てエアブラスト散布。

＜別紙 4：畜産物残留試験（海外）＞

①ウシ

試料	試験日	休薬日数	フルキサピロキサド（mg/kg）				
			1 群 対照	2 群 通常量 EU	3 群 通常量 US	4 群 3 倍量 US	5 群 10 倍量 US
乳汁	-1	0	ND	ND	ND	ND	ND
	1	0	ND	<0.001 (<0.001)	0.00114 (0.00141)	0.00280 (0.00300)	0.0103 (0.0218)
	3	0	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	0.00167 (0.00280)	0.00378 (0.00433)	0.0144 (0.0253)
	5	0	ND	0.00101 (0.00104)	0.00181 (0.00289)	0.00405 (0.00480)	0.0132 (0.0275)
	7	0	ND	<0.001 (<0.001)	0.00167 (0.00281)	0.00517 (0.00631)	0.0146 (0.0265)
	10	0	ND	<0.001 (<0.001)	0.00186 (0.00295)	0.00446 (0.00457)	0.0154 (0.0374)
	14	0	ND	0.00109 (0.00128)	0.00152 (0.00252)	0.00360 (0.00462)	0.0123 (0.0295)
	17	0	ND	<0.001 (<0.001)	0.00153 (0.00259)	0.00389 (0.00442)	0.0130 (0.0271)
	21	0	<0.001 (<0.001)	0.00111 (0.00132)	0.00144 (0.00212)	0.00450 (0.00601)	0.0129 (0.0282)
	24	0	ND	0.00103 (0.00109)	0.00161 (0.00260)	0.00467 (0.00485)	0.0153 (0.0254)
	28	0	ND	0.00111 (0.00132)	0.00183 (0.00321)	0.00413 (0.00454)	0.0146 (0.0234)
	29	1	－	－	－	－	0.00409 (0.00565)
	30	2	－	－	－	－	0.00109 (0.00115)
	32	4	－	－	－	－	ND
	34	6	－	－	－	－	ND
	35	7	－	－	－	－	ND
脱脂乳　（21 日）			<0.001 (0.001)	<0.001 (0.001)	<0.001 (0.001)	<0.001 (0.001)	0.00234 (0.00526)
乳脂　（21 日）			<0.001 (0.001)	0.00577 (0.00703)	0.00432 (0.00541)	0.0313 (0.0564)	0.135 (0.334)

数値上段は平均値、下段（　）内は個体別最大値、ND：検出下限未満（<0.000153 mg/kg）、
－：試料なし

試料	試験日	休薬日数	代謝物 008（mg/kg）				
			1 群 対照	2 群 通常量 EU	3 群 通常量 US	4 群 3 倍量 US	5 群 10 倍量 US
乳汁	-1	0	ND	ND	ND	ND	ND
	1	0	ND	0.00105 (0.00115)	0.00120 (0.00160)	0.00295 (0.00349)	0.0108 (0.0153)
	3	0	ND	0.00118	0.00148	0.00336	0.0143

				(0.00134)	(0.00245)	(0.00398)	(0.0227)
	5	0	ND	0.00122 (0.00143)	0.00177 (0.00261)	0.00389 (0.00454)	0.0128 (0.0225)
	7	0	ND	0.00124 (0.00142)	0.00164 (0.00268)	0.00460 (0.00534)	0.0160 (0.0260)
	10	0	ND	0.00108 (0.00124)	0.00157 (0.00228)	0.00400 (0.00532)	0.0129 (0.0228)
	14	0	ND	0.00102 (0.00107)	0.00130 (0.00175)	0.00251 (0.00352)	0.00973 (0.0114)
	17	0	ND	0.00104 (0.00112)	0.00133 (0.00198)	0.00315 (0.00437)	0.0118 (0.0165)
	21	0	ND	0.00104 (0.00113)	0.00124 (0.00171)	0.00346 (0.00408)	0.0108 (0.0168)
	24	0	ND	0.00138 (0.00170)	0.00163 (0.00251)	0.00395 (0.00488)	0.0147 (0.0261)
	28	0	ND	0.00146 (0.00170)	0.00160 (0.00251)	0.00325 (0.00436)	0.0157 (0.0290)
	29	1	－	－	－	－	0.00494 (0.00905)
	30	2	－	－	－	－	0.00132 (0.00196)
	32	4	－	－	－	－	ND
	34	6	－	－	－	－	ND
	35	7	－	－	－	－	ND
脱脂乳　(21 日)			<0.001 (0.001)	<0.001 (0.001)	<0.001 (0.001)	0.00132 (0.00178)	0.00370 (0.00479)
乳脂　(21 日)			<0.001 (0.001)	0.00365 (0.00522)	0.00287 (0.00493)	0.0160 (0.0198)	0.0721 (0.0984)

数値上段は平均値、下段（　）内は個体別最大値、ND：検出下限未満(<0.000232 mg/kg)、
－：試料なし

試料	試験日	休薬日数	代謝物 002（mg/kg）				
			1 群 対照	2 群 通常量 EU	3 群 通常量 US	4 群 3 倍量 US	5 群 10 倍量 US
乳汁	-1	0	ND	ND	ND	ND	ND
	1	0	ND	ND	ND	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)
	3	0	ND	<0.001 (<0.001)	ND	ND	<0.001 (<0.001)
	5	0	ND	ND	ND	ND	<0.001 (<0.001)
	7	0	<0.001 (<0.001)	ND	ND	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)
	10	0	ND	ND	ND	ND	<0.001 (<0.001)
	14	0	ND	ND	ND	ND	<0.001[1)] (<0.001[1)])
	17	0	ND	ND	ND	ND	<0.001

							(<0.001)
	21	0	ND	ND	ND	ND	<0.001 (<0.001)
	24	0	ND	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)
	28	0	ND	ND	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001[1)] (<0.001[1)])
	29	1	－	－	－	－	<0.001 (<0.001)
	30	2	－	－	－	－	ND
	32	4	－	－	－	－	ND
	34	6	－	－	－	－	ND
	35	7	－	－	－	－	ND
脱脂乳 （21 日）			<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)
乳脂 （21 日）			<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)	<0.001 (<0.001)

数値上段は平均値、下段（ ）内は個体別最大値、
ND：非検出又は検出下限未満(<0.0000487 mg/kg)、－：試料なし、
1)：改良法による再分析結果を含む

試験群		休薬日数	フルキサピロキサド（mg/kg）			
			筋肉	肝臓	腎臓	脂肪
1	対照群	0	ND	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
2	通常量 EU	0	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.0105 (0.0108)
3	通常量 US	0	<0.01 (<0.01)	0.0128 (0.0145)	<0.01 (<0.01)	0.0193 (0.0241)
4	3 倍量 US	0	<0.01 (<0.01)	0.0308 (0.0317)	<0.01 (<0.01)	0.0447 (0.0585)
5	10 倍量 US	0	0.0108 (0.0124)	0.0846 (0.0939)	0.0143 (0.0192)	0.147 (0.171)
		2	ND	<0.01	<0.01	<0.01
		5	ND	ND	<0.01	<0.01
		7	ND	ND	<0.01	<0.01

数値上段は平均値、下段（ ）内は個体別最大値、ND：非検出又は検出下限未満

試験群		休薬日数	代謝物 008（mg/kg）			
			筋肉	肝臓	腎臓	脂肪
1	対照群	0	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
2	通常量 EU	0	<0.01 (<0.01)	0.0229 (0.0318)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
3	通常量 US	0	<0.01 (<0.01)	0.0379 (0.0513)	0.0105 (0.0114)	<0.01 (<0.01)
4	3 倍量	0	<0.01	0.0875	0.0166	0.0246

	US		(<0.01)	(0.111)	(0.0213)	(0.0321)
5	10 倍量 US	0	0.0244 (0.0314)	0.255 (0.347)	0.0504 (0.0757)	0.108 (0.125)
		2	ND	<0.01	<0.01	<0.01
		5	ND	<0.01	<0.01	<0.01
		7	ND	<0.01	<0.01	<0.01

数値上段は平均値、下段（ ）内は個体別最大値、ND：非検出又は検出下限未満

試験群		休薬日数	代謝物 002（mg/kg）			
			筋肉	肝臓	腎臓	脂肪
1	対照群	0	ND	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
2	通常量 EU	0	ND	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
3	通常量 US	0	ND	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
4	3 倍量 US	0	ND	ND	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
5	10 倍量 US	0	ND[1)]	ND[1)]	<0.01[1)] (<0.01[1)])	<0.01[1)] (<0.01[1)])
		2	ND	ND	<0.01	<0.01
		5	ND	ND	<0.01	<0.01
		7	ND	ND	<0.01	<0.01

数値上段は平均値、下段（ ）内は個体別最大値、ND：非検出又は検出下限未満、
1)：改良法による再分析結果を含む

②ニワトリ

試料	試験日	休薬日数	フルキサピロキサド（mg/kg）				
			1 群 1) 対照	2 群 通常量 US	3 群 通常量 EU	4 群 3 倍量 EU	5 群/6 群 2) 10 倍量 EU
鶏卵	-1	0	ND	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	<LOQ (0.00168)
	1	0	ND	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00248 (0.00327)
	3	0	ND	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00143 (0.00179)	0.00294 (0.00376)
	5	0	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00135 (0.00159)	0.00648 (0.0124)
	7	0	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00128 (0.00148)	0.00529 (0.00543)
	9	0	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00143 (0.00180)	0.00432 (0.00585)
	13	0	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (0.00170)	0.00122 (0.00131)	0.00299 (0.00348)
	16	0	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00109 (0.00127)	0.0413 (0.0474)
	20	0	<LOQ	ND	<LOQ	0.00166	0.00396

			(<LOQ)		(<LOQ)	(0.00211)	(0.00538)
	23	0	<LOQ (<LOQ)	0.00143 (0.00212)	0.00170 (0.00309)	0.00196 (0.00269)	0.00453 (0.00643)
	27	0	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00277 (0.00451)	0.00432 (0.00585)
	27	0	−	−	−	−	0.00413 (0.00589)
	28	0	<LOQ	−	−	−	0.00363 (0.00441)
	30	2	ND	−	−	−	0.00158 (0.00165)
	32	4	ND	−	−	−	<LOQ (<LOQ)
	34	8	ND	−	−	−	<LOQ (<LOQ)
	36	10	ND	−	−	−	ND
	38	12	ND	−	−	−	ND
	40	14	ND	−	−	−	ND
	41	15	ND	−	−	−	ND

数値上段は群平均値、下段（ ）内は亜群別最大値、
ND：検出下限未満(<0.000191 mg/kg) 、LOQ：定量下限(0.001 mg/kg)、－：試料なし
1)：休薬期間(6 群)の対照 4 例（28～41 日）を含む、2)：5 群は-1～27 日、6 群は 27～41 日

試料	試験日	休薬日数	代謝物 008（mg/kg）				
			1 群 1) 対照	2 群 通常量 US	3 群 通常量 EU	4 群 3 倍量 EU	5 群/6 群 2) 10 倍量 EU
鶏卵	-1	0	ND	ND	ND	ND	ND
	1	0	ND	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00101 (0.00104)	0.00339 (0.00626)
	3	0	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00251 (0.00307)	0.00593 (0.00898)
	5	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00121 (0.00125)	0.00427 (0.00490)	0.0127 (0.0184)
	7	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00142 (0.00168)	0.00408 (0.00441)	0.0115 (0.0143)
	9	0	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (<LOQ)	0.00425 (0.00518)	0.0122 (0.0132)
	13	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00128 (0.00148)	0.00379 (0.00400)	0.00895 (0.0138)
	16	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00166 (0.00207)	0.00307 (0.00375)	0.0106 (0.0123)
	20	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00130 (0.00152)	0.00477 (0.00545)	0.00854 (0.0140)
	23	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00107 (0.00110)	0.00435 (0.00485)	0.00862 (0.0118)
	27	0	ND	<LOQ (<LOQ)	0.00111 (0.00119)	0.00412 (0.00520)	0.0122 (0.0132)

	27	0	－	－	－	－	0.0114 (0.0147)
	28	0	ND	－	－	－	0.0111 (0.0127)
	30	2	ND	－	－	－	0.00720 (0.00811)
	32	4	ND	－	－	－	0.00447 (0.00518)
	34	6	ND	－	－	－	0.00118 (0.00126)
	36	8	ND	－	－	－	<LOQ (<LOQ)
	38	12	ND	－	－	－	ND
	40	14	ND	－	－	－	ND
	41	15	ND	－	－	－	ND

数値上段は群平均値、下段（ ）内は亜群別最大値、
ND：検出下限未満(<0.000142 mg/kg) 、LOQ：定量下限(0.001 mg/kg)、－：試料なし
1)：休薬期間(6 群)の対照 4 例（28～41 日）を含む、2)：5 群は-1～27 日、6 群は 27～41 日

試料	試験日	休薬日数	代謝物 002（mg/kg）				
			1 群 1) 対照	2 群 通常量 US	3 群 通常量 EU	4 群 3 倍量 EU	5 群/6 群 2) 10 倍量 EU
鶏卵	-1	0	ND	<LOQ (<LOQ)	<LOQ (0.00100)	ND	<LOQ (<LOQ)
	1	0	ND	ND	ND	ND	ND
	3	0	ND	ND	ND	ND	ND
	5	0	ND	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	ND
	7	0	<LOQ (<LOQ)	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	<LOQ (<LOQ)
	9	0	ND	ND	ND	ND	<LOQ (<LOQ)
	13	0	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	ND	<LOQ (<LOQ)
	16	0	<LOQ (<LOQ)	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	<LOQ (<LOQ)
	20	0	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	ND	<LOQ (<LOQ)
	23	0	ND	<LOQ (<LOQ)	ND	ND	<LOQ (<LOQ)
	27	0	ND	ND	ND	<LOQ (<LOQ)	ND
	27	0	－	－	－	－	<LOQ (<LOQ)
	28	0	<LOQ	－	－	－	ND
	30	2	ND	－	－	－	ND
	32	4	ND	－	－	－	ND

	34	6	ND	－	－	－	<LOQ (<LOQ)
	36	8	ND	－	－	－	ND
	38	12	ND	－	－	－	ND
	40	14	ND	－	－	－	ND
	41	15	ND	－	－	－	ND

数値上段は群平均値、下段（ ）内は亜群別最大値、
ND：検出下限未満(<0.000107 mg/kg) 、LOQ：定量下限(0.001 mg/kg)、－：試料なし
1)：休薬期間(6 群)の対照 4 例（28～41 日）を含む、2)：5 群は-1～27 日、6 群は 27～41 日

試験群		休薬日数	フルキサピロキサド（mg/kg）			
			筋肉	肝臓	皮膚(皮下脂肪を含む)	脂肪
1	対照群	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
2	通常量 US	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
3	通常量 EU	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
4	3 倍量 EU	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
5	10 倍量 EU	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.0251 (0.0278)
6	10 倍量 EU	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	対照		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

数値上段は平均値、下段（ ）内は個体別最大値

試験群		休薬日数	代謝物 008（mg/kg）			
			筋肉	肝臓	皮膚(皮下脂肪を含む)	脂肪
1	対照群	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
2	通常量 US	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
3	通常量 EU	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
4	3 倍量 EU	0	<0.01 (<0.01)	0.0104 (0.0111)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
5	10 倍量 EU	0	<0.01 (<0.01)	0.0143 (0.0184)	<0.01 (<0.01)	0.141 (0.157)
6	10 倍量 EU	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	対照		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

数値上段は平均値、下段（ ）内は個体別最大値

試験群		休薬日数	代謝物 002（mg/kg）			
			筋肉	肝臓	皮膚(皮下脂肪を含む)	脂肪
1	対照群	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
2	通常量 US	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
3	通常量 EU	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
4	3 倍量 EU	0	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)
5	10 倍量 EU	0	<0.01[1)] (<0.01 [1)])	<0.01[1)] (<0.01 [1)])	<0.01[1)] (<0.01 [1)])	<0.01[1)] (<0.01 [1)])
6	10 倍量 EU	3	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		7	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
		14	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
	対照		<0.01	<0.01	<0.01	<0.01

数値上段は平均値、下段（ ）内は個体別最大値

1)：改良法による再分析結果を含む

＜参照＞

1. 農薬抄録フルキサピロキサド（平成 24 年 7 月 2 日改訂）：BASF ジャパン株式会社、一部公表
2. ^{14}C-標識体のラットにおける動態試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
3. ^{14}C-標識体のラットにおける生体内代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
4. ^{4}C-標識体のヤギにおける動態試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
5. ^{4}C-標識体のヤギにおける生体内代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
6. 産卵鶏における吸収、分布、排泄および排泄試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
7. 産卵鶏における代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
8. ^{14}C-標識体のトマトにおける代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
9. ^{14}C-標識体の大豆茎葉処理における代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
10. ^{14}C-標識体の小麦茎葉処理における代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
11. ^{14}C-標識体の小麦種子処理における代謝試験（GLP 対応）：BASF 農薬研究所、2009 年、未公表
12. 好気的土壌中動態試験（GLP 対応）：BASF SE、2009 年、未公表
13. 好気的土壌中動態試験（GLP 対応）：BASF SE、2009 年、未公表
14. 好気的土壌中分解速度試験（GLP 対応）：BASF SE、2009 年、未公表
15. 好気的土壌中動態試験（GLP 対応）：BASF SE、2009 年、未公表
16. 土壌吸脱着試験（GLP 対応）：BASF SE、2009 年、未公表
17. 加水分解動態試験（GLP対応）：BASF SE、2009年、未公表
18. 水中光分解試験（緩衝液）（GLP対応）：BASF SE、2009年、未公表
19. 水中光分解試験（自然水）（GLP対応）：BASF SE、2010年、未公表
20. 泌乳牛における乳汁および組織中残留試験（GLP対応）：Charles River、2009年、未公表
21. 産卵鶏における卵および組織中残留試験（GLP対応）：Charles River、2010年、未公表
22. BAS700Fのマウスおよびラットにおける毒性薬理試験ラットにおける急性経口毒性試験（GLP対応）：食品農医薬品安全性評価センター、2010年、未公表
23. ラットを用いた急性経口毒性試験（GLP対応）：Centre International de Toxicologie、2008年、未公表

24. ラットを用いた急性経皮毒性試験（GLP対応）：Centre International de Toxicologie、2008年、未公表
25. ラットを用いた粉塵ダストによる急性吸入毒性試験（GLP対応）：Bioassay GmbH、2008年、未公表
26. ラットにおける急性経口毒性試験（GLP対応）：Bioassay GmbH、2009年、未公表
27. ラットにおける急性経口毒性試験（GLP対応）：Bioassay GmbH、2009年、未公表
28. ラットにおける急性経口毒性試験（GLP対応）：Bioassay GmbH、2009年、未公表
29. Wistar系ラットを用いた急性経口神経毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
30. ウサギを用いた皮膚刺激性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2006年、未公表
31. ウサギを用いた眼刺激性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2008年、未公表
32. モルモットを用いた皮膚感作性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2008年、未公表
33. ラットを用いた90日間反復経口投与毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
34. マウスを用いた90日間反復経口投与毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
35. ビーグル犬を用いた90日間反復経口投与毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
36. ラットを用いた90日間反復経口投与神経毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
37. ビーグル犬を用いた12カ月間反復経口投与慢性毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
38. マウスを用いた18カ月間反復経口投与発癌性併合試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、2010年（改訂版）、未公表
39. ラットを用いた12カ月間および24カ月間反復経口投与慢性毒性・発癌性併合試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
40. ラットを用いた2世代繁殖毒性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
41. ラットを用いた催奇形性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
42. ウサギを用いた催奇形性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
43. 細菌を用いた復帰突然変異試験：Ames試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2008年、未公表
44. 細菌を用いた復帰突然変異試験：Ames試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、

2009年、未公表
45. チャイニーズハムスター卵巣細胞（CHO-K1細胞株）を用いた遺伝子突然変異試験：HPRT試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2007年、未公表
46. チャイニーズハムスター卵巣細胞（CHO-K1細胞株）を用いた遺伝子突然変異試験：HPRT試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
47. チャイニーズハムスターV79細胞を用いた*in vitro*染色体異常誘発性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
48. チャイニーズハムスターV79細胞を用いた*in vitro*染色体異常誘発性試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2008年、未公表
49. 経口投与によるマウス骨髄細胞小核試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2006年、未公表
50. 腹腔内投与によるマウス骨髄細胞小核試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
51. 経口投与ラットの肝細胞を用いた*in vivo*不定期DNA合成試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2008年、未公表
52. 静脈内投与ラットの肝細胞を用いた*in vivo*不定期DNA合成試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
53. 細菌を用いた復帰突然変異試験：Ames試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
54. 細菌を用いた復帰突然変異試験：Ames試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2007年、未公表
55. 細菌を用いた復帰突然変異試験：Ames試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
56. ラットを用いた肝酵素誘導試験（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
57. ラットを用いた甲状腺機能試験（パークロレート放出試験）（GLP対応）：BASF毒性研究所、2009年、未公表
58. ラットを用いた肝細胞増殖反応曲線：S期反応試験-1（GLP対応）：BASF毒性研究所、2010年、未公表
59. ラットを用いた肝細胞増殖反応曲線：S期反応試験-2（GLP対応）：BASF毒性研究所、2010年、未公表
60. ラットを用いた肝細胞増殖反応曲線：S期反応試験-3（GLP対応）：BASF毒性研究所、2010年、未公表
61. US EPA：Pesticide Fact Sheet　Fluxapyroxad（2012）
62. EFSA：Conclusion on the peer review of the pesticide risk assessment of the active substance fluxapyroxad（2012）

63. 食品健康影響評価について（平成 24 年 8 月 21 日付け厚生労働省発 0821 第 3 号）
64. 食品健康影響評価の通知について（平成 25 年 4 月 1 日付け府食第 247 号）
65. 農薬抄録フルキサピロキサド（平成 25 年 5 月 29 日改訂）：BASF ジャパン株式会社、一部公表予定
66. フルキサピロキサドインポートトレランス（2 次申請）：BASF ジャパン株式会社、未公表
67. フルキサピロキサド海外作物残留試験成績：BASF ジャパン株式会社、2014 年、未公表
68. 食品健康影響評価について（平成 26 年 9 月 9 日付け厚生労働省発食安 0909 第 5 号）